

2 基礎研究

(担当:佐藤 俊治)

..... (このページは白紙です。)

目 次

○はじめに.....	1
第1章 「人口」と「世帯」.....	6
第1 盛岡市の社会動態.....	7
1 社会動態の概況.....	7
(1) 利用データ及び集計方法.....	7
(2) 集計結果の概況.....	8
2 コミュニティ地区別市内転居の状況.....	12
3 コミュニティ地区別市外転出及び転入の状況.....	18
(1) 市外からの転入状況.....	18
(2) 市外への転出状況.....	22
(3) 市外転出入による増減状況.....	26
(参考1) 1世帯当たりの転居者・転出入者数.....	29
(参考2) 岩手県人口移動報告書との差異について.....	30
第2 盛岡市の人口の将来推計.....	32
1 推計方法及び仮定値の設定.....	32
(1) 推計方法.....	32
(2) 基準人口及び仮定値の設定.....	34
2 盛岡市の将来推計人口.....	42
(1) 推計結果.....	42
(2) 高位仮定値による推計結果.....	50
3 コミュニティ地区別将来推計人口.....	52
(1) 推計方法と仮定値の設定.....	52
(2) 推計結果.....	57
(参考) 社会保障・人口問題研究所による将来推計人口.....	61
第3 盛岡市の世帯の将来推計.....	64
1 推計方法.....	64
2 仮定値の設定.....	64
3 推計結果.....	67
第4 「人口と世帯」のまとめ.....	70

第2章 「雇用」と「所得」	71
第1 盛岡市の市民所得推計	72
1 市町村民所得推計の概要	72
(1) 市民所得推計とは	72
(2) 時系列比較の注意点	72
2 盛岡市の市民所得推計	73
(1) 市内純生産	73
(2) 市民所得の推移	75
(参考1) 1人当たりの市内純生産と市民所得	78
(参考2) 盛岡市経済を中心とした主な出来事	79
第2 盛岡市の雇用情勢	80
1 存続・新設・廃業別事業所集計	80
(1) 事業所数の状況	81
(2) 従業者数の状況	83
2 雇用形態別常用雇用者集計	85
(1) 雇用形態別常用雇用者集計とは	85
(2) 常用雇用者数の状況	85
(参考) ハローワーク盛岡雇用情報でみる雇用情勢	89
第3 盛岡市における所得格差	96
1 分析方法	96
(1) 利用するデータ	96
(2) 分析方法	96
2 所得格差の状況	97
(1) 盛岡市における所得格差	97
(2) 他都市における所得格差	100
第4 「雇用と所得」のまとめ	103
○おわりに	104
脚注	105
参考文献・参考資料	107

○はじめに

基礎研究は、「人口等の統計、市の現状及び課題等政策の企画立案に必要な情報に関する調査分析」を目的とし、平成20年度については、主に次に掲げる2つのテーマについて調査分析を実施した。

1 人口と世帯

人口と世帯に関する調査分析は盛岡市の政策立案に必要不可欠な要素であるという観点から、過去の人口移動について分析・考察を行った上で、盛岡市の人口及び世帯について将来推計を実施した。

2 雇用と所得

雇用の確保と市民所得の向上は盛岡市にとって大きな政策課題の1つであることから、市町村民所得推計、事業所・企業統計調査、就業構造基本調査等過去の統計調査等の結果を用いて、盛岡市の現状について分析・考察した。

【利用上の注意】

次に掲げる事項のほか、利用データの前提や集計方法等について、本文中で必要に応じて補足してあるので、これらを理解した上で利用のこと。

1 各種統計調査等について

(1) 住民基本台帳集計

平成12年から16年の集計結果には、原則として合併前の旧玉山村（平成18年1月10日合併）の数値は含んでいない。詳細については、「第1章1(1)利用データと集計方法」を参照のこと。

(2) 国勢調査

昭和55年から平成2年までの結果には、合併前の旧都南村（平成4年4月1日合併）の数値を含んでいる。昭和55年から平成17年までの結果には、合併前の旧玉山村（平成18年1月10日合併）の数値を含んでいる。

(3) 市民所得推計

昭和60年度から平成3年度までの結果には、合併前の旧都南村の数値を含んでいる。昭和60年度から平成17年度までの結果には、合併前の旧玉山村の数値を含んでいる。

産業の分類は、原則として経済活動が行われる事業所基準により日本標準産業分類に準拠した岩手県民経済計算の経済活動別分類に基づいたものである。

(4) 事業所・企業統計調査

平成13年の結果には、合併前の旧玉山村の数値を含んでいる。

産業大分類は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）に基づいたものである。

(5) ハローワーク盛岡雇用情報

盛岡公共職業安定所管内（盛岡市，八幡平市，岩手郡，紫波郡）の数値である。

新規学卒者及び就業情報誌等のみでの求人は含まれない。

職業分類は、日本標準職業分類に基に一般的な認識とのずれ等について補正した分類基準に基づいたものである。

(6) 就業構造基本調査

平成14年の結果には、合併前の旧玉山村の数値を含んでいない。

産業大分類は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）に基づいたものである。

2 集計値，符記号等について

(1) 統計表等の数値は、総数に分類不能又は不詳の数値を含んでいるため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。また、割合等の算出に当たって単位未満等の位について四捨五入しているため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

(2) 数値の前の「-」は、負の値（減少）を表したものである。

(3) 統計表中の「0」，「0.0」，「-0.0」は、集計した数値が単位未満のものである。

(4) 統計表中の「-」（数値の前に付しているものを除く）は、皆無，該当数値のないもの又は割合等の算出に当たって除数が0のものである。

(5) 統計表中の「…」は、該当数値が不詳のものである。

3 その他

(1) コミュニティ地区別集計

コミュニティ地区の集計については、町丁・字を基に独自の集計を行ったため、町内会等の地縁団体で構成されるコミュニティ地区とは一致しない場合がある。

特に留意すべき点として、上田字、下厨川字、向中野字は、住居表示により飛び地となっているが、字より小さい単位での集計が困難であるため、上田字については松園地区、下厨川字については北厨川地区、向中野字については本宮地区として集計した。詳細については、参考1を参照のこと。

参考2で占めた位置図は、河川、山林等で住所地が付与されていない地域については隣接する地区に含めて表示した。なお、その地域が複数の地区に隣接し、どちらか一方に含めることが困難な場合は、面積がおおむね均等になるに分割する等して、それぞれの地区に含めた。

(2) 統計表の公開

平成20年度基礎研究における集計結果等をまとめた統計表について、本報告書に掲載できなかったものを含め、盛岡市のホームページ（ウェブもりおか）において公開する。

- ・盛岡市ウェブサイトURL <http://www.city.morioka.iwate.jp>
- ・公開ページ
 - ウェブもりおかトップページ → まちづくり → 行政経営
 - 大学等との連携によるシンクタンク事業（盛岡市まちづくり研究所）
 - 盛岡市まちづくり研究所の概要

(参考1) コミュニティ地区、町丁・字対照表

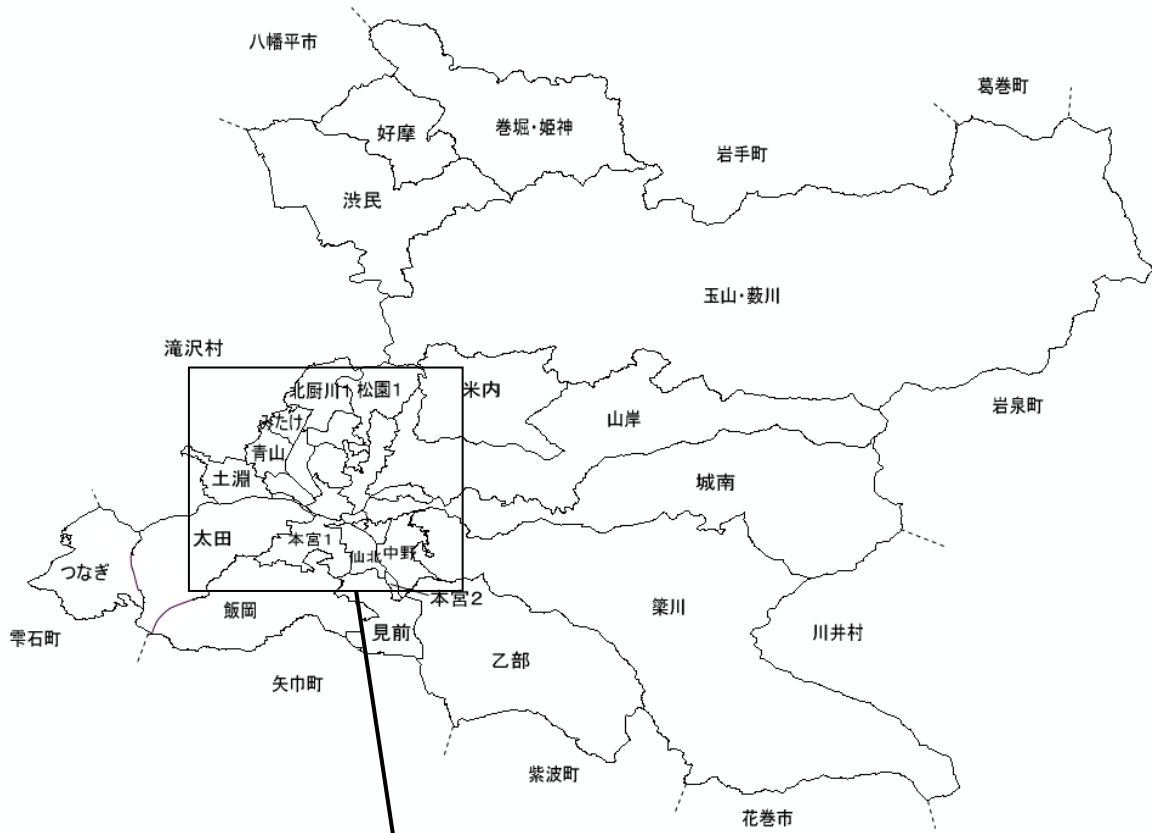
地区名	町丁・字名
仁王	内丸, 中央通(一丁目), 本町通, 名須川町, 北山, 三ツ割, 岩清水, 三ツ割字
桜城	中央通(二丁目, 三丁目), 大通, 菜園, 大沢川原, 開運橋通, 長田町, 材木町, 梨木町, 西下台町, 盛岡駅前通, 盛岡駅前北通, 中川町, 盛岡駅西通
上田	上田, 館向町, 高松, 上田堤
緑が丘	緑が丘, 東緑が丘, 黒石野, 岩脇町, 箱清水
松園	松園, 東松園, 西松園, 東黒石野, 北松園, 小鳥沢, 上田字
青山	青山, 月が丘, 西青山, 南青山町, 中堤町
みたけ	みたけ
北厨川	厨川, 下厨川字
西厨川	新田町, 城西町, 境田町, 天昌寺町, 中屋敷町, 大新町, 北天昌寺町, 稲荷町, 大館町
土淵	長橋町, 前潟, 上厨川字, 平賀新田字, 土淵字

地区名	町丁・字名
厨川	夕顔瀬町, 北夕顔瀬町, 前九年, 安倍館町, 上堂
城南	中ノ橋通, 紺屋町, 神明町, 志家町, 若園町, 住吉町, 上ノ橋町, 天神町, 南大通, 八幡町, 松尾町, 新庄町, 山王町, 小杉山, 東新庄, 新庄字
加賀野	加賀野, 東桜山, つつじが丘, 加賀野字
山岸	愛宕町, 山岸, 愛宕下, 紅葉が丘, 下米内, 浅岸, 山岸字, 下米内字, 浅岸字
杜陵	肴町, 下ノ橋町, 馬場町, 清水町
大慈寺	大慈寺町, 鉈屋町, 神子田町, 茶畑, 高崩
米内	桜台, 上米内字
仙北	仙北, 東仙北, 南仙北, 西仙北, 仙北町字
本宮	本宮, 向中野, 本宮字, 向中野字, 下鹿妻字
太田	上太田, 中太田, 下太田, 猪去, 上鹿妻

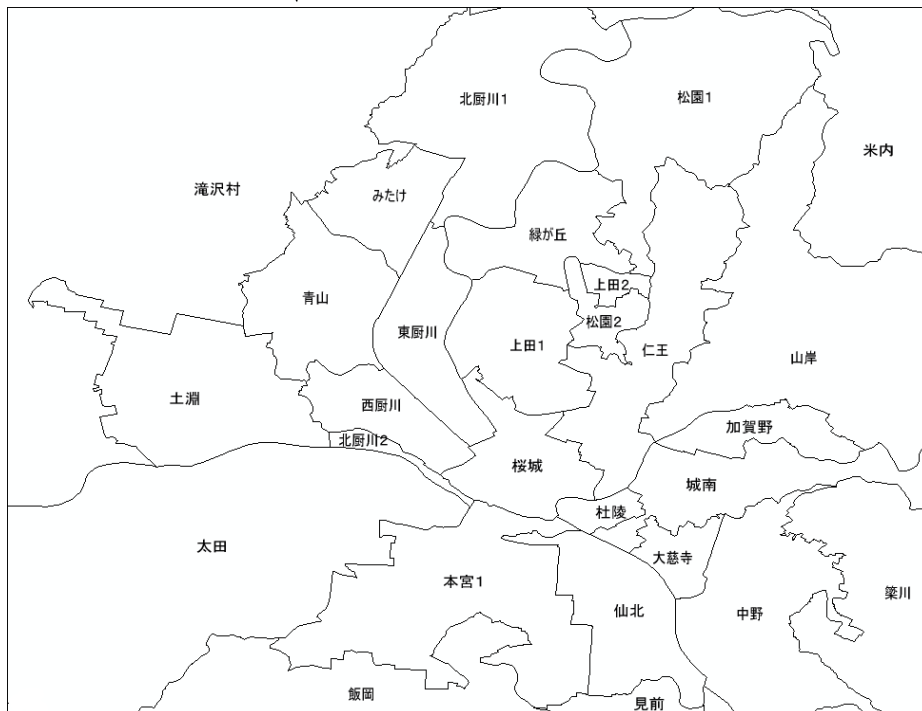
地区名	町丁・字名
つなぎ	繫字
中野	中野, 東中野町, 東山, 川目町, 東安庭, 門, 東中野字, 東安庭字, 門字
築川	砂子沢, 根田茂, 築川, 川目
見前	津志田町, 津志田西, 津志田中央, 津志田南, 東見前, 西見前, 三本柳, 津志田
飯岡	湯沢東, 湯沢西, 湯沢南, 流通センター北, 永井, 下飯岡, 上飯岡, 飯岡新田, 羽場, 湯沢
乙部	乙部, 大ヶ生, 黒川, 手代森
巻堀・姫神	玉山区永井字, 玉山区寺林字, 玉山区巻堀字, 玉山区馬場字
好摩	玉山区松内字, 玉山区好摩字, 玉山区芋田字
渋民	玉山区渋民字, 玉山区門前寺字, 玉山区下田字, 玉山区川崎字
玉山・藪川	玉山区玉山字, 玉山区日戸字, 玉山区川又字, 玉山区上田字, 玉山区藪川字

※町丁と字には同一名のものであり、両者を区別するため字名の語尾に「字」を付している。

(参考2) コミュニティ地区の位置図



【拡大図】



..... (このページは白紙です。)

第1章 「人口」と「世帯」

..... (このページは白紙です。)

第1 盛岡市の社会動態

1 社会動態の概況

盛岡市における人口の移動状況について、平成12年から20年までの住民基本台帳を利用し、コミュニティ地区別（以下、地区別という。）に集計したものについて分析・考察する。

(1) 利用データ及び集計方法

ア 利用データ

集計には、平成12年から20年までの各年9月末時点の住民基本台帳データを利用した。

なお、平成13年のデータについては、9月末時点のデータが欠損していたため、12月末時点のデータを9月末時点のデータに修正した上で利用した。

イ 集計期間

平成12年10月から20年9月まで8年間を1年ごとに集計し、平成12年10月から13年9月までの集計を「平成12年集計」のように始期となる年を名称として用いた。

なお、玉山区の地区（巻堀・姫神，好摩，渋民，玉山・薮川）については、原則として市内転居は平成18年1月10日から、市外への転出入は平成17年10月から20年9月末までの移動者（合併前の旧盛岡市への移動者を除く。）として取り扱った。

ウ 集計方法

市内転居については個人番号を基準として、平成12年データから順に次年データと住所が相違するものを抽出し、移動日により各集計期間に振り分けた。なお、市内転居については、集計期間ごとに最新の情報しか収集できないため、集計期間ごとに2回以上転居した場合は、最新のものだけを集計している。また、住居表示等実際の移動を伴わないものについては目視により可能な限り排除している。

市外転出入については、主に平成20年9月末時点で、転入日と転出日が集計期間内にあるものを抽出した。市外転出入においては、転入元又は転出先の地域が不明となる場合があり、特に転入については、市内転居と同様に転入者においても転入後に市内で転居した場合、転入元の住所が削除されてしまうので、転出先と比較して転入元が不明となる件数が多くなっている。この場合、転入先の住所についても転入直後の住所であるか判断ができなため、既存データのうち一番古い住所を転入直後の住所として取り扱った。なお、転入元又は転出先の地域が不明のものについては、地区ごとに県

内・県外の移動者数に応じて、県内外別に按分した。

また、純増減率等を算出するため、各年データから各年9月末時点の人口を集計した。ただし、玉山区の地区の人口は平成17年9月末時点のデータがないため、既存データの傾向から推計した。

(2) 集計結果の概況

地区ごとに平成12年から（玉山区の地区については17年から）19年集計までを合計したものが表1及び図1である。なお、図1の増減率は地区ごとに移動者を平成12年10月1日時点の地区人口（玉山区の地区については17年地区人口）で除したものである。

市内転居を表1でみた場合、流入超過（純増減がプラス）が大きい地区は、本宮の1,642人、土淵の1,035人、桜城の386人となっており、流出超過（純増減がマイナス）が大きい地区は上田の899人、北厨川の594人、東厨川の531人、仙北の500人となっている。

市外への転出入について流出入超過の状況を県内外別でみると、表1のとおり流入超過が大きい地区は本宮の783人、桜城の646人、上田の416人、流出超過が大きい地区は、青山の499人、北厨川の427人、飯岡の193人となっている。

また、県外の転出入でみると、流入超過が大きい地区は本宮の880人、土淵の135人、流出超過が大きい地区は松園の1,439人、上田の1,363人、緑が丘の865人となっている。

全体の純増減でみると、表1のとおり流入超過となっている地区は桜城、土淵、本宮、つなぎ、渋民の5地区のみで、そのほかの25地区においては流出超過となっている。流出入超過が大きい地区を挙げると、流入超過では本宮の3,305人、土淵の1,509人、桜城の575人、流出超過では上田の1,846人、松園の1,506人、北厨川の1,332人となっている。

表2は年平均移動者数を平成12年地区人口比（玉山区の地区は17年地区人口比）で表したものである。全体の純増減で比率が大きい地区をみると、流入超過では土淵の8.8%、本宮の3.8%、流出超過では北厨川の2.2%、上田の1.5%となっている。

また、市内転居者、転出入者を移動者として捉え、その合計でみると、人口に対し、移動者の比率が高い地区は本宮の27.8%、桜城の26.3%、杜陵の21.6%、低い地区は巻堀・姫神の3.6%、玉山・藪川の4.4%、好摩の7.1%、築川の7.2%となっている。

表 1 地区別市内転居者・市外転出入者の状況（平成12年集計から19年集計までの合計）

（単位：人）

区分 地区名	市内転居者数					市外転出入者数								合計				
	転入 ①	転出 ②	地区内で の移動③	合計 ①+②+③	純増減 ①-②	県内				県外				転入 ④	転出 ⑤	地区内で の移動⑥	合計 ④+⑤+⑥	純増減 ④-⑤
						転入	転出	合計	純増減	転入	転出	合計	純増減					
仁王	3,179	3,576	1,334	8,089	-397	2,043	1,658	3,701	385	3,028	3,331	6,359	-303	8,250	8,565	1,334	18,149	-315
桜城	3,901	3,515	1,631	9,047	386	2,490	1,844	4,334	646	5,357	5,814	11,171	-457	11,748	11,173	1,631	24,552	575
上田	3,194	4,093	2,283	9,570	-899	2,735	2,319	5,054	416	5,350	6,713	12,063	-1,363	11,279	13,125	2,283	26,687	-1,846
緑が丘	2,567	2,790	1,707	7,064	-223	1,820	1,718	3,538	102	1,862	2,727	4,589	-865	6,249	7,235	1,707	15,191	-986
松園	2,549	2,625	2,249	7,423	-76	2,219	2,210	4,429	9	2,609	4,048	6,657	-1,439	7,377	8,883	2,249	18,509	-1,506
青山	4,395	4,239	3,074	11,708	156	4,284	4,783	9,067	-499	5,005	5,613	10,618	-608	13,684	14,635	3,074	31,393	-951
みたけ	1,894	1,707	834	4,435	187	1,678	1,602	3,280	76	1,642	2,105	3,747	-463	5,214	5,414	834	11,462	-200
北厨川	1,214	1,808	628	3,650	-594	1,136	1,563	2,699	-427	1,796	2,107	3,903	-311	4,146	5,478	628	10,252	-1,332
西厨川	2,975	3,342	1,492	7,809	-367	2,049	2,031	4,080	18	3,135	3,840	6,975	-705	8,159	9,213	1,492	18,864	-1,054
土淵	1,302	267	120	1,689	1,035	605	266	871	339	391	256	647	135	2,298	789	120	3,207	1,509
東厨川	3,031	3,562	1,275	7,868	-531	2,207	2,250	4,457	-43	3,288	3,834	7,122	-546	8,526	9,646	1,275	19,447	-1,120
城南	3,328	3,284	1,454	8,066	44	1,884	1,626	3,510	258	2,887	3,255	6,142	-368	8,099	8,165	1,454	17,718	-66
加賀野	1,615	1,746	357	3,718	-131	813	759	1,572	54	1,009	1,302	2,311	-293	3,437	3,807	357	7,601	-370
山岸	2,954	2,837	1,697	7,488	117	1,999	1,701	3,700	298	1,979	2,432	4,411	-453	6,932	6,970	1,697	15,599	-38
杜陵	1,684	1,563	650	3,897	121	731	570	1,301	161	1,606	1,956	3,562	-350	4,021	4,089	650	8,760	-68
大慈寺	1,561	1,814	482	3,857	-253	842	753	1,595	89	843	1,071	1,914	-228	3,246	3,638	482	7,366	-392
米内	533	656	138	1,327	-123	331	359	690	-28	350	568	918	-218	1,214	1,583	138	2,935	-369
仙北	3,450	3,950	2,097	9,497	-500	2,610	2,523	5,133	87	3,170	3,593	6,763	-423	9,230	10,066	2,097	21,393	-836
本宮	4,635	2,993	3,231	10,859	1,642	2,824	2,041	4,865	783	4,805	3,925	8,730	880	12,264	8,959	3,231	24,454	3,305
太田	1,373	1,493	978	3,844	-120	948	888	1,836	60	895	1,011	1,906	-116	3,216	3,392	978	7,586	-176
つなぎ	119	154	65	338	-35	229	192	421	37	93	91	184	2	441	437	65	943	4
中野	3,502	3,464	1,824	8,790	38	2,429	2,281	4,710	148	1,957	2,389	4,346	-432	7,888	8,134	1,824	17,846	-246
築川	254	278	45	577	-24	102	131	233	-29	89	138	227	-49	445	547	45	1,037	-102
見前	4,942	4,622	4,255	13,819	320	4,835	4,728	9,563	107	5,633	6,102	11,735	-469	15,410	15,452	4,255	35,117	-42
飯岡	2,829	2,856	1,406	7,091	-27	2,439	2,632	5,071	-193	2,285	2,985	5,270	-700	7,553	8,473	1,406	17,432	-920
乙部	1,249	1,009	554	2,812	240	1,132	1,136	2,268	-4	616	908	1,524	-292	2,997	3,053	554	6,604	-56
巻堀・姫神	19	27	-	46	-8	22	38	60	-16	17	33	50	-16	58	98	-	156	-40
好摩	121	109	141	371	12	182	186	368	-4	107	130	237	-23	410	425	141	976	-15
洪民	178	164	187	529	14	237	176	413	61	165	204	369	-39	580	544	187	1,311	36
玉山・藪川	56	60	2	118	-4	25	56	81	-31	28	54	82	-26	109	170	2	281	-61
合計	64,603	64,603	36,190	165,396	-	47,880	45,020	92,900	2,860	61,997	72,535	134,532	-10,538	174,480	182,158	36,190	392,828	-7,678

※ ■：本文で用いた数値等（増加） ■：本文で用いた数値等（減少） ■：本文で用いた数値等（増加・減少）

図 1 地区別市内転居者・県内外別転出入者別の純増減数及び純増減率（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

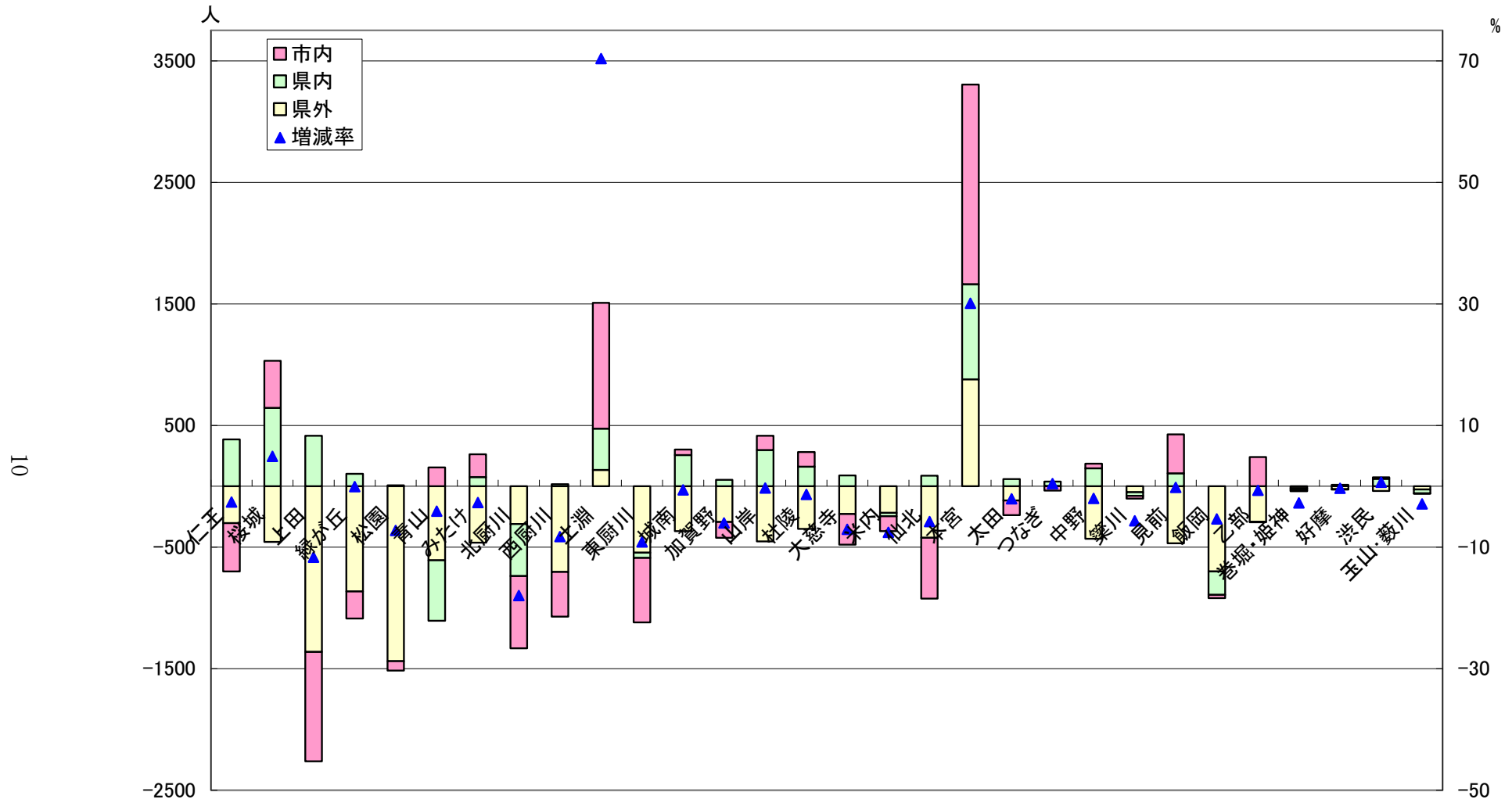


表 2 地区人口に対する地区別市内転居者数・市外転出入者数の比率（年平均）

（単位：％）

区分 地区名	市内転居者数					市外転出入者数								合計				
	転入 ①	転出 ②	地区内での移動③	合計 ①+②+③	純増減 ①-②	県内				県外				転入 ④	転出 ⑤	地区内での移動⑥	合計 ④+⑤+⑥	純増減 ④-⑤
						転入	転出	合計	純増減	転入	転出	合計	純増減					
仁王	3.3	3.7	1.4	8.4	-0.4	2.1	1.7	3.8	0.4	3.1	3.4	6.6	-0.3	8.5	8.9	1.4	18.8	-0.3
桜城	4.2	3.8	1.7	9.7	0.4	2.7	2.0	4.6	0.7	5.7	6.2	12.0	-0.5	12.6	12.0	1.7	26.3	0.6
上田	2.5	3.2	1.8	7.6	-0.7	2.2	1.8	4.0	0.3	4.2	5.3	9.5	-1.1	8.9	10.4	1.8	21.1	-1.5
緑が丘	2.4	2.6	1.6	6.5	-0.2	1.7	1.6	3.3	0.1	1.7	2.5	4.3	-0.8	5.8	6.7	1.6	14.1	-0.9
松園	1.5	1.6	1.4	4.5	0.0	1.3	1.3	2.7	0.0	1.6	2.4	4.0	-0.9	4.4	5.3	1.4	11.1	-0.9
青山	2.4	2.3	1.7	6.3	0.1	2.3	2.6	4.9	-0.3	2.7	3.0	5.7	-0.3	7.3	7.9	1.7	16.9	-0.5
みたけ	3.1	2.8	1.4	7.4	0.3	2.8	2.7	5.4	0.1	2.7	3.5	6.2	-0.8	8.7	9.0	1.4	19.0	-0.3
北厨川	2.0	3.1	1.1	6.2	-1.0	1.9	2.6	4.6	-0.7	3.0	3.6	6.6	-0.5	7.0	9.2	1.1	17.3	-2.2
西厨川	2.9	3.3	1.5	7.7	-0.4	2.0	2.0	4.0	0.0	3.1	3.8	6.9	-0.7	8.0	9.1	1.5	18.6	-1.0
土淵	7.6	1.6	0.7	9.8	6.0	3.5	1.6	5.1	2.0	2.3	1.5	3.8	0.8	13.4	4.6	0.7	18.7	8.8
東厨川	3.1	3.6	1.3	8.0	-0.5	2.3	2.3	4.6	0.0	3.4	3.9	7.3	-0.6	8.7	9.9	1.3	19.9	-1.1
城南	3.7	3.7	1.6	9.0	0.0	2.1	1.8	3.9	0.3	3.2	3.6	6.8	-0.4	9.0	9.1	1.6	19.8	-0.1
加賀野	3.3	3.5	0.7	7.6	-0.3	1.7	1.5	3.2	0.1	2.1	2.6	4.7	-0.6	7.0	7.7	0.7	15.4	-0.8
山岸	2.7	2.6	1.5	6.8	0.1	1.8	1.5	3.4	0.3	1.8	2.2	4.0	-0.4	6.3	6.3	1.5	14.2	0.0
杜陵	4.2	3.9	1.6	9.6	0.3	1.8	1.4	3.2	0.4	4.0	4.8	8.8	-0.9	9.9	10.1	1.6	21.6	-0.2
大慈寺	3.5	4.1	1.1	8.7	-0.6	1.9	1.7	3.6	0.2	1.9	2.4	4.3	-0.5	7.3	8.2	1.1	16.6	-0.9
米内	1.4	1.7	0.4	3.4	-0.3	0.8	0.9	1.8	-0.1	0.9	1.5	2.4	-0.6	3.1	4.1	0.4	7.5	-0.9
仙北	3.0	3.4	1.8	8.2	-0.4	2.3	2.2	4.4	0.1	2.7	3.1	5.9	-0.4	8.0	8.7	1.8	18.5	-0.7
本宮	5.3	3.4	3.7	12.4	1.9	3.2	2.3	5.5	0.9	5.5	4.5	9.9	1.0	14.0	10.2	3.7	27.8	3.8
太田	2.0	2.2	1.4	5.6	-0.2	1.4	1.3	2.7	0.1	1.3	1.5	2.8	-0.2	4.7	5.0	1.4	11.1	-0.3
つなぎ	1.6	2.0	0.8	4.4	-0.5	3.0	2.5	5.5	0.5	1.2	1.2	2.4	0.0	5.8	5.7	0.8	12.3	0.1
中野	3.5	3.5	1.8	8.9	0.0	2.5	2.3	4.8	0.1	2.0	2.4	4.4	-0.4	8.0	8.2	1.8	18.1	-0.2
築川	1.8	1.9	0.3	4.0	-0.2	0.7	0.9	1.6	-0.2	0.6	1.0	1.6	-0.3	3.1	3.8	0.3	7.2	-0.7
見前	2.7	2.6	2.4	7.7	0.2	2.7	2.6	5.3	0.1	3.1	3.4	6.5	-0.3	8.5	8.6	2.4	19.5	0.0
飯岡	2.1	2.1	1.0	5.2	0.0	1.8	1.9	3.7	-0.1	1.7	2.2	3.9	-0.5	5.5	6.2	1.0	12.8	-0.7
乙部	1.8	1.5	0.8	4.1	0.4	1.7	1.7	3.3	0.0	0.9	1.3	2.2	-0.4	4.4	4.5	0.8	9.6	-0.1
巻堀・姫神	0.4	0.6	-	1.1	-0.2	0.5	0.9	1.4	-0.4	0.4	0.8	1.1	-0.4	1.3	2.2	-	3.6	-0.9
好摩	0.9	0.8	1.0	2.7	0.1	1.3	1.3	2.7	0.0	0.8	0.9	1.7	-0.2	3.0	3.1	1.0	7.1	-0.1
渋民	1.1	1.0	1.1	3.1	0.1	1.4	1.0	2.4	0.4	1.0	1.2	2.2	-0.2	3.4	3.2	1.1	7.8	0.2
玉山・藪川	0.9	1.0	0.0	1.9	-0.1	0.4	0.9	1.3	-0.5	0.4	0.9	1.3	-0.4	1.7	2.7	0.0	4.4	-1.0
合計	2.9	2.9	1.6	7.4	-	2.1	2.0	4.2	0.1	2.8	3.2	6.0	-0.5	7.8	8.1	1.6	17.6	-0.3

※ ■：本文で用いた数値等（増加） ■：本文で用いた数値等（減少）

2 コミュニティ地区別市内転居の状況

ここでは、地区別の市内転居の状況について、転入先・転出元別に集計したものについて考察する。なお、集計については年ごとに行っているが、データ量が多いため考察には平成12年集計（玉山区の地区は17年集計）から19年集計までを合計したものを利用した。

転入先の地区を基とした移動者数でみた場合、表3のとおり移動者が多いのは見前の9,197人、本宮の7,866人、青山の7,469人となっている。逆に移動者数が少ない地区は集計年数が短い玉山区の地区を除くと、つなぎの184人、築川の299人、米内の671人となっている。

転出元の地区を基とした移動者数でみた場合、表5のとおり移動者が多いのは見前の8,877人、青山の7,313人、上田の6,376人となっている。逆に移動者数が少ない地区は、集計年数が短い玉山区の地区を除くと、つなぎの219人、築川の323人、土淵の387人となっている。

転出元、転入先別にそれらに占めると割合でみたを地区別に表したものが表4、6である。両者の特徴としては、転入先別でみた場合は25地区で、転出元別でみた場合においても25地区で、同一地区内での移動者が占める割合が20～50%台と高くなっている。なお、見前については、同一地区内での移動が多くなっていることから、住居表示に伴うものが含まれると考えられる。

また、そのほかの特徴として、移動者に占める割合が相互に高い地区は、「仁王・桜城・上田」、「城南・加賀野・山岸・杜陵」、「好摩・洪民」等があり、隣接、又は物理的距離の近い地区での移動が多い傾向にある。

市内転居を純増減数でみると、表7のとおり流入超過が大きい地区は、本宮の1,642人、土淵の1,035人、桜城の386人となっている。内訳でみると本宮では仙北、土淵では青山、桜城は上田からの流入超過が大きい。流出超過が大きい地区は、上田の899人、北厨川の594人、東厨川の531人、仙北の500人となっている。内訳でみると、上田では「桜城・本宮」、北厨川では「みたけ」、東厨川では「青山」、仙北では「本宮」への流出超過が大きい。

表 3 地区別市内転居（転入）者数（平成 12 年集計から 19 年集計の合計）

(単位：人)

転入元 転入先	仁王	桜城	上田	緑が丘	松園	青山	みたけ	北厨川	西厨川	土淵	東厨川	城南	加賀野	山岸	杜陵	大慈寺	米内	仙北	本宮	太田	つなぎ	中野	築川	見前	飯岡	乙部	巻堀・姫神	好摩	渋民	玉山・蕨川	合計
仁王	1,334	433	449	146	177	145	37	27	91	3	128	241	137	364	117	52	50	106	85	29	3	146	13	111	51	33	-	-	1	4	4,513
桜城	466	1,631	477	108	159	195	67	48	333	9	321	262	84	138	157	82	31	181	200	69	3	191	6	172	96	35	1	1	7	2	5,532
上田	403	344	2,283	446	204	191	53	74	150	8	313	157	58	199	41	23	30	94	68	42	9	93	3	121	47	16	-	-	6	1	5,477
緑が丘	169	100	559	1,707	402	130	51	74	90	12	128	68	47	145	25	39	60	75	70	33	2	89	7	113	44	17	-	5	12	1	4,274
松園	150	106	229	526	2,249	275	65	79	86	1	108	69	51	168	22	53	63	62	77	18	1	118	3	139	49	20	-	1	6	4	4,798
青山	141	203	214	179	200	3,074	481	257	640	66	635	135	65	106	53	68	44	153	107	106	15	121	14	216	96	50	1	7	19	3	7,469
みたけ	58	42	77	67	64	508	834	478	92	6	106	21	20	31	14	13	19	41	48	30	3	46	2	49	39	12	2	-	5	1	2,728
北厨川	41	52	92	62	54	185	190	628	49	7	111	24	4	41	19	11	9	54	23	18	6	40	1	48	34	14	-	8	13	4	1,842
西厨川	99	329	183	123	89	425	84	110	1,492	27	476	85	36	91	50	41	22	108	121	132	10	98	6	121	71	27	1	4	6	-	4,467
土淵	34	42	58	30	35	301	47	64	188	120	75	21	17	54	11	9	5	32	87	50	-	36	6	57	24	16	-	1	1	1	1,422
東厨川	145	278	346	112	117	427	110	120	397	9	1,275	73	44	82	58	57	13	141	66	83	26	106	10	120	54	22	1	7	5	2	4,306
城南	302	268	171	70	114	117	41	18	101	13	92	1,454	320	270	249	184	28	160	109	40	3	362	12	172	60	48	-	4	-	-	4,782
加賀野	154	83	75	43	50	69	11	27	61	11	70	300	357	241	32	58	19	52	35	13	1	89	2	87	23	6	1	-	2	-	1,972
山岸	395	102	185	188	131	126	31	40	116	12	90	274	346	1,697	43	70	64	109	97	39	-	232	13	167	53	24	-	-	3	4	4,651
杜陵	133	141	59	45	64	68	23	14	58	3	52	204	53	76	650	141	12	149	71	26	2	133	-	88	61	6	-	2	-	-	2,334
大慈寺	82	76	70	27	34	70	20	11	37	7	58	196	54	47	155	482	8	140	50	23	4	216	5	87	56	25	-	-	1	2	2,043
米内	38	10	28	38	51	32	19	11	18	1	14	31	22	63	-	5	138	22	13	17	-	21	3	38	14	10	-	-	7	7	671
仙北	128	117	146	87	97	141	53	63	99	13	115	198	65	136	111	155	22	2,097	488	132	6	233	20	517	225	75	-	-	7	1	5,547
本宮	161	275	202	117	145	198	77	50	211	19	196	213	64	117	141	157	22	849	3,231	291	18	235	2	459	351	53	-	3	8	1	7,866
太田	42	90	47	31	27	99	35	28	134	8	66	41	35	27	24	15	9	101	257	978	6	57	1	91	75	24	1	1	-	1	2,351
つなぎ	5	8	3	6	1	13	1	6	10	1	7	9	2	3	2	-	-	7	8	10	65	5	1	9	2	-	-	-	-	-	184
中野	146	133	142	106	144	117	49	46	108	9	104	335	108	154	104	332	33	315	189	55	6	1,824	106	372	169	106	-	9	4	1	5,326
築川	8	9	8	1	7	18	5	1	8	-	8	16	2	8	-	7	3	16	3	2	-	76	45	22	16	10	-	-	-	-	299
見前	158	166	150	125	139	201	76	65	164	13	154	167	72	159	87	156	60	613	356	107	22	420	28	4,255	1,004	258	1	13	6	2	9,197
飯岡	70	85	77	45	71	121	48	41	76	3	70	88	29	60	35	47	16	256	283	99	3	167	6	907	1,406	100	-	10	9	7	4,235
乙部	37	14	40	35	36	48	10	36	18	5	48	47	7	45	13	37	6	96	69	27	3	127	8	319	117	554	1	-	-	-	1,803
巻堀・姫神	1	-	-	4	-	6	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	19
好摩	-	3	2	2	4	4	9	7	2	-	6	4	3	5	-	-	-	2	6	1	-	3	-	4	10	-	5	141	35	4	262
渋民	7	5	3	15	8	5	7	11	3	1	10	2	1	7	-	2	4	14	5	1	-	4	-	6	9	2	12	27	187	7	365
玉山・蕨川	3	1	1	6	1	4	5	2	1	-	1	2	-	-	-	-	4	-	2	-	1	-	-	9	6	-	-	6	1	2	58

※ 緑：本文で用いた数値等（多い） 黄：本文で用いた数値等（少ない）

表 4 地区別市内転居（転入）者数占める転入前地区別の割合（平成12年集計から19年集計の合計）

（単位：％）

転入元 転入先	仁王	桜城	上田	緑が丘	松園	青山	みたけ	北厨川	西厨川	土淵	東厨川	城南	加賀野	山岸	杜陵	大慈寺	米内	仙北	本宮	太田	つなぎ	中野	築川	見前	飯岡	乙部	巻堀・姫神	好摩	渋民	玉山・蕨川	合計	
仁王	29.6	9.6	9.9	3.2	3.9	3.2	0.8	0.6	2.0	0.1	2.8	5.3	3.0	8.1	2.6	1.2	1.1	2.3	1.9	0.6	0.1	3.2	0.3	2.5	1.1	0.7	-	-	0.0	0.1	100.0	
桜城	8.4	29.5	8.6	2.0	2.9	3.5	1.2	0.9	6.0	0.2	5.8	4.7	1.5	2.5	2.8	1.5	0.6	3.3	3.6	1.2	0.1	3.5	0.1	3.1	1.7	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	100.0	
上田	7.4	6.3	41.7	8.1	3.7	3.5	1.0	1.4	2.7	0.1	5.7	2.9	1.1	3.6	0.7	0.4	0.5	1.7	1.2	0.8	0.2	1.7	0.1	2.2	0.9	0.3	-	-	0.1	0.0	100.0	
緑が丘	4.0	2.3	13.1	39.9	9.4	3.0	1.2	1.7	2.1	0.3	3.0	1.6	1.1	3.4	0.6	0.9	1.4	1.8	1.6	0.8	0.0	2.1	0.2	2.6	1.0	0.4	-	0.1	0.3	0.0	100.0	
松園	3.1	2.2	4.8	11.0	46.9	5.7	1.4	1.6	1.8	0.0	2.3	1.4	1.1	3.5	0.5	1.1	1.3	1.3	1.6	0.4	0.0	2.5	0.1	2.9	1.0	0.4	-	0.0	0.1	0.1	100.0	
青山	1.9	2.7	2.9	2.4	2.7	41.2	6.4	3.4	8.6	0.9	8.5	1.8	0.9	1.4	0.7	0.9	0.6	2.0	1.4	1.4	0.2	1.6	0.2	2.9	1.3	0.7	0.0	0.1	0.3	0.0	100.0	
みたけ	2.1	1.5	2.8	2.5	2.3	18.6	30.6	17.5	3.4	0.2	3.9	0.8	0.7	1.1	0.5	0.5	0.7	1.5	1.8	1.1	0.1	1.7	0.1	1.8	1.4	0.4	0.1	0.0	0.2	0.0	100.0	
北厨川	2.2	2.8	5.0	3.4	2.9	10.0	10.3	34.1	2.7	0.4	6.0	1.3	0.2	2.2	1.0	0.6	0.5	2.9	1.2	1.0	0.3	2.2	0.1	2.6	1.8	0.8	-	0.4	0.7	0.2	100.0	
西厨川	2.2	7.4	4.1	2.8	2.0	9.5	1.9	2.5	33.4	0.6	10.7	1.9	0.8	2.0	1.1	0.9	0.5	2.4	2.7	3.0	0.2	2.2	0.1	2.7	1.6	0.6	0.0	0.1	0.1	0.0	100.0	
土淵	2.4	3.0	4.1	2.1	2.5	21.2	3.3	4.5	13.2	8.4	5.3	1.5	1.2	3.8	0.8	0.6	0.4	2.3	6.1	3.5	-	2.5	0.4	4.0	1.7	1.1	-	0.1	0.1	0.1	100.0	
東厨川	3.4	6.5	8.0	2.6	2.7	9.9	2.6	2.8	9.2	0.2	29.6	1.7	1.0	1.9	1.3	1.3	0.3	3.3	1.5	1.9	0.6	2.5	0.2	2.8	1.3	0.5	0.0	0.2	0.1	0.0	100.0	
城南	6.3	5.6	3.6	1.5	2.4	2.4	0.9	0.4	2.1	0.3	1.9	30.4	6.7	5.6	5.2	3.8	0.6	3.3	2.3	0.8	0.1	7.6	0.3	3.6	1.3	1.0	-	0.1	-	-	100.0	
加賀野	7.8	4.2	3.8	2.2	2.5	3.5	0.6	1.4	3.1	0.6	3.5	15.2	18.1	12.2	1.6	2.9	1.0	2.6	1.8	0.7	0.1	4.5	0.1	4.4	1.2	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	100.0	
山岸	8.5	2.2	4.0	4.0	2.8	2.7	0.7	0.9	2.5	0.3	1.9	5.9	7.4	36.5	0.9	1.5	1.4	2.3	2.1	0.8	-	5.0	0.3	3.6	1.1	0.5	-	-	0.1	0.1	100.0	
杜陵	5.7	6.0	2.5	1.9	2.7	2.9	1.0	0.6	2.5	0.1	2.2	8.7	2.3	3.3	27.8	6.0	0.5	6.4	3.0	1.1	0.1	5.7	-	3.8	2.6	0.3	-	0.1	-	-	100.0	
大慈寺	4.0	3.7	3.4	1.3	1.7	3.4	1.0	0.5	1.8	0.3	2.8	9.6	2.6	2.3	7.6	23.6	0.4	6.9	2.4	1.1	0.2	10.6	0.2	4.3	2.7	1.2	-	-	0.0	0.1	100.0	
米内	5.7	1.5	4.2	5.7	7.6	4.8	2.8	1.6	2.7	0.1	2.1	4.6	3.3	9.4	-	0.7	20.6	3.3	1.9	2.5	-	3.1	0.4	5.7	2.1	1.5	-	-	1.0	1.0	100.0	
仙北	2.3	2.1	2.6	1.6	1.7	2.5	1.0	1.1	1.8	0.2	2.1	3.6	1.2	2.5	2.0	2.8	0.4	37.8	8.8	2.4	0.1	4.2	0.4	9.3	4.1	1.4	-	-	0.1	0.0	100.0	
本宮	2.0	3.5	2.6	1.5	1.8	2.5	1.0	0.6	2.7	0.2	2.5	2.7	0.8	1.5	1.8	2.0	0.3	10.8	41.1	3.7	0.2	3.0	0.0	5.8	4.5	0.7	-	0.0	0.1	0.0	100.0	
太田	1.8	3.8	2.0	1.3	1.1	4.2	1.5	1.2	5.7	0.3	2.8	1.7	1.5	1.1	1.0	0.6	0.4	4.3	10.9	41.6	0.3	2.4	0.0	3.9	3.2	1.0	0.0	0.0	-	0.0	100.0	
つなぎ	2.7	4.3	1.6	3.3	0.5	7.1	0.5	3.3	5.4	0.5	3.8	4.9	1.1	1.6	1.1	-	-	3.8	4.3	5.4	35.3	2.7	0.5	4.9	1.1	-	-	-	-	-	100.0	
中野	2.7	2.5	2.7	2.0	2.7	2.2	0.9	0.9	2.0	0.2	2.0	6.3	2.0	2.9	2.0	6.2	0.6	5.9	3.5	1.0	0.1	34.2	2.0	7.0	3.2	2.0	-	0.2	0.1	0.0	100.0	
築川	2.7	3.0	2.7	0.3	2.3	6.0	1.7	0.3	2.7	-	2.7	5.4	0.7	2.7	-	2.3	1.0	5.4	1.0	0.7	-	25.4	15.1	7.4	5.4	3.3	-	-	-	-	100.0	
見前	1.7	1.8	1.6	1.4	1.5	2.2	0.8	0.7	1.8	0.1	1.7	1.8	0.8	1.7	0.9	1.7	0.7	6.7	3.9	1.2	0.2	4.6	0.3	46.3	10.9	2.8	0.0	0.1	0.1	0.0	100.0	
飯岡	1.7	2.0	1.8	1.1	1.7	2.9	1.1	1.0	1.8	0.1	1.7	2.1	0.7	1.4	0.8	1.1	0.4	6.0	6.7	2.3	0.1	3.9	0.1	21.4	33.2	2.4	-	0.2	0.2	0.2	100.0	
乙部	2.1	0.8	2.2	1.9	2.0	2.7	0.6	2.0	1.0	0.3	2.7	2.6	0.4	2.5	0.7	2.1	0.3	5.3	3.8	1.5	0.2	7.0	0.4	17.7	6.5	30.7	0.1	-	-	-	100.0	
巻堀・姫神	5.3	-	-	21.1	-	31.6	10.5	-	5.3	-	-	5.3	-	-	-	-	-	10.5	-	-	5.3	-	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
好摩	-	1.1	0.8	0.8	1.5	1.5	3.4	2.7	0.8	-	2.3	1.5	1.1	1.9	-	-	-	0.8	2.3	0.4	-	1.1	-	1.5	3.8	-	1.9	53.8	13.4	1.5	100.0	
渋民	1.9	1.4	0.8	4.1	2.2	1.4	1.9	3.0	0.8	0.3	2.7	0.5	0.3	1.9	-	0.5	1.1	3.8	1.4	0.3	-	1.1	-	1.6	2.5	0.5	3.3	7.4	51.2	1.9	100.0	
玉山・蕨川	5.2	1.7	1.7	10.3	1.7	6.9	8.6	3.4	1.7	-	1.7	3.4	-	-	-	-	6.9	-	3.4	-	1.7	-	-	15.5	10.3	-	-	10.3	1.7	3.4	100.0	

※ 5.0～9.9% : 10～19.9% : 20.0%～

表 5 地区別市内転居（転出）者数（平成 12 年集計から 19 年集計の合計）

（単位：人）

転出先 転出元	仁王	桜城	上田	緑が丘	松園	青山	みたけ	北厨川	西厨川	土淵	東厨川	城南	加賀野	山岸	杜陵	大慈寺	米内	仙北	本宮	太田	つなぎ	中野	築川	見前	飯岡	乙部	巻堀・姫神	好摩	渋民	玉山・蕨川	合計
仁王	1,334	466	403	169	150	141	58	41	99	34	145	302	154	395	133	82	38	128	161	42	5	146	8	158	70	37	1	-	7	3	4,910
桜城	433	1,631	344	100	106	203	42	52	329	42	278	268	83	102	141	76	10	117	275	90	8	133	9	166	85	14	-	3	5	1	5,146
上田	449	477	2,283	559	229	214	77	92	183	58	346	171	75	185	59	70	28	146	202	47	3	142	8	150	77	40	-	2	3	1	6,376
緑が丘	146	108	446	1,707	526	179	67	62	123	30	112	70	43	188	45	27	38	87	117	31	6	106	1	125	45	35	4	2	15	6	4,497
松園	177	159	204	402	2,249	200	64	54	89	35	117	114	50	131	64	34	51	97	145	27	1	144	7	139	71	36	-	4	8	1	4,874
青山	145	195	191	130	275	3,074	508	185	425	301	427	117	69	126	68	70	32	141	198	99	13	117	18	201	121	48	6	4	5	4	7,313
みたけ	37	67	53	51	65	481	834	190	84	47	110	41	11	31	23	20	19	53	77	35	1	49	5	76	48	10	2	9	7	5	2,541
北厨川	27	48	74	74	79	257	478	628	110	64	120	18	27	40	14	11	11	63	50	28	6	46	1	65	41	36	-	7	11	2	2,436
西厨川	91	333	150	90	86	640	92	49	1,492	188	397	101	61	116	58	37	18	99	211	134	10	108	8	164	76	18	1	2	3	1	4,834
土淵	3	9	8	12	1	66	6	7	27	120	9	13	11	12	3	7	1	13	19	8	1	9	-	13	3	5	-	-	1	-	387
東厨川	128	321	313	128	108	635	106	111	476	75	1,275	92	70	90	52	58	14	115	196	66	7	104	8	154	70	48	-	6	10	1	4,837
城南	241	262	157	68	69	135	21	24	85	21	73	1,454	300	274	204	196	31	198	213	41	9	335	16	167	88	47	1	4	2	2	4,738
加賀野	137	84	58	47	51	65	20	4	36	17	44	320	357	346	53	54	22	65	64	35	2	108	2	72	29	7	-	3	1	-	2,103
山岸	364	138	199	145	168	106	31	41	91	54	82	270	241	1,697	76	47	63	136	117	27	3	154	8	159	60	45	-	5	7	-	4,534
杜陵	117	157	41	25	22	53	14	19	50	11	58	249	32	43	650	155	0	111	141	24	2	104	-	87	35	13	-	-	-	-	2,213
大慈寺	52	82	23	39	53	68	13	11	41	9	57	184	58	70	141	482	5	155	157	15	0	332	7	156	47	37	-	-	2	-	2,296
米内	50	31	30	60	63	44	19	9	22	5	13	28	19	64	12	8	138	22	22	9	0	33	3	60	16	6	-	-	4	4	794
仙北	106	181	94	75	62	153	41	54	108	32	141	160	52	109	149	140	22	2,097	849	101	7	315	16	613	256	96	2	2	14	-	6,047
本宮	85	200	68	70	77	107	48	23	121	87	66	109	35	97	71	50	13	488	3,231	257	8	189	3	356	283	69	-	6	5	2	6,224
太田	29	69	42	33	18	106	30	18	132	50	83	40	13	39	26	23	17	132	291	978	10	55	2	107	99	27	-	1	1	-	2,471
つなぎ	3	3	9	2	1	15	3	6	10	-	26	3	1	-	2	4	-	6	18	6	65	6	-	22	3	3	1	-	-	1	219
中野	146	191	93	89	118	121	46	40	98	36	106	362	89	232	133	216	21	233	235	57	5	1,824	76	420	167	127	-	3	4	-	5,288
築川	13	6	3	7	3	14	2	1	6	6	10	12	2	13	-	5	3	20	2	1	1	106	45	28	6	8	-	-	-	-	323
見前	111	172	121	113	139	216	49	48	121	57	120	172	87	167	88	87	38	517	459	91	9	372	22	4,255	907	319	1	4	6	9	8,877
飯岡	51	96	47	44	49	96	39	34	71	24	54	60	23	53	61	56	14	225	351	75	2	169	16	1,004	1,406	117	-	10	9	6	4,262
乙部	33	35	16	17	20	50	12	14	27	16	22	48	6	24	6	25	10	75	53	24	-	106	10	258	100	554	-	-	2	-	1,563
巻堀・姫神	-	1	-	-	-	1	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	5	12	-	27
好摩	-	1	-	5	1	7	-	8	4	1	7	4	-	-	2	-	-	-	3	1	-	9	-	13	10	-	-	141	27	6	250
渋民	1	7	6	12	6	19	5	13	6	1	5	-	2	3	-	1	7	7	8	-	-	4	-	6	9	-	-	35	187	1	351
玉山・蕨川	4	2	1	1	4	3	1	4	-	1	2	-	-	4	-	2	7	1	1	1	-	1	-	2	7	-	-	4	7	2	62

※ ■ : 本文で用いた数値等 (多い) ■ : 本文で用いた数値等 (少ない)

表 6 地区別市内転居（転出）者に占める転出後地区別転居者の割合（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

（単位：％）

転出先 転出元	仁王	桜城	上田	緑が丘	松園	青山	みたけ	北厨川	西厨川	土淵	東厨川	城南	加賀野	山岸	杜陵	大慈寺	米内	仙北	本宮	太田	つなぎ	中野	築川	見前	飯岡	乙部	巻堀・姫神	好摩	渋民	玉山・蕨川	合計
仁王	27.2	9.5	8.2	3.4	3.1	2.9	1.2	0.8	2.0	0.7	3.0	6.2	3.1	8.0	2.7	1.7	0.8	2.6	3.3	0.9	0.1	3.0	0.2	3.2	1.4	0.8	0.0	-	0.1	0.1	100.0
桜城	8.4	31.7	6.7	1.9	2.1	3.9	0.8	1.0	6.4	0.8	5.4	5.2	1.6	2.0	2.7	1.5	0.2	2.3	5.3	1.7	0.2	2.6	0.2	3.2	1.7	0.3	-	0.1	0.1	0.0	100.0
上田	7.0	7.5	35.8	8.8	3.6	3.4	1.2	1.4	2.9	0.9	5.4	2.7	1.2	2.9	0.9	1.1	0.4	2.3	3.2	0.7	0.0	2.2	0.1	2.4	1.2	0.6	-	0.0	0.0	0.0	100.0
緑が丘	3.2	2.4	9.9	38.0	11.7	4.0	1.5	1.4	2.7	0.7	2.5	1.6	1.0	4.2	1.0	0.6	0.8	1.9	2.6	0.7	0.1	2.4	0.0	2.8	1.0	0.8	0.1	0.0	0.3	0.1	100.0
松園	3.6	3.3	4.2	8.2	46.1	4.1	1.3	1.1	1.8	0.7	2.4	2.3	1.0	2.7	1.3	0.7	1.0	2.0	3.0	0.6	0.0	3.0	0.1	2.9	1.5	0.7	-	0.1	0.2	0.0	100.0
青山	2.0	2.7	2.6	1.8	3.8	42.0	6.9	2.5	5.8	4.1	5.8	1.6	0.9	1.7	0.9	1.0	0.4	1.9	2.7	1.4	0.2	1.6	0.2	2.7	1.7	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	100.0
みたけ	1.5	2.6	2.1	2.0	2.6	18.9	32.8	7.5	3.3	1.8	4.3	1.6	0.4	1.2	0.9	0.8	0.7	2.1	3.0	1.4	0.0	1.9	0.2	3.0	1.9	0.4	0.1	0.4	0.3	0.2	100.0
北厨川	1.1	2.0	3.0	3.0	3.2	10.6	19.6	25.8	4.5	2.6	4.9	0.7	1.1	1.6	0.6	0.5	0.5	2.6	2.1	1.1	0.2	1.9	-	2.7	1.7	1.5	-	0.3	0.5	0.1	100.0
西厨川	1.9	6.9	3.1	1.9	1.8	13.2	1.9	1.0	30.9	3.9	8.2	2.1	1.3	2.4	1.2	0.8	0.4	2.0	4.4	2.8	0.2	2.2	0.2	3.4	1.6	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	100.0
土淵	0.8	2.3	2.1	3.1	0.3	17.1	1.6	1.8	7.0	31.0	2.3	3.4	2.8	3.1	0.8	1.8	0.3	3.4	4.9	2.1	0.3	2.3	0.0	3.4	0.8	1.3	-	-	0.3	-	100.0
東厨川	2.6	6.6	6.5	2.6	2.2	13.1	2.2	2.3	9.8	1.6	26.4	1.9	1.4	1.9	1.1	1.2	0.3	2.4	4.1	1.4	0.1	2.2	0.2	3.2	1.4	1.0	-	0.1	0.2	0.0	100.0
城南	5.1	5.5	3.3	1.4	1.5	2.8	0.4	0.5	1.8	0.4	1.5	30.7	6.3	5.8	4.3	4.1	0.7	4.2	4.5	0.9	0.2	7.1	0.3	3.5	1.9	1.0	0.0	0.1	0.0	0.0	100.0
加賀野	6.5	4.0	2.8	2.2	2.4	3.1	1.0	0.2	1.7	0.8	2.1	15.2	17.0	16.5	2.5	2.6	1.0	3.1	3.0	1.7	0.1	5.1	0.1	3.4	1.4	0.3	-	0.1	0.0	-	100.0
山岸	8.0	3.0	4.4	3.2	3.7	2.3	0.7	0.9	2.0	1.2	1.8	6.0	5.3	37.4	1.7	1.0	1.4	3.0	2.6	0.6	0.1	3.4	0.2	3.5	1.3	1.0	-	0.1	0.2	-	100.0
杜陵	5.3	7.1	1.9	1.1	1.0	2.4	0.6	0.9	2.3	0.5	2.6	11.3	1.4	1.9	29.4	7.0	-	5.0	6.4	1.1	0.1	4.7	-	3.9	1.6	0.6	-	-	-	-	100.0
大慈寺	2.3	3.6	1.0	1.7	2.3	3.0	0.6	0.5	1.8	0.4	2.5	8.0	2.5	3.0	6.1	21.0	0.2	6.8	6.8	0.7	-	14.5	0.3	6.8	2.0	1.6	-	-	0.1	-	100.0
米内	6.3	3.9	3.8	7.6	7.9	5.5	2.4	1.1	2.8	0.6	1.6	3.5	2.4	8.1	1.5	1.0	17.4	2.8	2.8	1.1	-	4.2	0.4	7.6	2.0	0.8	-	-	0.5	0.5	100.0
仙北	1.8	3.0	1.6	1.2	1.0	2.5	0.7	0.9	1.8	0.5	2.3	2.6	0.9	1.8	2.5	2.3	0.4	34.7	14.0	1.7	0.1	5.2	0.3	10.1	4.2	1.6	0.0	0.0	0.2	-	100.0
本宮	1.4	3.2	1.1	1.1	1.2	1.7	0.8	0.4	1.9	1.4	1.1	1.8	0.6	1.6	1.1	0.8	0.2	7.8	51.9	4.1	0.1	3.0	0.0	5.7	4.5	1.1	-	0.1	0.1	0.0	100.0
太田	1.2	2.8	1.7	1.3	0.7	4.3	1.2	0.7	5.3	2.0	3.4	1.6	0.5	1.6	1.1	0.9	0.7	5.3	11.8	39.6	0.4	2.2	0.1	4.3	4.0	1.1	-	0.0	0.0	-	100.0
つなぎ	1.4	1.4	4.1	0.9	0.5	6.8	1.4	2.7	4.6	-	11.9	1.4	0.5	-	0.9	1.8	-	2.7	8.2	2.7	29.7	2.7	-	10.0	1.4	1.4	0.5	-	-	0.5	100.0
中野	2.8	3.6	1.8	1.7	2.2	2.3	0.9	0.8	1.9	0.7	2.0	6.8	1.7	4.4	2.5	4.1	0.4	4.4	4.4	1.1	0.1	34.5	1.4	7.9	3.2	2.4	-	0.1	0.1	-	100.0
築川	4.0	1.9	0.9	2.2	0.9	4.3	0.6	0.3	1.9	1.9	3.1	3.7	0.6	4.0	0.0	1.5	0.9	6.2	0.6	0.3	0.3	32.8	13.9	8.7	1.9	2.5	-	-	-	-	100.0
見前	1.3	1.9	1.4	1.3	1.6	2.4	0.6	0.5	1.4	0.6	1.4	1.9	1.0	1.9	1.0	1.0	0.4	5.8	5.2	1.0	0.1	4.2	0.2	47.9	10.2	3.6	0.0	0.0	0.1	0.1	100.0
飯岡	1.2	2.3	1.1	1.0	1.1	2.3	0.9	0.8	1.7	0.6	1.3	1.4	0.5	1.2	1.4	1.3	0.3	5.3	8.2	1.8	0.0	4.0	0.4	23.6	33.0	2.7	-	0.2	0.2	0.1	100.0
乙部	2.1	2.2	1.0	1.1	1.3	3.2	0.8	0.9	1.7	1.0	1.4	3.1	0.4	1.5	0.4	1.6	0.6	4.8	3.4	1.5	-	6.8	0.6	16.5	6.4	35.4	-	-	0.1	-	100.0
巻堀・姫神	-	3.7	-	-	-	3.7	7.4	-	3.7	-	3.7	-	3.7	-	-	-	-	-	-	3.7	-	-	-	3.7	-	3.7	-	18.5	44.4	-	100.0
好摩	-	0.4	0	2.0	0.4	2.8	-	3.2	1.6	0.4	2.8	1.6	-	-	0.8	-	-	-	1.2	0.4	-	3.6	-	5.2	4.0	-	-	56.4	10.8	2.4	100.0
渋民	0.3	2.0	1.7	3.4	1.7	5.4	1.4	3.7	1.7	0.3	1.4	-	0.6	0.9	-	0.3	2.0	2.0	2.3	-	-	1.1	-	1.7	2.6	-	-	10.0	53.3	0.3	100.0
玉山・蕨川	6.5	3.2	1.6	1.6	6.5	4.8	1.6	6.5	-	1.6	3.2	-	-	6.5	-	3.2	11.3	1.6	1.6	1.6	-	1.6	-	3.2	11.3	-	-	6.5	11.3	3.2	100.0

※ 5.0～9.9% 10～19.9% 20.0%～

表 7 地区別市内転居による増減数（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

（単位：人）

増減内訳 地区名	仁王	桜城	上田	緑が丘	松園	青山	みたけ	北厨川	西厨川	土淵	東厨川	城南	加賀野	山岸	杜陵	大慈寺	米内	仙北	本宮	太田	つなぎ	中野	築川	見前	飯岡	乙部	巻堀・姫神	好摩	渋民	玉山・藪川	合計
仁王	-	-33	46	-23	27	4	-21	-14	-8	-31	-17	-61	-17	-31	-16	-30	12	-22	-76	-13	-2	-	5	-47	-19	-4	-1	-	-6	1	-397
桜城	33	-	133	8	53	-8	25	-4	4	-33	43	-6	1	36	16	6	21	64	-75	-21	-5	58	-3	6	11	21	1	-2	2	1	386
上田	-46	-133	-	-113	-25	-23	-24	-18	-33	-50	-33	-14	-17	14	-18	-47	2	-52	-134	-5	6	-49	-5	-29	-30	-24	-	-2	3	-	-899
緑が丘	23	-8	113	-	-124	-49	-16	12	-33	-18	16	-2	4	-43	-20	12	22	-12	-47	2	-4	-17	6	-12	-1	-18	-4	3	-3	-5	-223
松園	-27	-53	25	124	-	75	1	25	-3	-34	-9	-45	1	37	-42	19	12	-35	-68	-9	-	-26	-4	-	-22	-16	-	-3	-2	3	-76
青山	-4	8	23	49	-75	-	-27	72	215	-235	208	18	-4	-20	-15	-2	12	12	-91	7	2	4	-4	15	-25	2	-5	3	14	-1	156
みたけ	21	-25	24	16	-1	27	-	288	8	-41	-4	-20	9	-	-9	-7	-	-12	-29	-5	2	-3	-3	-27	-9	2	-	-9	-2	-4	187
北厨川	14	4	18	-12	-25	-72	-288	-	-61	-57	-9	6	-23	1	5	-	-2	-9	-27	-10	-	-6	-	-17	-7	-22	-	1	2	2	-594
西厨川	8	-4	33	33	3	-215	-8	61	-	-161	79	-16	-25	-25	-8	4	4	9	-90	-2	-	-10	-2	-43	-5	9	-	2	3	-1	-367
土淵	31	33	50	18	34	235	41	57	161	-	66	8	6	42	8	2	4	19	68	42	-1	27	6	44	21	11	-	1	-	1	1,035
東厨川	17	-43	33	-16	9	-208	4	9	-79	-66	-	-19	-26	-8	6	-1	-1	26	-130	17	19	2	2	-34	-16	-26	1	1	-5	1	-531
城南	61	6	14	2	45	-18	20	-6	16	-8	19	-	20	-4	45	-12	-3	-38	-104	-1	-6	27	-4	5	-28	1	-1	-	-2	-2	44
加賀野	17	-1	17	-4	-1	4	-9	23	25	-6	26	-20	-	-105	-21	4	-3	-13	-29	-22	-1	-19	-	15	-6	-1	1	-3	1	-	-131
山岸	31	-36	-14	43	-37	20	-	-1	25	-42	8	4	105	-	-33	23	1	-27	-20	12	-3	78	5	8	-7	-21	-	-5	-4	4	117
杜陵	16	-16	18	20	42	15	9	-5	8	-8	-6	-45	21	33	-	-14	12	38	-70	2	-	29	-	1	26	-7	-	2	-	-	121
大慈寺	30	-6	47	-12	-19	2	7	-	-4	-2	1	12	-4	-23	14	-	3	-15	-107	8	4	-116	-2	-69	9	-12	-	-	-1	2	-253
米内	-12	-21	-2	-22	-12	-12	-	2	-4	-4	1	3	3	-1	-12	-3	-	-	-9	8	-	-12	-	-22	-2	4	-	-	3	3	-123
仙北	22	-64	52	12	35	-12	12	9	-9	-19	-26	38	13	27	-38	15	-	-	-361	31	-1	-82	4	-96	-31	-21	-2	-2	-7	1	-500
本宮	76	75	134	47	68	91	29	27	90	-68	130	104	29	20	70	107	9	361	-	34	10	46	-1	103	68	-16	-	-3	3	-1	1,642
太田	13	21	5	-2	9	-7	5	10	2	-42	-17	1	22	-12	-2	-8	-8	-31	-34	-	-4	2	-1	-16	-24	-3	1	-	-1	1	-120
つなぎ	2	5	-6	4	-	-2	-2	-	-	1	-19	6	1	3	-	-4	-	1	-10	4	-	-1	1	-13	-1	-3	-1	-	-	-1	-35
中野	-	-58	49	17	26	-4	3	6	10	-27	-2	-27	19	-78	-29	116	12	82	-46	-2	1	-	30	-48	2	-21	-	6	-	1	38
築川	-5	3	5	-6	4	4	3	-	2	-6	-2	4	-	-5	-	2	-	-4	1	1	-1	-30	-	-6	10	2	-	-	-	-	-24
見前	47	-6	29	12	-	-15	27	17	43	-44	34	-5	-15	-8	-1	69	22	96	-103	16	13	48	6	-	97	-61	-	9	-	-7	320
飯岡	19	-11	30	1	22	25	9	7	5	-21	16	28	6	7	-26	-9	2	31	-68	24	1	-2	-10	-97	-	-17	-	-	-	1	-27
乙部	4	-21	24	18	16	-2	-2	22	-9	-11	26	-1	1	21	7	12	-4	21	16	3	3	21	-2	61	17	-	1	-	-2	-	240
巻堀・姫神	1	-1	-	4	-	5	-	-	-	-	-1	1	-1	-	-	-	-	2	-	-1	1	-	-	-	-	-1	-	-5	-12	-	-8
好摩	-	2	2	-3	3	-3	9	-1	-2	-1	-1	-	3	5	-2	-	-	2	3	-	-	-6	-	-9	-	-	5	-	8	-2	12
渋民	6	-2	-3	3	2	-14	2	-2	-3	-	5	2	-1	4	-	1	-3	7	-3	1	-	-	-	-	-	2	12	-8	-	6	14
玉山・藪川	-1	-1	-	5	-3	1	4	-2	1	-1	-1	2	-	-4	-	-2	-3	-1	1	-1	1	-1	-	7	-1	-	-	2	-6	-	-4

※ 緑：本文で用いた数値等（増加） 黄：本文で用いた数値等（減少） 紫：本文で用いた数値等（増加・減少）

3 コミュニティ地区別市外転出及び転入の状況

ここでは、市外への転出及び転入の状況について、地区別・県内外別に集計したものについて考察する。なお、集計については年ごとに行っているが、データ量が多いため考察には平成12年集計（玉山区の地区は17年集計）から19年集計までを合計したものを利用した。

(1) 市外からの転入状況

市外からの転入状況にまとめたものが表8～10である。県内からの転入者の状況を地区別で見ると、県央地域からの転入者が占める割合が高く、続いて県南、沿岸、県北の順になっている地区が多い。

県央地域についてみると、表8のとおり転入者の多い市町村は、滝沢村の7,061人、矢巾町の2,888人、紫波町の2,022人となっている。さらに表8、9で滝沢村からの転入について地区別で見ると、青山への転入が1,311人で18.6%、みたけが499人で7.1%、西厨川が434人で6.1%となっている。同様に矢巾町からの転入者については、見前が717人で24.8%、飯岡が374人で13.0%、仙北が219人で7.6%となっている。紫波町からの転入者については、見前が392人で19.4%、本宮が167人で8.3%、飯岡が163人で8.1%となっている。

また、地区別転入者に占める割合で見ると、表10のとおり滝沢村からの転入者が占める割合が大きい地区は、巻堀・姫神の23.1%、玉山・薮川の20.8%、土淵の20.6%となっている。矢巾町では、乙部の10.5%、飯岡の7.9%、見前の6.8%となっている。紫波町では築川の7.3%、乙部の5.4%となっている。これらのことから、地区に隣接又は物理的に近い市町村からの転入者が多い傾向があるといえる。

県外からの転入者の状況を見ると、表8のとおり宮城県の13,435人、青森県の7,431人、東京都の6,770人の順になっている。

転入元の地域別で見ると、表9のとおり「東京都・千葉県・神奈川県から桜城」、「青森県・秋田県から上田」、「青森県・宮城県から見前」への転入者の占める割合が高くなっている。

地区別の転入者に占める地域別の転入者の割合をみた場合、表10のとおり宮城県はすべての地区において5%以上の割合を占め、本宮、見前、西厨川等20地区では10%以上となっている。また、東京都はほとんどの地区において5%以上の割合を占め、中心部に位置する桜城、杜陵では10%以上となっている。

表 8 地区別転入者数（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

（単位：人）

転入元 転入先	合計	県内		県内内訳					県央内訳（旧玉山村含まず）							県外内訳（移動者数が多い6地域を掲載）					
		県内	県外	県央	県南	県北	沿岸	不明	八幡平市	雫石町	葛巻町	岩手町	滝沢村	紫波町	矢巾町	青森県	秋田県	宮城県	北関東	東京都	千葉県 神奈川県
仁王	5,071	2,043	3,028	570	593	287	484	109	80	48	32	50	192	55	81	317	259	579	216	407	243
桜城	7,847	2,490	5,357	734	730	340	581	105	85	70	31	44	291	90	96	543	416	1,028	415	783	543
上田	8,085	2,735	5,350	666	814	383	728	144	97	61	35	58	259	47	72	763	520	1,045	346	456	371
緑が丘	3,682	1,820	1,862	652	399	280	405	84	69	50	23	43	325	38	45	226	154	378	148	226	182
松園	4,828	2,219	2,609	755	659	252	455	98	109	41	25	81	341	60	68	229	128	581	224	330	240
青山	9,289	4,284	5,005	1,981	959	434	723	187	157	132	40	80	1,311	82	114	620	365	1,105	356	502	433
みたけ	3,320	1,678	1,642	792	317	198	295	76	91	39	26	27	499	38	38	225	133	364	127	136	132
北厨川	2,932	1,136	1,796	516	248	84	237	51	74	23	12	39	292	24	16	271	160	287	204	148	115
西厨川	5,184	2,049	3,135	828	501	251	390	79	59	98	27	57	432	68	68	393	333	693	244	339	260
土淵	996	605	391	346	113	64	63	19	20	58	9	5	205	19	23	67	46	95	14	23	35
東厨川	5,495	2,207	3,288	864	583	211	420	129	116	68	29	46	434	80	58	445	274	690	260	308	260
城南	4,771	1,884	2,887	477	561	296	454	96	66	45	18	31	153	69	78	267	206	629	210	444	324
加賀野	1,822	813	1,009	223	265	89	204	32	36	22	16	23	54	31	36	62	68	212	91	166	134
山岸	3,978	1,999	1,979	615	553	242	490	99	85	48	22	63	209	65	88	183	121	370	150	327	220
杜陵	2,337	731	1,606	225	218	82	154	52	21	17	4	13	80	43	43	130	122	286	127	235	188
大慈寺	1,685	842	843	248	280	97	180	37	26	16	12	20	71	46	51	93	72	195	64	132	78
米内	681	331	350	127	79	29	84	12	15	8	3	7	56	14	15	34	9	75	23	56	38
仙北	5,780	2,610	3,170	828	760	347	559	116	73	71	31	43	230	131	219	431	261	785	224	304	254
本宮	7,629	2,824	4,805	969	845	317	601	92	86	95	20	47	341	167	179	541	468	1,227	386	365	438
太田	1,843	948	895	430	235	88	139	56	38	57	18	15	182	50	59	106	67	189	63	97	89
つなぎ	322	229	93	107	31	20	60	11	11	39	7	9	21	6	8	8	5	19	14	11	9
中野	4,386	2,429	1,957	731	702	326	544	126	86	41	27	47	233	128	144	215	214	386	155	199	172
築川	191	102	89	49	32	6	13	2	6	4	2	6	9	14	6	12	4	22	7	10	11
見前	10,468	4,835	5,633	1,924	1,335	485	904	187	134	84	49	77	425	392	717	867	482	1,478	396	400	389
飯岡	4,724	2,439	2,285	999	621	287	441	91	72	85	18	39	228	163	374	301	193	524	187	233	210
乙部	1,748	1,132	616	446	273	126	240	47	22	30	10	14	81	94	184	57	39	135	71	91	43
巻堀・姫神	39	22	17	17	2	1	1	1	2	-	-	4	9	1	1	1	-	3	1	3	2
好摩	289	182	107	112	22	20	19	9	39	5	5	27	30	2	4	8	3	21	7	22	8
渋民	402	237	165	154	33	16	19	15	27	4	6	52	57	5	3	16	8	30	18	14	16
玉山・蕨川	53	25	28	13	8	1	2	1	1	-	-	1	11	-	-	-	-	4	3	3	5
合計	109,877	47,880	61,997	17,398	12,771	5,659	9,889	2,163	1,803	1,359	557	1,068	7,061	2,022	2,888	7,431	5,130	13,435	4,751	6,770	5,442

※ ■：本文で用いた数値等

表 9 転入元地域別転入者に占める地区別転入者の割合（平成12年集計から19年集計までの合計）

（単位：％）

転入元 転入先	合計	県内	県外	県内内訳					県央内訳（旧玉山村含まず）							県外内訳（一部抜粋）					
				県央	県南	県北	沿岸	不明	八幡平市	零石町	葛巻町	岩手町	滝沢村	紫波町	矢巾町	青森県	秋田県	宮城県	北関東	東京都	千葉県 神奈川県
仁王	4.6	4.3	4.9	3.3	4.6	5.1	4.9	5.0	4.4	3.5	5.7	4.7	2.7	2.7	2.8	4.3	5.0	4.3	4.5	6.0	4.5
桜城	7.1	5.2	8.6	4.2	5.7	6.0	5.9	4.9	4.7	5.2	5.6	4.1	4.1	4.5	3.3	7.3	8.1	7.7	8.7	11.6	10.0
上田	7.4	5.7	8.6	3.8	6.4	6.8	7.4	6.7	5.4	4.5	6.3	5.4	3.7	2.3	2.5	10.3	10.1	7.8	7.3	6.7	6.8
緑が丘	3.4	3.8	3.0	3.7	3.1	4.9	4.1	3.9	3.8	3.7	4.1	4.0	4.6	1.9	1.6	3.0	3.0	2.8	3.1	3.3	3.3
松園	4.4	4.6	4.2	4.3	5.2	4.5	4.6	4.5	6.0	3.0	4.5	7.6	4.8	3.0	2.4	3.1	2.5	4.3	4.7	4.9	4.4
青山	8.5	8.9	8.1	11.4	7.5	7.7	7.3	8.6	8.7	9.7	7.2	7.5	18.6	4.1	3.9	8.3	7.1	8.2	7.5	7.4	8.0
みたけ	3.0	3.5	2.6	4.6	2.5	3.5	3.0	3.5	5.0	2.9	4.7	2.5	7.1	1.9	1.3	3.0	2.6	2.7	2.7	2.0	2.4
北厨川	2.7	2.4	2.9	3.0	1.9	1.5	2.4	2.4	4.1	1.7	2.2	3.7	4.1	1.2	0.6	3.6	3.1	2.1	4.3	2.2	2.1
西厨川	4.7	4.3	5.1	4.8	3.9	4.4	3.9	3.7	3.3	7.2	4.8	5.3	6.1	3.4	2.4	5.3	6.5	5.2	5.1	5.0	4.8
土淵	0.9	1.3	0.6	2.0	0.9	1.1	0.6	0.9	1.1	4.3	1.6	0.5	2.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.7	0.3	0.3	0.6
東厨川	5.0	4.6	5.3	5.0	4.6	3.7	4.2	6.0	6.4	5.0	5.2	4.3	6.1	4.0	2.0	6.0	5.3	5.1	5.5	4.5	4.8
城南	4.3	3.9	4.7	2.7	4.4	5.2	4.6	4.4	3.7	3.3	3.2	2.9	2.2	3.4	2.7	3.6	4.0	4.7	4.4	6.6	6.0
加賀野	1.7	1.7	1.6	1.3	2.1	1.6	2.1	1.5	2.0	1.6	2.9	2.2	0.8	1.5	1.2	0.8	1.3	1.6	1.9	2.5	2.5
山岸	3.6	4.2	3.2	3.5	4.3	4.3	5.0	4.6	4.7	3.5	3.9	5.9	3.0	3.2	3.0	2.5	2.4	2.8	3.2	4.8	4.0
杜陵	2.1	1.5	2.6	1.3	1.7	1.4	1.6	2.4	1.2	1.3	0.7	1.2	1.1	2.1	1.5	1.7	2.4	2.1	2.7	3.5	3.5
大慈寺	1.5	1.8	1.4	1.4	2.2	1.7	1.8	1.7	1.4	1.2	2.2	1.9	1.0	2.3	1.8	1.3	1.4	1.5	1.3	1.9	1.4
米内	0.6	0.7	0.6	0.7	0.6	0.5	0.8	0.6	0.8	0.6	0.5	0.7	0.8	0.7	0.5	0.5	0.2	0.6	0.5	0.8	0.7
仙北	5.3	5.5	5.1	4.8	6.0	6.1	5.7	5.4	4.0	5.2	5.6	4.0	3.3	6.5	7.6	5.8	5.1	5.8	4.7	4.5	4.7
本宮	6.9	5.9	7.8	5.6	6.6	5.6	6.1	4.3	4.8	7.0	3.6	4.4	4.8	8.3	6.2	7.3	9.1	9.1	8.1	5.4	8.0
太田	1.7	2.0	1.4	2.5	1.8	1.6	1.4	2.6	2.1	4.2	3.2	1.4	2.6	2.5	2.0	1.4	1.3	1.4	1.3	1.4	1.6
つなぎ	0.3	0.5	0.2	0.6	0.2	0.4	0.6	0.5	0.6	2.9	1.3	0.8	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2
中野	4.0	5.1	3.2	4.2	5.5	5.8	5.5	5.8	4.8	3.0	4.8	4.4	3.3	6.3	5.0	2.9	4.2	2.9	3.3	2.9	3.2
築川	0.2	0.2	0.1	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.6	0.1	0.7	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
見前	9.5	10.1	9.1	11.1	10.5	8.6	9.1	8.6	7.4	6.2	8.8	7.2	6.0	19.4	24.8	11.7	9.4	11.0	8.3	5.9	7.1
飯岡	4.3	5.1	3.7	5.7	4.9	5.1	4.5	4.2	4.0	6.3	3.2	3.7	3.2	8.1	13.0	4.1	3.8	3.9	3.9	3.4	3.9
乙部	1.6	2.4	1.0	2.6	2.1	2.2	2.4	2.2	1.2	2.2	1.8	1.3	1.1	4.6	6.4	0.8	0.8	1.0	1.5	1.3	0.8
巻堀・姫神	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	-	-	0.4	0.1	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0
好摩	0.3	0.4	0.2	0.6	0.2	0.4	0.2	0.4	2.2	0.4	0.9	2.5	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1
渋民	0.4	0.5	0.3	0.9	0.3	0.3	0.2	0.7	1.5	0.3	1.1	4.9	0.8	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2	0.3
玉山・藪川	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	-	-	0.1	0.2	-	-	-	-	0.0	0.1	0.0	0.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 5.0～9.9% 10～19.9% 20.0%～

表 10 地区別転入者に占める転入元地域別転入者の割合（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

（単位：％）

転入元 転入先	合計	県内	県外	県内内訳					県央内訳（旧玉山村含まず）							県外内訳（一部抜粋）					
				県央	県南	県北	沿岸	不明	八幡平市	雫石町	葛巻町	岩手町	滝沢村	紫波町	矢巾町	青森県	秋田県	宮城県	北関東	東京都	千葉県 神奈川県
仁王	100.0	40.3	59.7	11.2	11.7	5.7	9.5	2.1	1.6	0.9	0.6	1.0	3.8	1.1	1.6	6.3	5.1	11.4	4.3	8.0	4.8
桜城	100.0	31.7	68.3	9.4	9.3	4.3	7.4	1.3	1.1	0.9	0.4	0.6	3.7	1.1	1.2	6.9	5.3	13.1	5.3	10.0	6.9
上田	100.0	33.8	66.2	8.2	10.1	4.7	9.0	1.8	1.2	0.8	0.4	0.7	3.2	0.6	0.9	9.4	6.4	12.9	4.3	5.6	4.6
緑が丘	100.0	49.4	50.6	17.7	10.8	7.6	11.0	2.3	1.9	1.4	0.6	1.2	8.8	1.0	1.2	6.1	4.2	10.3	4.0	6.1	4.9
松園	100.0	46.0	54.0	15.6	13.6	5.2	9.4	2.0	2.3	0.8	0.5	1.7	7.1	1.2	1.4	4.7	2.7	12.0	4.6	6.8	5.0
青山	100.0	46.1	53.9	21.3	10.3	4.7	7.8	2.0	1.7	1.4	0.4	0.9	14.1	0.9	1.2	6.7	3.9	11.9	3.8	5.4	4.7
みたけ	100.0	50.5	49.5	23.9	9.5	6.0	8.9	2.3	2.7	1.2	0.8	0.8	15.0	1.1	1.1	6.8	4.0	11.0	3.8	4.1	4.0
北厨川	100.0	38.7	61.3	17.6	8.5	2.9	8.1	1.7	2.5	0.8	0.4	1.3	10.0	0.8	0.5	9.2	5.5	9.8	7.0	5.0	3.9
西厨川	100.0	39.5	60.5	16.0	9.7	4.8	7.5	1.5	1.1	1.9	0.5	1.1	8.3	1.3	1.3	7.6	6.4	13.4	4.7	6.5	5.0
土淵	100.0	60.7	39.3	34.7	11.3	6.4	6.3	1.9	2.0	5.8	0.9	0.5	20.6	1.9	2.3	6.7	4.6	9.5	1.4	2.3	3.5
東厨川	100.0	40.2	59.8	15.7	10.6	3.8	7.6	2.3	2.1	1.2	0.5	0.8	7.9	1.5	1.1	8.1	5.0	12.6	4.7	5.6	4.7
城南	100.0	39.5	60.5	10.0	11.8	6.2	9.5	2.0	1.4	0.9	0.4	0.6	3.2	1.4	1.6	5.6	4.3	13.2	4.4	9.3	6.8
加賀野	100.0	44.6	55.4	12.2	14.5	4.9	11.2	1.8	2.0	1.2	0.9	1.3	3.0	1.7	2.0	3.4	3.7	11.6	5.0	9.1	7.4
山岸	100.0	50.3	49.7	15.5	13.9	6.1	12.3	2.5	2.1	1.2	0.6	1.6	5.3	1.6	2.2	4.6	3.0	9.3	3.8	8.2	5.5
杜陵	100.0	31.3	68.7	9.6	9.3	3.5	6.6	2.2	0.9	0.7	0.2	0.6	3.4	1.8	1.8	5.6	5.2	12.2	5.4	10.1	8.0
大慈寺	100.0	50.0	50.0	14.7	16.6	5.8	10.7	2.2	1.5	0.9	0.7	1.2	4.2	2.7	3.0	5.5	4.3	11.6	3.8	7.8	4.6
米内	100.0	48.6	51.4	18.6	11.6	4.3	12.3	1.8	2.2	1.2	0.4	1.0	8.2	2.1	2.2	5.0	1.3	11.0	3.4	8.2	5.6
仙北	100.0	45.2	54.8	14.3	13.1	6.0	9.7	2.0	1.3	1.2	0.5	0.7	4.0	2.3	3.8	7.5	4.5	13.6	3.9	5.3	4.4
本宮	100.0	37.0	63.0	12.7	11.1	4.2	7.9	1.2	1.1	1.2	0.3	0.6	4.5	2.2	2.3	7.1	6.1	16.1	5.1	4.8	5.7
太田	100.0	51.4	48.6	23.3	12.8	4.8	7.5	3.0	2.1	3.1	1.0	0.8	9.9	2.7	3.2	5.8	3.6	10.3	3.4	5.3	4.8
つなぎ	100.0	71.1	28.9	33.2	9.6	6.2	18.6	3.4	3.4	12.1	2.2	2.8	6.5	1.9	2.5	2.5	1.6	5.9	4.3	3.4	2.8
中野	100.0	55.4	44.6	16.7	16.0	7.4	12.4	2.9	2.0	0.9	0.6	1.1	5.3	2.9	3.3	4.9	4.9	8.8	3.5	4.5	3.9
築川	100.0	53.4	46.6	25.7	16.8	3.1	6.8	1.0	3.1	2.1	1.0	3.1	4.7	7.3	3.1	6.3	2.1	11.5	3.7	5.2	5.8
見前	100.0	46.2	53.8	18.4	12.8	4.6	8.6	1.8	1.3	0.8	0.5	0.7	4.1	3.7	6.8	8.3	4.6	14.1	3.8	3.8	3.7
飯岡	100.0	51.6	48.4	21.1	13.1	6.1	9.3	1.9	1.5	1.8	0.4	0.8	4.8	3.5	7.9	6.4	4.1	11.1	4.0	4.9	4.4
乙部	100.0	64.8	35.2	25.5	15.6	7.2	13.7	2.7	1.3	1.7	0.6	0.8	4.6	5.4	10.5	3.3	2.2	7.7	4.1	5.2	2.5
巻堀・姫神	100.0	56.4	43.6	43.6	5.1	2.6	2.6	2.6	5.1	-	-	10.3	23.1	2.6	2.6	2.6	-	7.7	2.6	7.7	5.1
好摩	100.0	63.0	37.0	38.8	7.6	6.9	6.6	3.1	13.5	1.7	1.7	9.3	10.4	0.7	1.4	2.8	1.0	7.3	2.4	7.6	2.8
渋民	100.0	59.0	41.0	38.3	8.2	4.0	4.7	3.7	6.7	1.0	1.5	12.9	14.2	1.2	0.7	4.0	2.0	7.5	4.5	3.5	4.0
玉山・藪川	100.0	47.2	52.8	24.5	15.1	1.9	3.8	1.9	1.9	-	-	1.9	20.8	-	-	-	-	7.5	5.7	5.7	9.4
合計	100.0	43.6	56.4	15.8	11.6	5.2	9.0	2.0	1.6	1.2	0.5	1.0	6.4	1.8	2.6	6.8	4.7	12.2	4.3	6.2	5.0

※ 5.0～9.9% : 10～19.9% : 20.0%～

(2) 市外への転出状況

県内の転出者の状況を地区別にまとめたものが表 11～13 である。県内への転出者でみると、転入者と同様に県央地域への転出者が占める割合が高く、続いて県南、沿岸、県北の順となっている地区が多い。

県央地域について市町村別にみると、表 11 のとおり滝沢村の 9,016 人、矢巾町の 4,278 人、紫波町の 3,256 人となっている。滝沢村への転出者が多い地区は、表 11, 12 のとおり青山が 1,934 人で 21.5%、みたけが 737 人で 8.2%、北厨川が 678 人で 7.5%となっている。また、矢巾町への転出者が多い地区は、見前が 1,028 人で 24.0%、飯岡の 606 人で 14.2%、仙北の 363 人で 8.5%となっている。紫波町への転出者が多い地区は、見前が 692 人で 21.3%、飯岡の 348 人で 10.7%、仙北の 262 人で 8.0%となっている。

また、地区別転出者に占める割合でみると、表 13 のとおり滝沢村からの転出者が占める割合が大きい地区は、土淵の 20.3%、みたけの 19.9%、巻堀・姫神の 19.7%となっている。矢巾町では、乙部の 10.9%、飯岡の 10.8%、見前の 9.5%となっている。紫波町では乙部の 10.2%、見前の 6.4%、飯岡の 6.2%となっている。これらのことから、転入者と同様に地区に隣接又は物理的に近い市町村への転出者が多い傾向にあることが分かる。

県外への転出者でみると、表 11 のとおり宮城県の 16,851 人、東京都の 10,578 人、千葉県・神奈川県 of 8,206 人の順となっている。

転出先の地域別でみると、表 12 のとおり桜城から「東京都」、上田から「青森県・秋田県」、見前から「青森県、宮城県」への転出者の占める割合が 10%以上となっている。

地区別の転出者に占める地域別の転出者の割合でみた場合、表 13 のとおり宮城県への転出の割合は本宮、仙北等の 24 地区で 10%以上となっている。また、東京都は杜陵、桜城、加賀野、米内等の 10 地区で 10%以上となっている。千葉県・神奈川県では杜陵で 10%以上となっている。

表 11 地区別転出者数（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

（単位：人）

転出先 転出元	合計	県内	県外	県内内訳					県央内訳（旧玉山村含まず）						県外内訳（移動者数が多い6地域を掲載）						
				県央	県南	県北	沿岸	不明	八幡平市	雫石町	葛巻町	岩手町	滝沢村	紫波町	矢巾町	青森県	秋田県	宮城県	北関東	東京都	千葉県 神奈川県
仁王	4,989	1,658	3,331	508	602	216	314	18	63	48	8	17	188	93	73	267	220	694	307	570	334
桜城	7,658	1,844	5,814	666	553	240	367	18	56	66	9	42	267	80	128	473	325	1,174	497	1,059	741
上田	9,032	2,319	6,713	753	821	256	466	23	67	58	25	41	376	86	75	723	484	1,361	625	835	718
緑が丘	4,445	1,718	2,727	700	485	210	304	19	64	29	14	32	368	64	100	195	179	667	254	422	361
松園	6,258	2,210	4,048	964	677	224	324	21	64	64	15	35	479	115	163	244	156	950	386	741	492
青山	10,396	4,783	5,613	2,722	1,067	344	599	51	117	166	37	73	1,934	165	164	623	390	1,413	468	624	612
みたけ	3,707	1,602	2,105	1,018	281	133	154	16	75	58	17	15	737	42	49	234	146	492	210	257	227
北厨川	3,670	1,563	2,107	1,031	277	90	146	19	51	46	2	43	678	115	69	263	130	339	277	270	221
西厨川	5,871	2,031	3,840	1,079	487	155	290	20	65	117	14	31	603	129	95	413	303	922	367	493	407
土淵	522	266	256	158	52	26	25	5	6	21	4	4	106	1	13	26	14	54	20	31	47
東厨川	6,084	2,250	3,834	1,107	638	184	295	26	95	84	23	27	596	117	115	352	229	967	401	540	404
城南	4,881	1,626	3,255	503	573	188	339	23	37	46	6	34	183	75	105	292	164	778	260	522	371
加賀野	2,061	759	1,302	224	266	81	179	9	19	14	5	10	67	30	72	99	92	243	99	284	186
山岸	4,133	1,701	2,432	591	561	191	336	22	62	48	18	47	220	61	109	174	124	452	255	514	292
杜陵	2,526	570	1,956	194	174	63	125	14	14	11	2	5	86	37	35	117	88	364	194	354	300
大慈寺	1,824	753	1,071	323	241	58	119	12	18	17	11	21	106	61	86	64	77	241	84	199	136
米内	927	359	568	177	111	23	41	7	15	10	0	16	89	20	17	33	16	103	62	128	83
仙北	6,116	2,523	3,593	1,102	721	218	450	32	70	69	17	43	252	262	363	393	215	985	344	453	363
本宮	5,966	2,041	3,925	836	669	177	347	12	42	68	15	28	284	155	220	326	279	1,105	361	399	422
太田	1,899	888	1,011	480	211	55	120	22	26	85	3	10	200	70	70	82	45	265	98	165	130
つなぎ	283	192	91	127	20	12	33	0	12	54	2	3	41	4	7	5	9	22	4	18	10
中野	4,670	2,281	2,389	929	674	234	414	30	59	59	16	33	273	201	266	203	199	553	185	356	248
築川	269	131	138	72	36	6	9	8	4	4	5	5	22	13	16	12	4	38	12	26	18
見前	10,830	4,728	6,102	2,471	1,257	354	600	46	105	100	29	69	406	692	1,028	716	356	1,686	598	608	589
飯岡	5,617	2,632	2,985	1,371	724	206	308	23	57	71	22	37	204	348	606	271	196	720	297	458	321
乙部	2,044	1,136	908	583	278	119	136	20	12	26	5	13	84	208	223	50	39	195	102	182	116
巻堀・姫神	71	38	33	29	6	-	2	1	3	-	-	11	14	-	1	-	-	9	5	7	6
好摩	316	186	130	122	32	18	12	2	32	2	2	14	61	7	4	10	2	21	16	33	22
渋民	380	176	204	127	25	12	10	2	26	2	2	19	72	2	4	26	9	31	27	20	23
玉山・蘓川	110	56	54	32	13	2	6	3	4	1	-	2	20	3	2	4	2	7	10	10	6
合計	117,555	45,020	72,535	20,999	12,532	4,095	6,870	524	1,340	1,444	328	780	9,016	3,256	4,278	6,690	4,492	16,851	6,825	10,578	8,206

※ ■：本文で用いた数値等

表 12 転出先地域別転出者に占める地区別転出者の割合（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

（単位：％）

転出先 転出元	合計	県内	県外	県内内訳					県央内訳（旧玉山村含まず）							県外内訳（一部抜粋）					
				県央	県南	県北	沿岸	不明	八幡平市	零石町	葛巻町	岩手町	滝沢村	紫波町	矢巾町	青森県	秋田県	宮城県	北関東	東京都	千葉県 神奈川県
仁王	4.2	3.7	4.6	2.4	4.8	5.3	4.6	3.4	4.7	3.3	2.4	2.2	2.1	2.9	1.7	4.0	4.9	4.1	4.5	5.4	4.1
桜城	6.5	4.1	8.0	3.2	4.4	5.9	5.3	3.4	4.2	4.6	2.7	5.4	3.0	2.5	3.0	7.1	7.2	7.0	7.3	10.0	9.0
上田	7.7	5.2	9.3	3.6	6.6	6.3	6.8	4.4	5.0	4.0	7.6	5.3	4.2	2.6	1.8	10.8	10.8	8.1	9.2	7.9	8.7
緑が丘	3.8	3.8	3.8	3.3	3.9	5.1	4.4	3.6	4.8	2.0	4.3	4.1	4.1	2.0	2.3	2.9	4.0	4.0	3.7	4.0	4.4
松園	5.3	4.9	5.6	4.6	5.4	5.5	4.7	4.0	4.8	4.4	4.6	4.5	5.3	3.5	3.8	3.6	3.5	5.6	5.7	7.0	6.0
青山	8.8	10.6	7.7	13.0	8.5	8.4	8.7	9.7	8.7	11.5	11.3	9.4	21.5	5.1	3.8	9.3	8.7	8.4	6.9	5.9	7.5
みたけ	3.2	3.6	2.9	4.8	2.2	3.2	2.2	3.1	5.6	4.0	5.2	1.9	8.2	1.3	1.1	3.5	3.3	2.9	3.1	2.4	2.8
北厨川	3.1	3.5	2.9	4.9	2.2	2.2	2.1	3.6	3.8	3.2	0.6	5.5	7.5	3.5	1.6	3.9	2.9	2.0	4.1	2.6	2.7
西厨川	5.0	4.5	5.3	5.1	3.9	3.8	4.2	3.8	4.9	8.1	4.3	4.0	6.7	4.0	2.2	6.2	6.7	5.5	5.4	4.7	5.0
土淵	0.4	0.6	0.4	0.8	0.4	0.6	0.4	1.0	0.4	1.5	1.2	0.5	1.2	0.0	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6
東厨川	5.2	5.0	5.3	5.3	5.1	4.5	4.3	5.0	7.1	5.8	7.0	3.5	6.6	3.6	2.7	5.3	5.1	5.7	5.9	5.1	4.9
城南	4.2	3.6	4.5	2.4	4.6	4.6	4.9	4.4	2.8	3.2	1.8	4.4	2.0	2.3	2.5	4.4	3.7	4.6	3.8	4.9	4.5
加賀野	1.8	1.7	1.8	1.1	2.1	2.0	2.6	1.7	1.4	1.0	1.5	1.3	0.7	0.9	1.7	1.5	2.0	1.4	1.5	2.7	2.3
山岸	3.5	3.8	3.4	2.8	4.5	4.7	4.9	4.2	4.6	3.3	5.5	6.0	2.4	1.9	2.5	2.6	2.8	2.7	3.7	4.9	3.6
杜陵	2.1	1.3	2.7	0.9	1.4	1.5	1.8	2.7	1.0	0.8	0.6	0.6	1.0	1.1	0.8	1.7	2.0	2.2	2.8	3.3	3.7
大慈寺	1.6	1.7	1.5	1.5	1.9	1.4	1.7	2.3	1.3	1.2	3.4	2.7	1.2	1.9	2.0	1.0	1.7	1.4	1.2	1.9	1.7
米内	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.6	0.6	1.3	1.1	0.7	0.0	2.1	1.0	0.6	0.4	0.5	0.4	0.6	0.9	1.2	1.0
仙北	5.2	5.6	5.0	5.2	5.8	5.3	6.6	6.1	5.2	4.8	5.2	5.5	2.8	8.0	8.5	5.9	4.8	5.8	5.0	4.3	4.4
本宮	5.1	4.5	5.4	4.0	5.3	4.3	5.1	2.3	3.1	4.7	4.6	3.6	3.1	4.8	5.1	4.9	6.2	6.6	5.3	3.8	5.1
太田	1.6	2.0	1.4	2.3	1.7	1.3	1.7	4.2	1.9	5.9	0.9	1.3	2.2	2.1	1.6	1.2	1.0	1.6	1.4	1.6	1.6
つなぎ	0.2	0.4	0.1	0.6	0.2	0.3	0.5	0.0	0.9	3.7	0.6	0.4	0.5	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1
中野	4.0	5.1	3.3	4.4	5.4	5.7	6.0	5.7	4.4	4.1	4.9	4.2	3.0	6.2	6.2	3.0	4.4	3.3	2.7	3.4	3.0
築川	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	1.5	0.3	0.3	1.5	0.6	0.2	0.4	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
見前	9.2	10.5	8.4	11.8	10.0	8.6	8.7	8.8	7.8	6.9	8.8	8.8	4.5	21.3	24.0	10.7	7.9	10.0	8.8	5.7	7.2
飯岡	4.8	5.8	4.1	6.5	5.8	5.0	4.5	4.4	4.3	4.9	6.7	4.7	2.3	10.7	14.2	4.1	4.4	4.3	4.4	4.3	3.9
乙部	1.7	2.5	1.3	2.8	2.2	2.9	2.0	3.8	0.9	1.8	1.5	1.7	0.9	6.4	5.2	0.7	0.9	1.2	1.5	1.7	1.4
巻堀・姫神	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	-	0.0	0.2	0.2	-	-	1.4	0.2	-	0.0	-	-	0.1	0.1	0.1	0.1
好摩	0.3	0.4	0.2	0.6	0.3	0.4	0.2	0.4	2.4	0.1	0.6	1.8	0.7	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3
渋民	0.3	0.4	0.3	0.6	0.2	0.3	0.1	0.4	1.9	0.1	0.6	2.4	0.8	0.1	0.1	0.4	0.2	0.2	0.4	0.2	0.3
玉山・蕨川	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.6	0.3	0.1	-	0.3	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 〇 : 5.0～9.9% 〻 : 10～19.9% 〼 : 20.0%～

表 13 地区別転出者に占める転出先地域別転出者の割合（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

（単位：％）

転出先 転出元	合計	県内	県外	県内内訳					県央内訳（旧玉山村含まず）							県外内訳（一部抜粋）					
				県央	県南	県北	沿岸	不明	八幡平市	雫石町	葛巻町	岩手町	滝沢村	紫波町	矢巾町	青森県	秋田県	宮城県	北関東	東京都	千葉県 神奈川県
仁王	100.0	33.2	66.8	10.2	12.1	4.3	6.3	0.4	1.3	1.0	0.2	0.3	3.8	1.9	1.5	5.4	4.4	13.9	6.2	11.4	6.7
桜城	100.0	24.1	75.9	8.7	7.2	3.1	4.8	0.2	0.7	0.9	0.1	0.5	3.5	1.0	1.7	6.2	4.2	15.3	6.5	13.8	9.7
上田	100.0	25.7	74.3	8.3	9.1	2.8	5.2	0.3	0.7	0.6	0.3	0.5	4.2	1.0	0.8	8.0	5.4	15.1	6.9	9.2	7.9
緑が丘	100.0	38.7	61.3	15.7	10.9	4.7	6.8	0.4	1.4	0.7	0.3	0.7	8.3	1.4	2.2	4.4	4.0	15.0	5.7	9.5	8.1
松園	100.0	35.3	64.7	15.4	10.8	3.6	5.2	0.3	1.0	1.0	0.2	0.6	7.7	1.8	2.6	3.9	2.5	15.2	6.2	11.8	7.9
青山	100.0	46.0	54.0	26.2	10.3	3.3	5.8	0.5	1.1	1.6	0.4	0.7	18.6	1.6	1.6	6.0	3.8	13.6	4.5	6.0	5.9
みたけ	100.0	43.2	56.8	27.5	7.6	3.6	4.2	0.4	2.0	1.6	0.5	0.4	19.9	1.1	1.3	6.3	3.9	13.3	5.7	6.9	6.1
北厨川	100.0	42.6	57.4	28.1	7.5	2.5	4.0	0.5	1.4	1.3	0.1	1.2	18.5	3.1	1.9	7.2	3.5	9.2	7.5	7.4	6.0
西厨川	100.0	34.6	65.4	18.4	8.3	2.6	4.9	0.3	1.1	2.0	0.2	0.5	10.3	2.2	1.6	7.0	5.2	15.7	6.3	8.4	6.9
土淵	100.0	51.0	49.0	30.3	10.0	5.0	4.8	1.0	1.1	4.0	0.8	0.8	20.3	0.2	2.5	5.0	2.7	10.3	3.8	5.9	9.0
東厨川	100.0	37.0	63.0	18.2	10.5	3.0	4.8	0.4	1.6	1.4	0.4	0.4	9.8	1.9	1.9	5.8	3.8	15.9	6.6	8.9	6.6
城南	100.0	33.3	66.7	10.3	11.7	3.9	6.9	0.5	0.8	0.9	0.1	0.7	3.7	1.5	2.2	6.0	3.4	15.9	5.3	10.7	7.6
加賀野	100.0	36.8	63.2	10.9	12.9	3.9	8.7	0.4	0.9	0.7	0.2	0.5	3.3	1.5	3.5	4.8	4.5	11.8	4.8	13.8	9.0
山岸	100.0	41.2	58.8	14.3	13.6	4.6	8.1	0.5	1.5	1.2	0.4	1.1	5.3	1.5	2.6	4.2	3.0	10.9	6.2	12.4	7.1
杜陵	100.0	22.6	77.4	7.7	6.9	2.5	4.9	0.6	0.6	0.4	0.1	0.2	3.4	1.5	1.4	4.6	3.5	14.4	7.7	14.0	11.9
大慈寺	100.0	41.3	58.7	17.7	13.2	3.2	6.5	0.7	1.0	0.9	0.6	1.2	5.8	3.3	4.7	3.5	4.2	13.2	4.6	10.9	7.5
米内	100.0	38.7	61.3	19.1	12.0	2.5	4.4	0.8	1.6	1.1	0.0	1.7	9.6	2.2	1.8	3.6	1.7	11.1	6.7	13.8	9.0
仙北	100.0	41.3	58.7	18.0	11.8	3.6	7.4	0.5	1.1	1.1	0.3	0.7	4.1	4.3	5.9	6.4	3.5	16.1	5.6	7.4	5.9
本宮	100.0	34.2	65.8	14.0	11.2	3.0	5.8	0.2	0.7	1.1	0.3	0.5	4.8	2.6	3.7	5.5	4.7	18.5	6.1	6.7	7.1
太田	100.0	46.8	53.2	25.3	11.1	2.9	6.3	1.2	1.4	4.5	0.2	0.5	10.5	3.7	3.7	4.3	2.4	14.0	5.2	8.7	6.8
つなぎ	100.0	67.8	32.2	44.9	7.1	4.2	11.7	0.0	4.2	19.1	0.7	1.1	14.5	1.4	2.5	1.8	3.2	7.8	1.4	6.4	3.5
中野	100.0	48.8	51.2	19.9	14.4	5.0	8.9	0.6	1.3	1.3	0.3	0.7	5.8	4.3	5.7	4.3	4.3	11.8	4.0	7.6	5.3
築川	100.0	48.7	51.3	26.8	13.4	2.2	3.3	3.0	1.5	1.5	1.9	1.9	8.2	4.8	5.9	4.5	1.5	14.1	4.5	9.7	6.7
見前	100.0	43.7	56.3	22.8	11.6	3.3	5.5	0.4	1.0	0.9	0.3	0.6	3.7	6.4	9.5	6.6	3.3	15.6	5.5	5.6	5.4
飯岡	100.0	46.9	53.1	24.4	12.9	3.7	5.5	0.4	1.0	1.3	0.4	0.7	3.6	6.2	10.8	4.8	3.5	12.8	5.3	8.2	5.7
乙部	100.0	55.6	44.4	28.5	13.6	5.8	6.7	1.0	0.6	1.3	0.2	0.6	4.1	10.2	10.9	2.4	1.9	9.5	5.0	8.9	5.7
巻堀・姫神	100.0	53.5	46.5	40.8	8.5	-	2.8	1.4	4.2	-	-	15.5	19.7	-	1.4	-	-	12.7	7.0	9.9	8.5
好摩	100.0	58.9	41.1	38.6	10.1	5.7	3.8	0.6	10.1	0.6	0.6	4.4	19.3	2.2	1.3	3.2	0.6	6.6	5.1	10.4	7.0
渋民	100.0	46.3	53.7	33.4	6.6	3.2	2.6	0.5	6.8	0.5	0.5	5.0	18.9	0.5	1.1	6.8	2.4	8.2	7.1	5.3	6.1
玉山・薮川	100.0	50.9	49.1	29.1	11.8	1.8	5.5	2.7	3.6	0.9	-	1.8	18.2	2.7	1.8	3.6	1.8	6.4	9.1	9.1	5.5
合計	100.0	38.3	61.7	17.9	10.7	3.5	5.8	0.4	1.1	1.2	0.3	0.7	7.7	2.8	3.6	5.7	3.8	14.3	5.8	9.0	7.0

※ 5.0～9.9% 10～19.9% 20.0%～

(3) 市外転出入による増減状況

市外への転入及び転出を純増減でみたものが表 14 である。県内では 2,860 人の流入超過であるのに対し、県外では 10,538 人の流出超過となっているため、全体では 7,678 人の流出超過となっている。県内の内訳で見ると、流入超過となっているのは、県央以外の地域（不明分を含む。）で、その合計は 6,461 人となっている。逆に盛岡市が含まれる県央地域では 3,601 人の流出超過となっている。県央地域の市町村別で見ると、流入超過となっているのは、八幡平市の 463 人、岩手町の 288 人、葛巻町の 229 人、流出超過となっているのは、滝沢村の 1,995 人、矢巾町の 1,390 人、紫波町の 1,234 人、雫石町の 85 人である。

県外の転出入による純増減で見ると、北東北である青森県は 741 人、秋田県は 638 人の流入超過にあるのに対し、東京都は 3,808 人、宮城県は 3,416 人、千葉県・神奈川県は 2,764 人、北関東は 2,074 人の流出超過となっている。

平成 12 年から 19 年集計までをまとめた表 15 でみると、県内からの流入超過が拡大傾向にあることが分かる。これは県央地域における流出超過が縮小していることに起因しており、特に滝沢村、矢巾町、紫波町における流出超過が小さくなっているためである。また、県外で見ると流出超過は拡大傾向にあり、特に宮城県、北関東、東京都、千葉県・神奈川県の流出超過が拡大している影響が大きい。

表 14 地区別市外転出入の純増減数（平成 12 年集計から 19 年集計までの合計）

(単位：人)

増減内訳 地区名	合計	県内	県外	県内内訳					県央内訳（旧玉山村含まず）							県外内訳（一部抜粋）					
				県央	県南	県北	沿岸	不明	八幡平市	雫石町	葛巻町	岩手町	滝沢村	紫波町	矢巾町	青森県	秋田県	宮城県	北関東	東京都	千葉県 神奈川県
仁王	82	385	-303	62	-9	71	170	91	17	-	24	33	4	-38	8	50	39	-115	-91	-163	-91
桜城	189	646	-457	68	177	100	214	87	29	4	22	2	24	10	-32	70	91	-146	-82	-276	-198
上田	-947	416	-1,363	-87	-7	127	262	121	30	3	10	17	-117	-39	-3	40	36	-316	-279	-379	-347
緑が丘	-763	102	-865	-48	-86	70	101	65	5	21	9	11	-43	-26	-55	31	-25	-289	-106	-196	-179
松園	-1,430	9	-1,439	-209	-18	28	131	77	45	-23	10	46	-138	-55	-95	-15	-28	-369	-162	-411	-252
青山	-1,107	-499	-608	-741	-108	90	124	136	40	-34	3	7	-623	-83	-50	-3	-25	-308	-112	-122	-179
みたけ	-387	76	-463	-226	36	65	141	60	16	-19	9	12	-238	-4	-11	-9	-13	-128	-83	-121	-95
北厨川	-738	-427	-311	-515	-29	-6	91	32	23	-23	10	-4	-386	-91	-53	8	30	-52	-73	-122	-106
西厨川	-687	18	-705	-251	14	96	100	59	-6	-19	13	26	-171	-61	-27	-20	30	-229	-123	-154	-147
土淵	474	339	135	188	61	38	38	14	14	37	5	1	99	18	10	41	32	41	-6	-8	-12
東厨川	-589	-43	-546	-243	-55	27	125	103	21	-16	6	19	-162	-37	-57	93	45	-277	-141	-232	-144
城南	-110	258	-368	-26	-12	108	115	73	29	-1	12	-3	-30	-6	-27	-25	42	-149	-50	-78	-47
加賀野	-239	54	-293	-1	-1	8	25	23	17	8	11	13	-13	1	-36	-37	-24	-31	-8	-118	-52
山岸	-155	298	-453	24	-8	51	154	77	23	-	4	16	-11	4	-21	9	-3	-82	-105	-187	-72
杜陵	-189	161	-350	31	44	19	29	38	7	6	2	8	-6	6	8	13	34	-78	-67	-119	-112
大慈寺	-139	89	-228	-75	39	39	61	25	8	-1	1	-1	-35	-15	-35	29	-5	-46	-20	-67	-58
米内	-246	-28	-218	-50	-32	6	43	5	0	-2	3	-9	-33	-6	-2	1	-7	-28	-39	-72	-45
仙北	-336	87	-423	-274	39	129	109	84	3	2	14	-	-22	-131	-144	38	46	-200	-120	-149	-109
本宮	1,663	783	880	133	176	140	254	80	44	27	5	19	57	12	-41	215	189	122	25	-34	16
太田	-56	60	-116	-50	24	33	19	34	12	-28	15	5	-18	-20	-11	24	22	-76	-35	-68	-41
つなぎ	39	37	2	-20	11	8	27	11	-1	-15	5	6	-20	2	1	3	-4	-3	10	-7	-1
中野	-284	148	-432	-198	28	92	130	96	27	-18	11	14	-40	-73	-122	12	15	-167	-30	-157	-76
築川	-78	-29	-49	-23	-4	-	4	-6	2	-	-3	1	-13	1	-10	-	-	-16	-5	-16	-7
見前	-362	107	-469	-547	78	131	304	141	29	-16	20	8	19	-300	-311	151	126	-208	-202	-208	-200
飯岡	-893	-193	-700	-372	-103	81	133	68	15	14	-4	2	24	-185	-232	30	-3	-196	-110	-225	-111
乙部	-296	-4	-292	-137	-5	7	104	27	10	4	5	1	-3	-114	-39	7	-	-60	-31	-91	-73
巻堀・姫神	-32	-16	-16	-12	-4	1	-1	-	-1	-	-	-7	-5	1	-	1	-	-6	-4	-4	-4
好摩	-27	-4	-23	-10	-10	2	7	7	7	3	3	13	-31	-5	-	-2	1	-	-9	-11	-14
渋民	22	61	-39	27	8	4	9	13	1	2	4	33	-15	3	-1	-10	-1	-1	-9	-6	-7
玉山・薮川	-57	-31	-26	-19	-5	-1	-4	-2	-3	-1	-	-1	-9	-3	-2	-4	-2	-3	-7	-7	-1
合計	-7,678	2,860	-10,538	-3,601	239	1,564	3,019	1,639	463	-85	229	288	-1,955	-1,234	-1,390	741	638	-3,416	-2,074	-3,808	-2,764

表 15 市外転出入の純増減数の推移（平成 12 年集計から 19 年集計）

（単位：人）

増減内訳 集計年	合計	県内	県外	県内内訳					県央内訳（一部抜粋）			県外内訳（一部抜粋）					
				県央	県南	県北	沿岸	県内 不明	滝沢村	紫波町	矢巾町	青森県	秋田県	宮城県	北関東	東京都	千葉県 神奈川県
H12→H13	-1,114	-256	-858	-1,031	-36	205	257	349	-415	-269	-367	29	29	-440	-70	-453	-255
H13→H14	-1,119	-32	-1,087	-926	85	121	522	166	-415	-284	-328	178	52	-307	-228	-339	-356
H14→H15	-907	-56	-851	-645	-7	129	276	191	-316	-165	-229	45	135	-349	-190	-354	-259
H15→H16	-701	316	-1,017	-440	-108	236	434	194	-95	-199	-308	134	92	-360	-307	-435	-210
H16→H17	-948	413	-1,361	-324	8	227	309	193	-267	-107	-54	71	55	-340	-289	-474	-315
H17→H18	-671	790	-1,461	-98	93	262	322	211	-80	-109	-63	97	101	-494	-265	-548	-264
H18→H19	-885	868	-1,753	-41	59	236	436	178	-205	-60	-3	198	112	-539	-309	-632	-494
H19→H20	-1,333	817	-2,150	-96	145	148	463	157	-162	-41	-38	-11	62	-587	-416	-573	-611
合計	-7,678	2,860	-10,538	-3,601	239	1,564	3,019	1,639	-1,955	-1,234	-1,390	741	638	-3,416	-2,074	-3,808	-2,764

(参考1) 1世帯当たりの転居者・転出入者数

1世帯当たりの移動者数は、抽出した移動者について集計期間ごとに世帯番号を基準に集計した世帯数で移動者数を除したものであり、表16のとおり全体で見ると1世帯当たりの移動者数は1.54人となっている。

地区別で見ると、土淵の1.81人、本宮の1.72人、みたけの1.64人と住宅地における1世帯当たりの移動者数が多い傾向にある。逆に、移動者数が少ない地区は、玉山・蕨川の1.24人、上田の1.33人、仁王、桜城、巻堀・姫神の1.38人となっており、中心部及び郊外の地区でその傾向がみられる。また、転入及び転出の合計はそれぞれ1.49、1.51と近い値となっているのに対し、地区内での移動の場合、2.11人と1世帯当たりの移動者数が多くなる傾向がある。

表16 1世帯当たりの転居者・転出入者数(平成12年集計から19年集計までの合計)

(単位:人/世帯)

区分 地区名	市内転居				市外転出入						合計			
	転入	転出	地区内 での移動	合計	県内			県外			転入	転出	地区内 での移動	合計
					転入	転出	合計	転入	転出	合計				
仁王	1.53	1.48	1.64	1.53	1.23	1.26	1.24	1.32	1.30	1.31	1.37	1.36	1.64	1.38
桜城	1.50	1.41	1.63	1.49	1.27	1.30	1.28	1.31	1.36	1.34	1.36	1.36	1.63	1.38
上田	1.52	1.48	1.59	1.52	1.29	1.29	1.29	1.23	1.23	1.23	1.32	1.31	1.59	1.33
緑が丘	1.62	1.70	2.47	1.81	1.50	1.59	1.54	1.40	1.41	1.40	1.51	1.55	2.47	1.60
松園	1.77	1.51	2.65	1.85	1.58	1.62	1.60	1.44	1.39	1.41	1.59	1.48	2.65	1.61
青山	1.68	1.67	2.09	1.77	1.48	1.62	1.55	1.51	1.53	1.52	1.55	1.60	2.09	1.62
みたけ	1.83	1.68	2.34	1.84	1.53	1.67	1.59	1.50	1.48	1.49	1.62	1.59	2.34	1.64
北厨川	1.65	1.82	2.35	1.83	1.50	1.72	1.62	1.50	1.48	1.49	1.54	1.65	2.35	1.63
西厨川	1.61	1.72	2.14	1.74	1.40	1.61	1.50	1.49	1.56	1.53	1.51	1.63	2.14	1.60
土淵	2.30	1.38	2.86	2.11	1.84	1.45	1.70	1.54	1.27	1.42	2.00	1.37	2.86	1.81
東厨川	1.49	1.58	1.86	1.58	1.28	1.43	1.35	1.33	1.38	1.35	1.37	1.46	1.86	1.44
城南	1.60	1.58	1.95	1.64	1.37	1.47	1.41	1.49	1.50	1.49	1.50	1.52	1.95	1.54
加賀野	1.66	1.69	2.19	1.71	1.46	1.55	1.50	1.51	1.46	1.48	1.57	1.58	2.19	1.59
山岸	1.73	1.69	2.37	1.82	1.51	1.57	1.54	1.44	1.39	1.41	1.57	1.55	2.37	1.62
杜陵	1.61	1.59	2.15	1.67	1.30	1.41	1.34	1.51	1.53	1.52	1.50	1.54	2.15	1.55
大慈寺	1.49	1.66	1.93	1.61	1.52	1.57	1.54	1.45	1.49	1.48	1.49	1.59	1.93	1.56
米内	1.87	1.53	2.76	1.73	1.45	1.45	1.45	1.27	1.13	1.18	1.54	1.34	2.76	1.45
仙北	1.55	1.67	2.22	1.72	1.46	1.60	1.52	1.45	1.46	1.46	1.49	1.57	2.22	1.58
本宮	1.61	1.79	2.46	1.85	1.50	1.62	1.55	1.67	1.65	1.66	1.61	1.69	2.46	1.72
太田	1.68	1.62	2.47	1.80	1.55	1.53	1.54	1.47	1.33	1.39	1.58	1.50	2.47	1.62
つなぎ	1.23	1.26	1.55	1.30	1.15	1.22	1.18	1.21	1.06	1.13	1.18	1.19	1.55	1.21
中野	1.54	1.65	2.14	1.68	1.37	1.54	1.45	1.30	1.39	1.35	1.42	1.54	2.14	1.53
築川	1.78	1.33	2.14	1.55	1.24	1.44	1.35	1.16	1.12	1.14	1.47	1.29	2.14	1.39
見前	1.52	1.68	2.09	1.72	1.42	1.61	1.51	1.56	1.53	1.55	1.50	1.60	2.09	1.60
飯岡	1.72	1.69	2.36	1.80	1.50	1.67	1.58	1.44	1.38	1.41	1.55	1.56	2.36	1.60
乙部	1.85	1.51	2.32	1.78	1.52	1.55	1.53	1.29	1.24	1.26	1.58	1.43	2.32	1.55
巻堀・姫神	1.46	1.50	-	1.48	1.83	1.46	1.58	1.13	1.14	1.14	1.45	1.34	-	1.38
好摩	1.59	1.58	2.27	1.79	1.49	1.52	1.51	1.14	1.09	1.11	1.40	1.37	2.27	1.47
渋民	1.56	1.66	2.56	1.85	1.63	1.45	1.55	1.46	1.50	1.48	1.56	1.53	2.56	1.64
玉山・蕨川	1.65	1.25	1.00	1.40	1.14	1.33	1.27	1.00	1.06	1.04	1.30	1.21	1.00	1.24
合計	1.62	1.62	2.11	1.70	1.42	1.53	1.48	1.43	1.42	1.42	1.49	1.51	2.11	1.54

※ ■ : 本文で用いた数値(合計又は多い) ■ : 本文で用いた数値(少ない)

(参考2) 岩手県人口移動報告書との差異について

本集計では、地区別の人口移動を明らかにすることを目的として、住民基本台帳を利用した社会動態について分析してきたが、その集計値の合計はすでに公表されている岩手県人口移動報告書の数値と一致していない。

本集計は、8年分の移動状況をまとめて処理したため、住民異動届を移動した日を大きく遡って提出したものについて、移動した年月日と集計期間が一致するようにしている。しかし、岩手県人口移動報告書は毎年度作成されているものであるため、移動した年月日を大きく遡って移動したものについては、実際の移動日が属する集計期間ではなく、処理可能な集計期間に移動したものとして処理せざるを得ないため、両者に一定の差異は生じる。

また、県内外の差異については、転出先又は転入先が不明なものについて、県内外の転出入状況に応じて按分しているため、それらについての差異はより大きくなる可能性がある。

集計値の特性の違いとすれば、岩手県人口移動報告書は、すべての集計期間に対し、一定の期間を設けて集計しているため、集計期間ごとのバランスは良いと考えられる。その点で言えば、本集計は、移動した日を大きく遡った移動をそれに対応する集計期間に振り分けている。これは実態に即しているが、平成12年集計と19年集計では集計するための期間が異なるため、結果にも少なからず影響があると考えられる。

本集計では今まで作成されてこなかった地区ごとの社会動態について、過去に遡って実施したため、このような差異が生まれた。今後、このような集計を必要とし、継続的に実施していくのであれば、これらの集計値を一致させるためにどちらか一方の集計方法に合わせた上で、集計項目を一致させる必要があると考える。

表 17 岩手県人口移動報告書による社会動態（平成 12 年集計から 19 年集計）

（単位：人）

集計年 区分	H12→ H13	H13→ H14	H14→ H15	H15→ H16	H16→ H17	H17→ H18	H18→ H19	H19→ H20	合計
県内（転入）	6,235	6,340	5,872	5,965	5,734	6,144	6,387	6,129	48,806
県内（転出）	6,449	6,346	5,949	5,555	5,334	5,289	5,238	5,138	45,298
県内純増減	-214	-6	-77	410	400	855	1,149	991	3,508
県外（転入）	8,291	8,098	8,273	7,690	7,377	7,490	7,515	7,020	61,754
県外（転出）	9,287	9,132	9,194	8,765	8,721	9,054	9,357	9,107	72,617
県外純増減	-996	-1,034	-921	-1,075	-1,344	-1,564	-1,842	-2,087	-10,863
純増減合計	-1,210	-1,040	-998	-665	-944	-709	-693	-1,096	-7,355

表 18 岩手県人口移動報告書との差異（岩手県集計 - 本集計）

（単位：人）

集計年 区分	H12→ H13	H13→ H14	H14→ H15	H15→ H16	H16→ H17	H17→ H18	H18→ H19	H19→ H20	合計
県内（転入）	31	-28	7	30	-53	8	495	436	926
県内（転出）	-11	-54	28	-64	-40	-57	214	262	278
県内純増減	42	26	-21	94	-13	65	281	174	648
県外（転入）	-143	-15	-62	-48	-40	-82	25	122	-243
県外（転出）	-5	-68	8	10	-57	21	114	59	82
県外純増減	-138	53	-70	-58	17	-103	-89	63	-325
純増減合計	-96	79	-91	36	4	-38	192	237	323

第2 盛岡市の人口の将来推計

ここでは、平成 17 年国勢調査結果を基準とし、平成 22 年から 5 年ごとに 47 年までの盛岡市の将来人口について推計する。

1 推計方法及び仮定値の設定

人口の将来推計に当たっては、その推計方法と仮定値の設定の仕方によって結果が大きく変わってくる。そのため、本推計では、推計結果をより正しく理解してもらうために、結果に至るまでの推計方法や仮定値の設定等、その推計過程を明確に示すものである。

(1) 推計方法

将来人口を推計する場合、いくつかの手法が確立されているが、石川晃氏(H5)によれば、市町村における人口を推計するには移動マトリックス法¹⁾(あるいは、これと世帯主年齢分布法²⁾を併用すること)が適しているが、事務量が膨大でかつ複雑であるため、現実的にはコーホート法を採用するのが望ましいとの指摘がされている。この指摘のとおりコーホート法は、社会保障・人口問題研究所をはじめ、多くの地方自治体や研究機関で用いられている手法である。なお、コーホートとは同期間に生まれた集団のことで、コーホート法とは、その集団ごとにその期間に合わせた時間軸により人口の変化を捉える方法をいう。

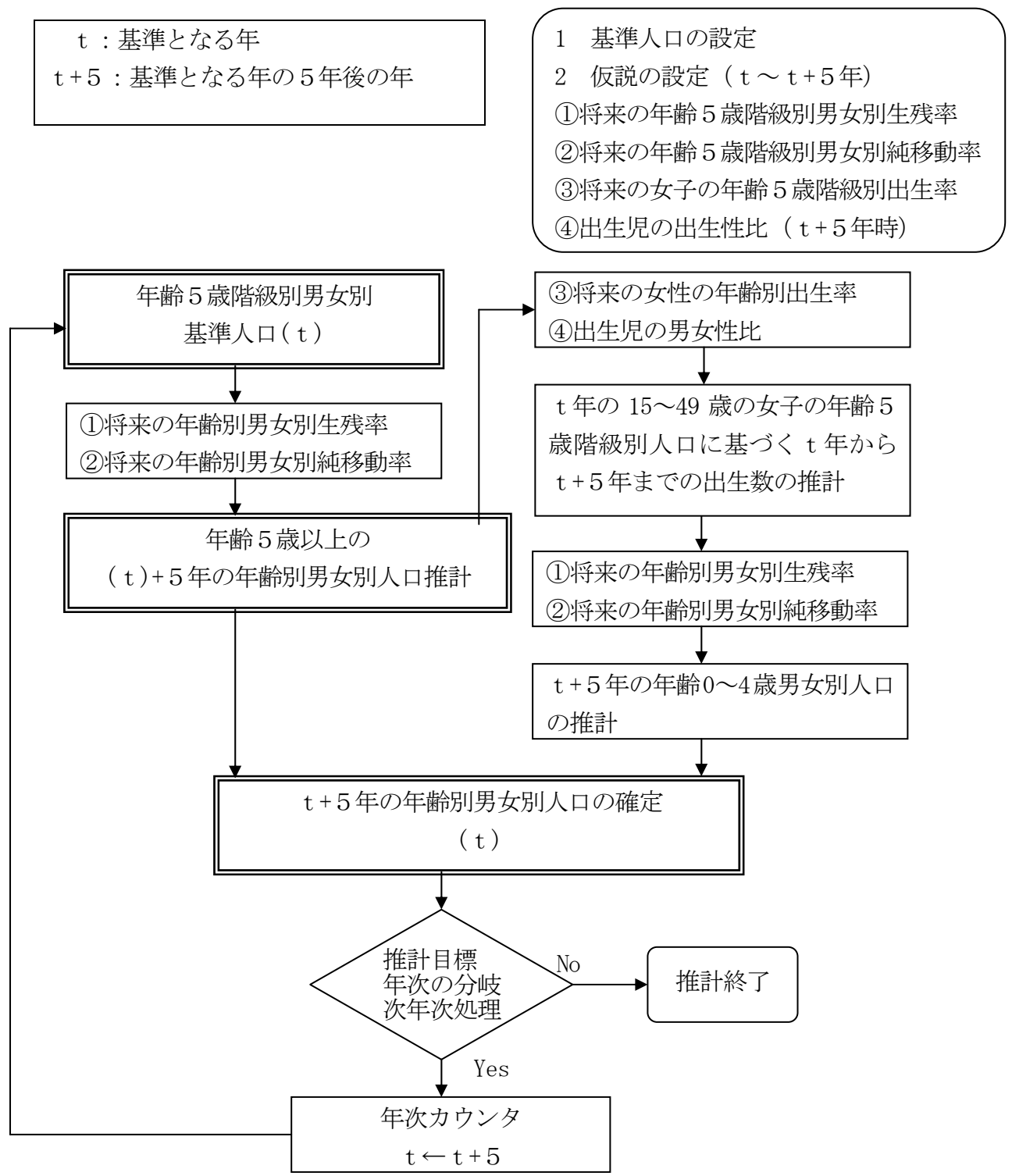
コーホート法には、コーホート要因法とコーホート変化率法の2種類がある。両者の大きな違いは、コーホートにおける人口の動きの捉え方にあり、前者は人口の変化について自然動態と社会動態を分けて推計するのに対し、後者はそれらを分けずに推計するものである。変数が多くなるコーホート要因法の方が必要とする仮定値が増え、計算も複雑になる。もちろん、手順が複雑であるからということで、推計された結果がその分だけ正確になる訳ではなく、単純にどちらの手法が優位であるとは言えない。

しかしながら、コーホート要因法を用いることで、将来の人口変化について自然動態と社会動態を分けて分析が可能となることは政策を立案する上で、非常に重要な資料となり得ると考え、本推計ではコーホート要因法を採用した。なお、本推計では、自然動態を出生による増加と死亡による減少、社会動態を転出入による純増減で構成するものとする。

具体的な推計手順としては、基準となる年齢階級ごとの人口を設定するほか、死亡、移動、出生、出生性比について、過去のデータや他機関の将来推計値を利用して、盛岡市の将来における仮定値を設定した上で、図2で示した流れにより推計を実施した。

また、通常、理論人口である推計人口は、小数点以下を含んだ計算値で扱うが、本推計では分かり易さを重視するため、計算値を整数で取り扱った。

図 2 推計手順フローチャート



※石川晃『市町村人口推計マニュアル』（古今書店 平成5年） p.48 図Ⅱ-1 を一部修正して引用

(2) 基準人口及び仮定値の設定

先に述べたようにコーホート要因法において将来人口を推計するに当たり、基準人口、死亡率、移動率、出生率、出生性比を設定する必要があり、ここでは本推計における基準人口及び仮定値の設定について述べる。

ア 基準人口

基準人口を設定するに当たり、市町村が把握する信頼性の高いものとして国勢調査人口と住民基本台帳人口のどちらかを選ぶ必要がある。前者は、調査時において、調査の地域内に常住している「常住人口」のことをいい、外国人を含むすべての人を対象とした調査結果における人口であるのに対し、後者は日本国籍を有するもので、日本国内に住所を定めるものとして、市区町村の住民基本台帳に記載されている者を集計した人口であり、大きな違いとして、住民基本台帳に外国人登録者が記載されていないことが挙げられる³⁾。また、総務省が人口の把握を住民基本台帳人口によらず、常住人口を把握するための調査を実施する1つの理由として、住民基本台帳に登録されている住所と実際に住んでいる住所が一致しない場合があり、市区町村によりそれらの人口に違いがあることが挙げられる。より実態に近い人口としては国勢調査人口が利用されることが多いが、国勢調査は5年に1度しか実施されないため、調査と調査の間にある年や月については資料を取得することができないというデメリットがある。したがって、国勢調査人口を用いたコーホート法による将来推計を実施する場合、通常この調査期間に合わせた5年ごとの時間変化を軸とするため、コーホートも年齢5歳階級ごとに設定することになる。

本推計においては、より実態に近い人口を推計することを重視し、国勢調査人口を基準人口とした。具体的には直近の調査である平成17年国勢調査結果で得られる年齢5歳階級別人口を基に年齢不詳人口を各年齢階級人口により按分した国勢調査人口（調整後）を用いた。なお、冒頭の利用上の注意においても明記したが、基準人口については、平成17年国勢調査後に合併した旧玉山村人口を合算した人口とした。また、移動率の算出や経年比較のために昭和55年国勢調査以降の人口を用いるが、これらについては、調査基準日において、合併していない旧都南村及び旧玉山村の人口を合算した人口を利用した。

イ 死亡（生残率）

平成12年から17年までの生残率⁴⁾については、厚生労働省が作成する市区町村生命表を基に設定した。また、将来の生残率の仮定値を設定するに当たっては、正確性、効率性を考慮すると独自で設定するよりもむしろより高度で専門的な見地に基づいた社会保障・人口問題研究所における仮定値を参

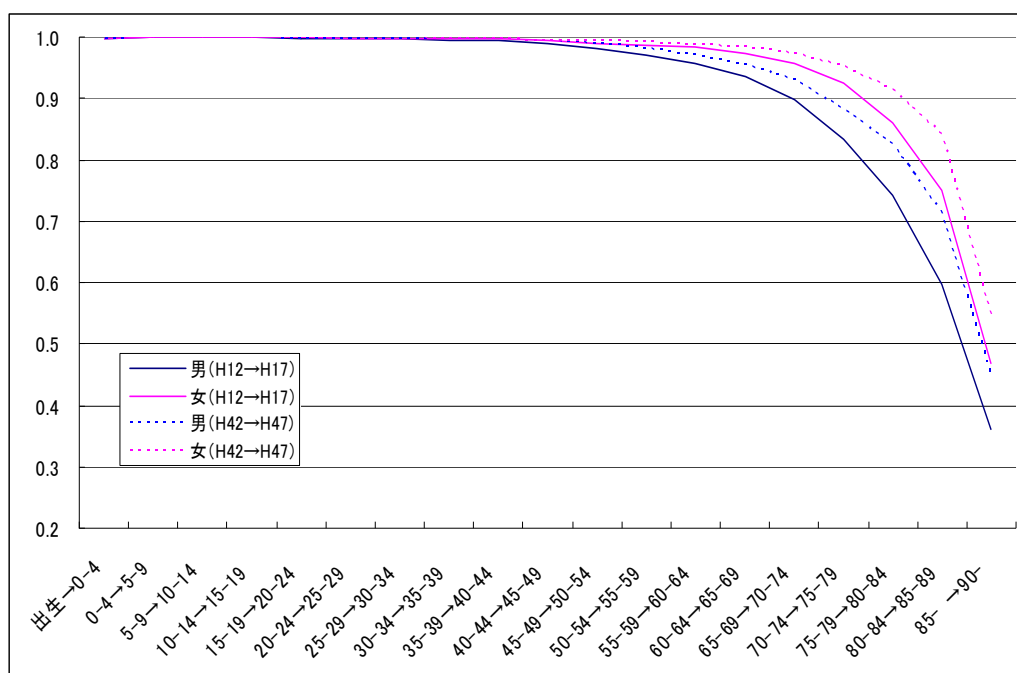
考にするのが有効であると判断し、社会保障・人口問題研究所における仮定表を利用した。具体的には、岩手県の最新の将来推計人口が公表されており、その仮定値を利用するが、盛岡市の特徴を反映させるため、過去の岩手県と盛岡市の生命表から算出した生残率の乖離状況を基に将来の盛岡市の仮定値を設定した。

手順の流れとしては、本推計では平成12年及び17年盛岡市生命表（厚生労働省）の年齢階級別男女別生残率の平均値と平成12年及び17年岩手県生命表（厚生労働省）の年齢階級別男女別生残率の平均値から盛岡市と岩手県の生残率の乖離率を算出し、その乖離率が将来にわたり一定であるとし、それを社会保障・人口問題研究所（H18）『日本の都道府県別将来推計人口ー平成19年5月推計ー』における「都道府県仮定値生残率（岩手県）」に乗じたものを盛岡市の将来生残率とした。

実際に設定した盛岡市の平成12年から17年まで及び平成42年から47年までの年齢5歳階級別の生残率を表したものが図3である。平成12年から17年まででは、30歳代まで性別による差異はほとんどみられないが、40歳代以降、生残率が低下を始めると性別による乖離が表れはじめる。この傾向は加齢とともにその差異は拡大するが、80歳代になるとその傾向は縮小する。

将来の仮定値の特徴について平成42年から47年までの仮定値でみると、生残率は今後、社会保障・人口問題研究所の予測を受けて、盛岡市においても大きく上昇している。

図 3 年齢5階級別男女別生残率（平成12年→17年，平成42年→47年）



ウ 移動率

第1章でみたとおり人口移動は推計を実施する盛岡市内だけで完結するものではなく、近隣市町村のほか、宮城県や関東地域における人口構造が影響するものと考えられる。そのため、より正確な移動モデルを構築するには、様々な角度から検討する必要がある、それには膨大な情報を処理するための時間と費用を要する。また、社会保障・人口問題研究所では、過去の移動率を利用して将来の移動率を設定しているが、昭和50年代や平成初期の移動率を利用したとしても、昨今の社会情勢を踏まえた仮定値になっているとは言い難い。

そこで、本推計では、直近の移動状況を反映させるため、平成12年から17年までにおける移動率を必要に応じて補正した上で、「岩手県人口移動報告書」の平成13年度から16年度まで及び平成17年度から20年度までの集計結果を用いて、将来の仮定値を設定した。

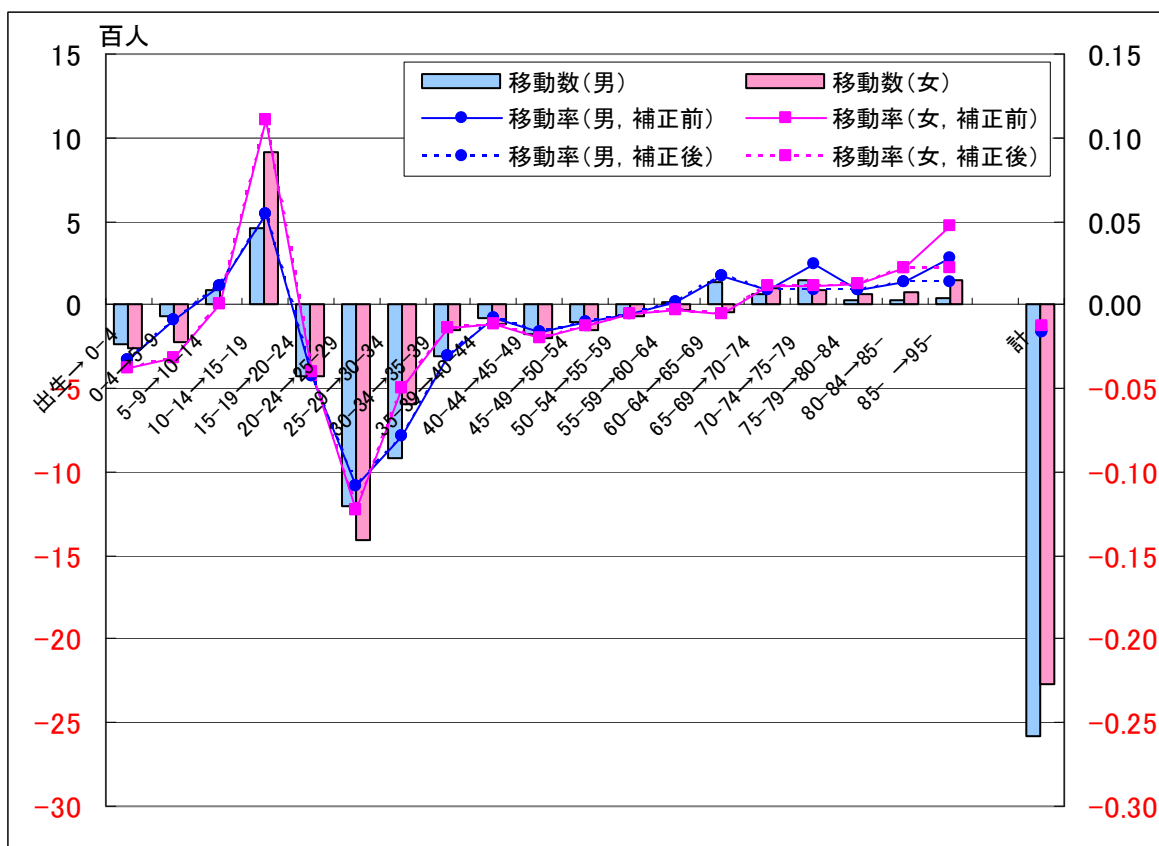
以下、具体的な手順について説明する。初めに、平成12年盛岡市生命表及び17年盛岡市生命表から年齢5歳階級別男女別生残率の平均値を算出し、この生残率を平成12年の各年齢階級別人口（調整後）に乗じて、平成17年の封鎖人口⁵⁾を推計する。この平成17年封鎖人口と平成17年国勢調査人口（調整後）、それぞれにおける年齢階級別男女別の差を社会動態による人口増減として捉え、これを平成12年国勢調査人口（調整後）に対する移動数とすることで、平成12年から17年までにおける移動率を算出した。

また、0～4歳の平成17年封鎖人口を算出するためには、平成12年から17年までの出生数を求める必要がある。そのため、後に設定する平成12年から17年までの出生率の実績値のほか、年齢別出生率の仮定値を代用することで平成12年から17年までの出生数を算出した。

なお、70歳以上の人口については、人口自体が少ないため、高齢者用の施設建設等によりまとまった人口移動があると通常想定される移動率より高くなってしまう可能性がある。そのため、70～74歳以降で移動率が高めとなっている年齢階級においては、前後の年齢階級の平均値を採用する等して移動率を補正した。

実際に算出した移動率を示したものが図4である。移動数が大きいのは高校卒業期を含んだ10～14歳から15～19歳までの人口で大きく流入超過となっており、特に女性の移動者が多い。その一方で大学等卒業期には大きく流出超過となっており、そこには男女による差は見られない。また、25～29歳から30～34歳まで及び30～34歳から35～39歳までの流出超過であり、もっとも大きく移動している年齢階級となっている。40～50歳代では、移動は少ないものの、流出超過となっており、逆に60歳代以降は、年齢が高くなるにつれ、流入超過の大きくなる傾向がある。

図 4 年齢5階級別男女別移動率（平成12年→平成17年）



将来の移動率の設定に当たっては、図4の移動率（補正後）を基に「岩手県人口移動報告書表」で公表されている平成12年集計から19年集計までの社会動態による純増減数と岩手県推計人口を利用した。

平成12年から16年集計までと平成17年から19年集計までについてをまとめたものが表19であり、それらの期間の移動状況でみると乖離率は0.83673で、社会動態による人口減少は8割程度縮小する傾向にあることが分かる。

将来の仮定値を設定する際には、この傾向を各年齢階級に反映させ、具体的には、平成17年から22年までの各年齢階級における移動については、平成12年から17年までの0.83673に、さらに平成22年から27年までの移動についても平成17年から22年までの0.83673になるように設定し、それ以降の仮定値については、平成22年から27年までの移動率を将来一定として設定した。なお、将来に向けて高齢者の人口が増えることで、少ない人口で高めに設定された移動率では移動者数が急激に増えてしまうため、70～74歳以上の各年齢階級の移動率については必要に応じて補正した。

なお、出生から0～4歳までの移動率については、20～24歳から35～39歳

までの移動率と相関性が高いと仮定し、表 20 に示すとおり平成 12 年から 17 年までの 20～24 歳から 35～39 歳までの移動率の加重平均と出生から 0～4 歳までの比率を求め、将来の仮定値を設定する際にはその比率により設定した。

以上のことを踏まえて、実際に設定した仮定値は図 5, 6 のとおりである。

なお、移動率について、上記のほか平成 17 年から 22 年までの移動率のうち、社会動態が減少している 20～24 歳から 35～39 歳までの移動を社会動態の減少が 20%縮小する仮定を移動率高位の仮定値として設定した推計も実施した。

表 19 岩手県人口移動報告書による盛岡市の社会増減数と乖離率

区分	集計期間	H12. 10→ H17. 9 (A)	H17. 10→ H20. 9 (B)	乖離率 (B/A)
	純増減数 (人)		-4, 857	
岩手県推計人口 (各年期首) の合計 (人)		1, 417, 103	869, 819	
純増減率		-0. 00343	-0. 00287	0. 83673

表 20 20～39 歳人口の移動率に対する出生の移動率比率

区分	集計期間	H12 →H17	比率 (男 B/A) (女 C/A)
	20～24 歳から 35～39 歳までの人口の移動率の加重平均 (A)		-0. 05501
出生 (男) の移動率 (B)		-0. 03308	0. 60134
出生 (女) の移動率 (C)		-0. 03801	0. 69096

図 5 年齢5歳階級別移動率（男，平成12年→17年から平成22年→27年）

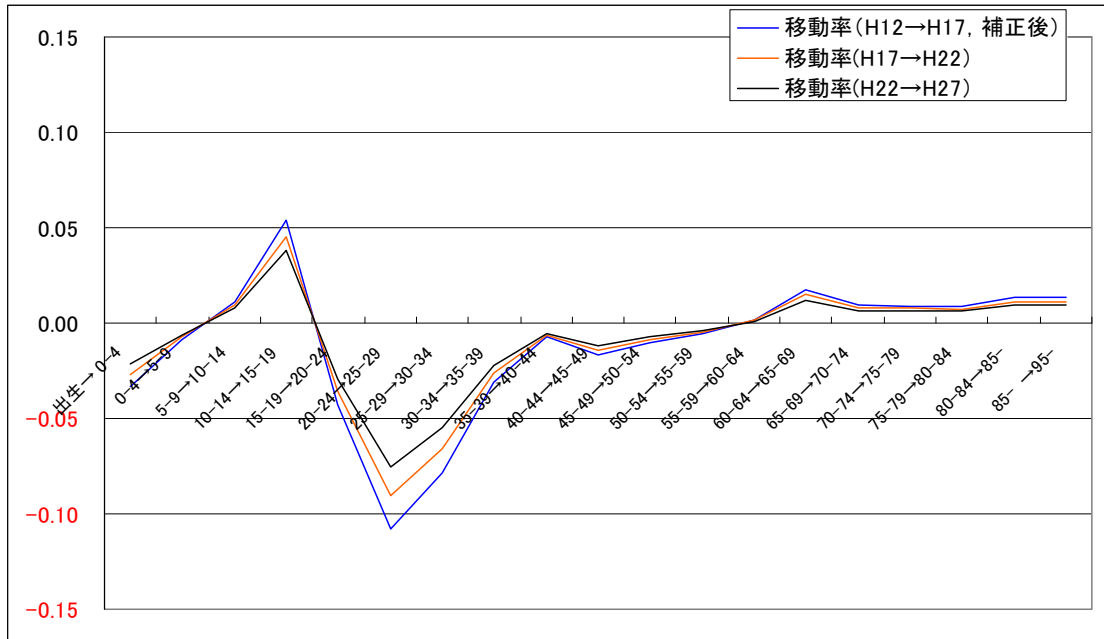
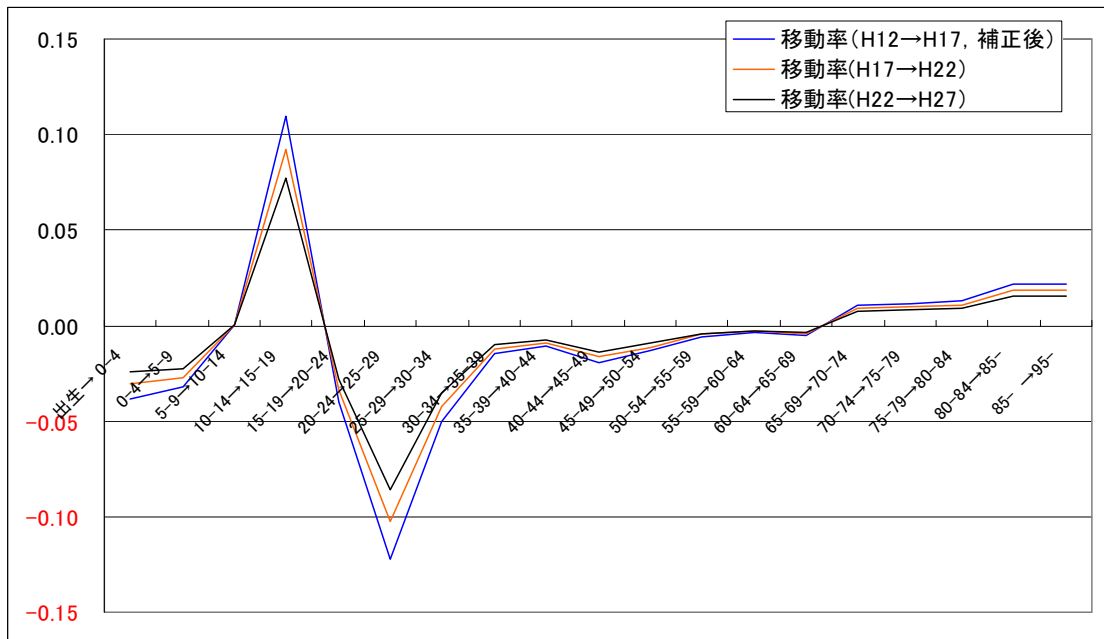


図 6 年齢5歳階級別移動率（女，平成12年→17年から平成22年→27年）



エ 出生率

将来の出生については、死亡と同様に社会保障・人口問題研究所における仮定値を参考するのが有効であると判断し、過去の岩手県と盛岡市（旧玉山村実績含まず）の出生率の乖離を社会保障・人口問題研究所の岩手県における将来の出生率に反映させたものを本推計の仮定値として設定した。なお、過去の実績や社会保障・人口問題研究所における出生率は、標準化された出生率として利用される合計特殊出生率⁶⁾であり、本推計においても出生率は合計特殊出生率とした。

過去の出生率は、平成13年から17年までの5年間の岩手県と盛岡市のそれぞれの合計特殊出生率の乖離状況を社会保障・人口問題研究所の岩手県の出生の仮定値に反映させたものを将来の仮定値として設定した。なお、過去の合計特殊出生率は、岩手県を平成19年人口動態調査、盛岡市を岩手県保健福祉年報から得られるものを利用した。また、年齢5歳階級別出生率については、岩手県の仮定値の構成比をそのまま利用した。

過去の合計特殊出生率の推移を図7でみると、盛岡市においては、数値が公表された昭和57年以降は上昇傾向にあったが、昭和61年の1.69をピークに減少傾向にある。

社会保障・人口問題研究所で設定した岩手県の将来の出生率でみると、平成17年から22年まで及び平成22年から27年までは下降傾向にある。これは、団塊ジュニア⁷⁾の世代が出生率の低下する年齢へと移行することが主な要因として考えられる。それ以降については、その世代の影響も弱まり、ほぼ一定で推移すると仮定している。

盛岡市の出生率の仮定値を年齢5歳階級別に示すと図8のとおりとなる。出生率の高い20～39歳でみると、全体的に下降傾向であるのに対し、35～39歳区分の出生率だけ上昇する傾向にある。これは晩婚化が進む昨今の状況を踏まえ、出産時期の高年齢化が進むことで、出生率が比較的高い30歳後半に出産が集中する傾向があることを反映させているものであると考えられる。

また、将来の出生率の仮定値は上記のものほかに出生率が上昇傾向にある高位の仮定値を設定した。これは出生率が平成17年から22年までの出生率を先に設定した出生率より2%高い1.25に設定し、その後は出生率が每期2%上昇したと仮定したもので、推計最終期では、岩手県の出生率を0.01上回る1.40となる。

図 7 合計特殊出生率の推移（昭和 57 年から平成 47 年）

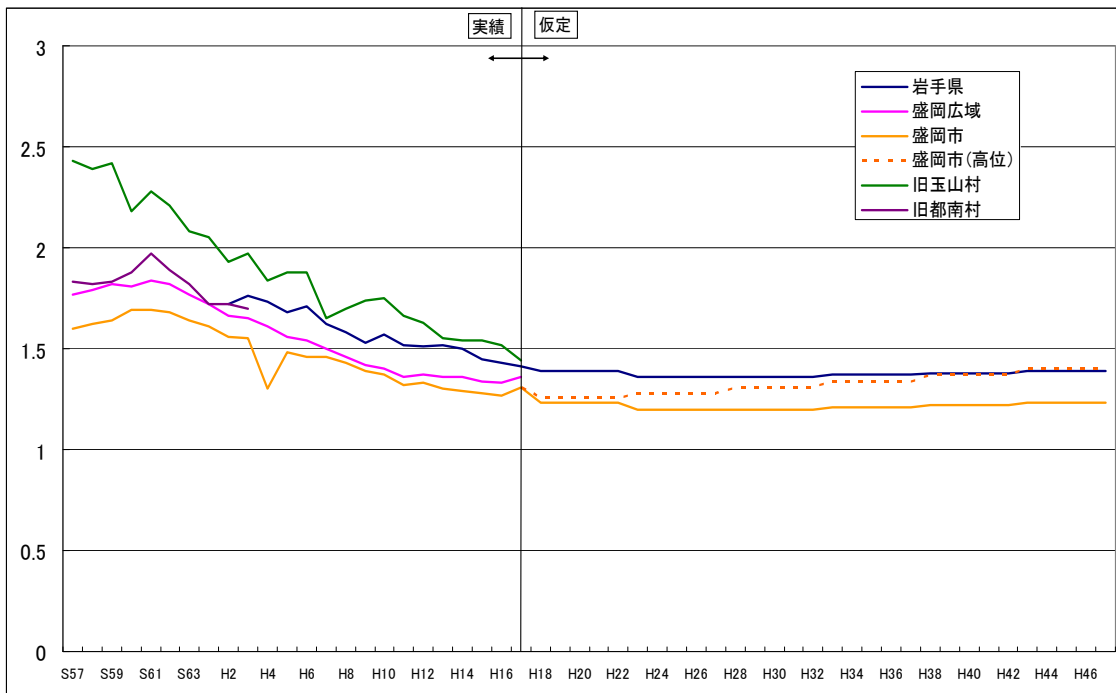
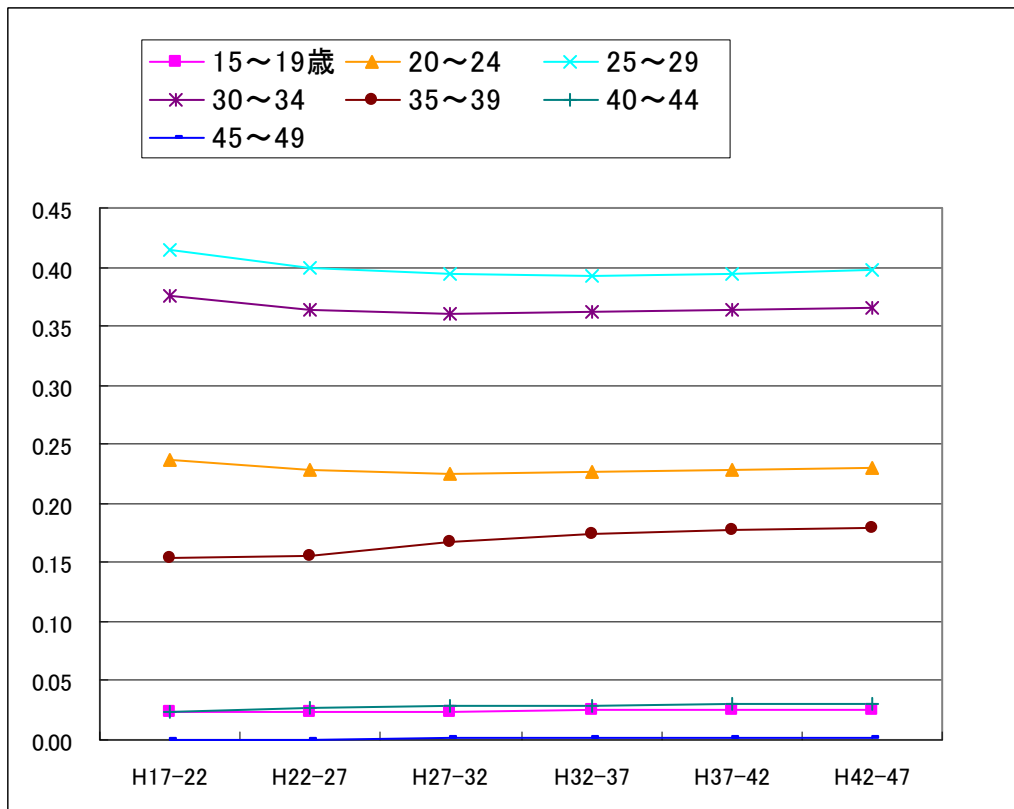


図 8 年齢 5 歳階級別合計特殊出生率の推移（平成 17 年から 47 年）



オ 出生性比

これは出生の際の性別に関する仮定値で、岩手県人口動態統計より平成 14 年から 18 年までの盛岡市（旧玉山村実績を含む。）の実績値の平均値を将来の仮定値として設定した。

出生性比の算出方法は、盛岡市（旧玉山村実績を含む。）の平成 14 年から 18 年までの出生数から各年の出生性比を求め、それらを単純平均したものを将来の出生性比として設定するもので、具体的には表 21 で示すとおり 1.03610 を将来一定のものとして利用した。

表 21 男女別出生児数（平成 14 年から 18 年）

区分 年次	出生児数	男	女	性比 (女=1)
H14	2,790	1,445	1,345	1.07435
H15	2,687	1,385	1,302	1.06375
H16	2,722	1,380	1,342	1.02832
H17	2,467	1,265	1,202	1.05241
H18	2,558	1,254	1,304	0.96166
平均				1.03610

2 盛岡市の将来推計人口

(1) 推計結果

設定した仮定を基に将来人口を推計した結果は、表 22 のとおりである。昭和 55 年以降増加を続けてきた人口は平成 12 年の 302,857 人をピークに減少しており、平成 22 年には 296,690 人、27 年には 290,829 人、37 年には 272,473 人、47 年には 248,185 人まで減少すると推計される。年齢 3 区分別人口でみると、0～14 歳では昭和 55 年をピークに減少の一途で、平成 22 年には 38,807 人、27 年には 35,249 人、47 年には 23,088 人まで減少する。平成 17 年を 100 とした場合、47 年の人口はその半分近い 54.5 となる。

15～64 歳では、昭和 55 年から上昇を続けてきたが、平成 7 年をピークに減少しており、平成 22 年には 193,620 人、27 年には 181,184 人、47 年には 136,348 人まで減少する。平成 17 年を 100 とした場合、47 年の人口は 30%以上減少し、67.6 となる。

65 歳以上では、昭和 55 年から増加を続け、平成 22 年には 64,263 人、27 年には 74,396 人、47 年には 88,749 人まで増加する。平成 17 年を 100 とした場合、47 年の人口は 50%以上増加し、156.5 となる。

増減の状況を自然動態でみると平成 17 年までは増加していたものの、平成

17年から22年までで450人、平成22年から27年までで3,325人、32年から37年までで8,161人、平成42年から47年までで11,216人の純減となっている。これは出生率の低下、女性の出産可能年齢人口の減少により自然増が減少するとともに、生残率が低い高齢者が増加することで自然増が増加することによるものである。

社会動態でみると、平成12年から17年までの4,849人の純減に比較すると、平成17年から22年までの3,606人、平成22年から27年までの2,536人の減少傾向は縮小する。また、平成27年以降については、人口の減少に伴い、減少傾向は少しずつ縮小しながら推移している。

人口を年齢5歳階級別男女別に度数表で示したものが図12であり、一般的に人口ピラミッドと呼ばれているものである。人口ピラミッドでみると人口が突出している年齢階級である団塊の世代⁸⁾、団塊ジュニアがピラミッドの変化に与える影響が大きいことが分かる。推計最終年が平成47年であったため、今回の推計していないが平成52年には団塊ジュニアが65歳以上となり、15～64歳人口は大きく減少し、65歳以上人口は大きく増加することが予想される。

表 22 盛岡市の人口の推移（国勢調査人口：昭和 55 年～平成 17 年，将来推計人口：平成 22 年～47 年）

区分		年次											
		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
年齢区分 人口 (人)	0～14	63,588	63,222	56,747	52,096	46,168	42,363	38,807	35,249	31,423	28,112	25,376	23,088
	15～64	189,520	199,774	205,046	209,284	208,212	201,671	193,620	181,184	170,051	159,326	148,022	136,348
	65～	19,706	24,316	30,839	39,343	48,477	56,712	64,263	74,396	81,117	85,035	87,541	88,749
	全市人口	272,814	287,312	292,632	300,723	302,857	300,746	296,690	290,829	282,591	272,473	260,939	248,185
指数 (H17= 100)	0～14	150.1	149.2	134.0	123.0	109.0	100.0	91.6	83.2	74.2	66.4	59.9	54.5
	15～64	94.0	99.1	101.7	103.8	103.2	100.0	96.0	89.8	84.3	79.0	73.4	67.6
	65～	34.7	42.9	54.4	69.4	85.5	100.0	113.3	131.2	143.0	149.9	154.4	156.5
	全市人口	90.7	95.5	97.3	100.0	100.7	100.0	98.7	96.7	94.0	90.6	86.8	82.5
年齢別3区分別 対前期増減数 (人)	集計年 区分	S55→ S60	S60→ H2	H2→ H7	H7→ H12	H12→ H17	H17→ H22	H22→ H27	H27→ H32	H32→ H37	H37→ H42	H42→ H47	
	0～14	-366	-6,475	-4,651	-5,928	-3,805	-3,556	-3,558	-3,826	-3,311	-2,736	-2,288	
	15～64	10,254	5,272	4,238	-1,072	-6,541	-8,051	-12,436	-11,133	-10,725	-11,304	-11,674	
	65～	4,610	6,523	8,504	9,134	8,235	7,551	10,133	6,721	3,918	2,506	1,208	
	合 計	14,498	5,320	8,091	2,134	-2,111	-4,056	-5,861	-8,238	-10,118	-11,534	-12,754	
年齢別3区分別 対前期増減率 (%)	0～14	-0.6	-10.2	-8.2	-11.4	-8.2	-8.4	-9.2	-10.9	-10.5	-9.7	-9.0	
	15～64	5.4	2.6	2.1	-0.5	-3.1	-4.0	-6.4	-6.1	-6.3	-7.1	-7.9	
	65～	23.4	26.8	27.6	23.2	17.0	13.3	15.8	9.0	4.8	2.9	1.4	
	合 計	5.3	1.9	2.8	0.7	-0.7	-1.3	-2.0	-2.8	-3.6	-4.2	-4.9	
自然・社会動態別 対前期増減数 (人)	自然増	…	…	…	…	13,817	12,202	10,756	9,630	8,694	7,920	7,257	
	自然減	…	…	…	…	-11,079	-12,652	-14,081	-15,633	-16,855	-17,670	-18,473	
	自然増減	12,413	6,498	3,598	4,331	2,738	-450	-3,325	-6,003	-8,161	-9,750	-11,216	
	社会増減	2,085	-1,178	4,493	-2,197	-4,849	-3,606	-2,536	-2,235	-1,957	-1,784	-1,538	
	純増減	14,498	5,320	8,091	2,134	-2,111	-4,056	-5,861	-8,238	-10,118	-11,534	-12,754	
自然・社会動態別 対前期増減率 (%)	自然増	…	…	…	…	4.6	4.1	3.6	3.3	3.1	2.9	2.8	
	自然減	…	…	…	…	-3.7	-4.2	-4.7	-5.4	-6.0	-6.5	-7.1	
	自然増減	4.5	2.3	1.2	1.4	0.9	-0.1	-1.1	-2.1	-2.9	-3.6	-4.3	
	社会増減	0.8	-0.4	1.5	-0.7	-1.6	-1.2	-0.9	-0.8	-0.7	-0.7	-0.6	
	純増減	5.3	1.9	2.8	0.7	-0.7	-1.3	-2.0	-2.8	-3.6	-4.2	-4.9	

図 9 年齢3区分別人口の推移（昭和55年から平成47年）

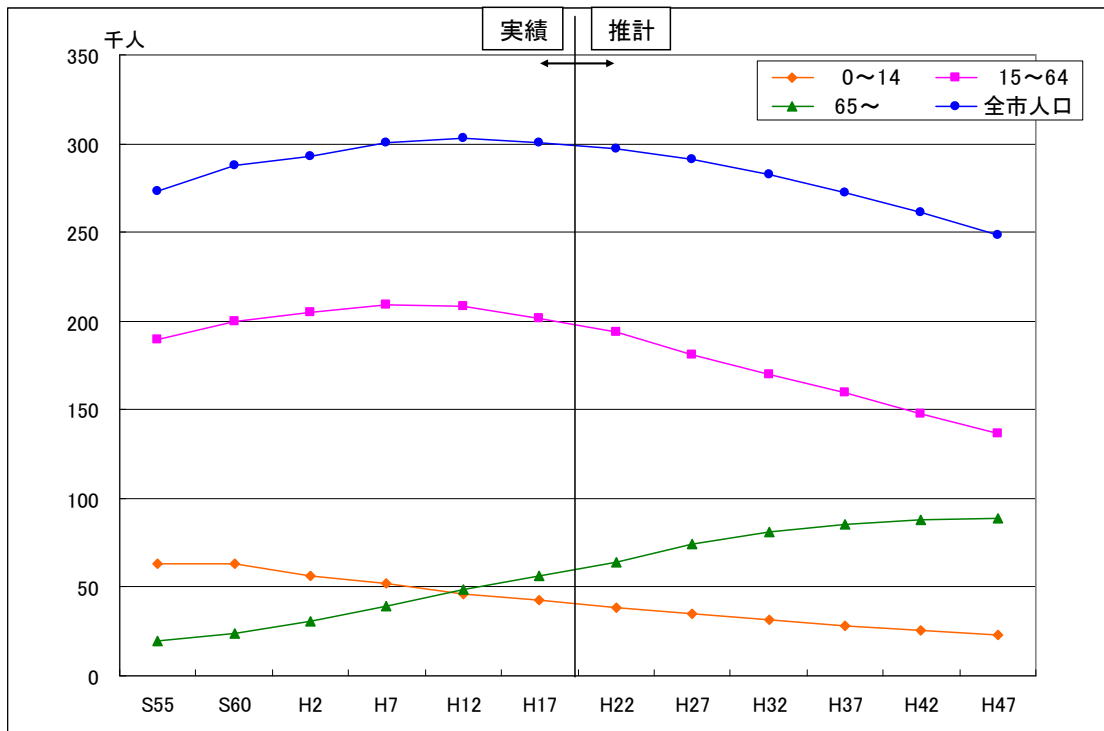


図 10 年齢3区分別対前期増減数の推移（昭和55年から平成47年）

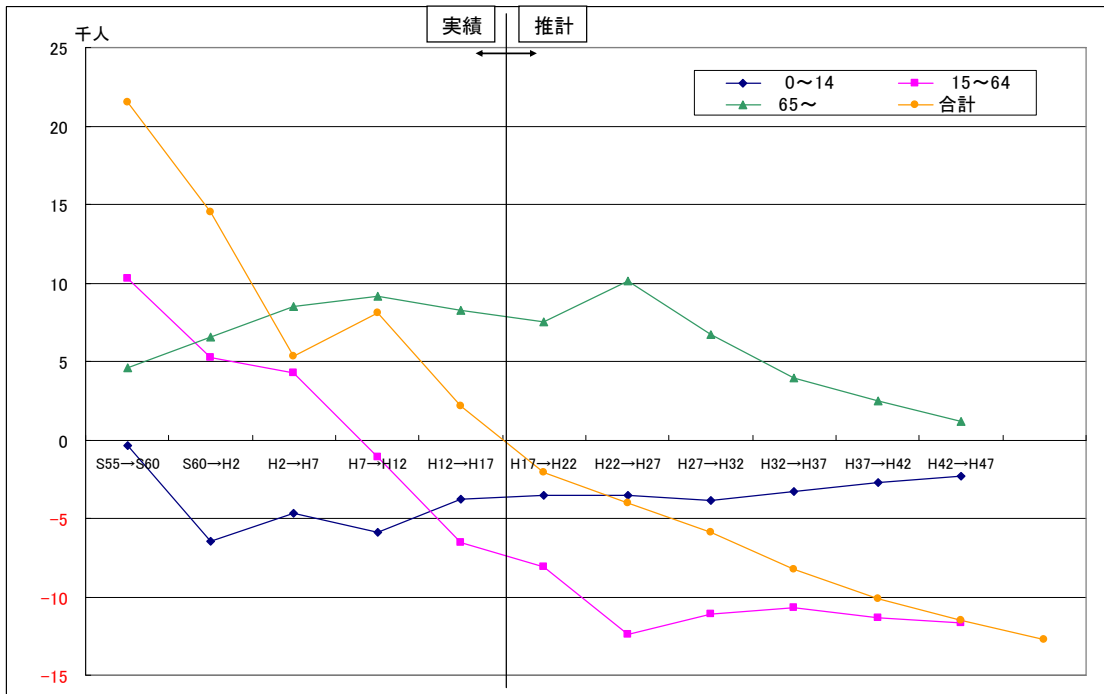


図 11 自然動態・社会動態別対前期増減数の推移（昭和年 55 から平成 47 年）

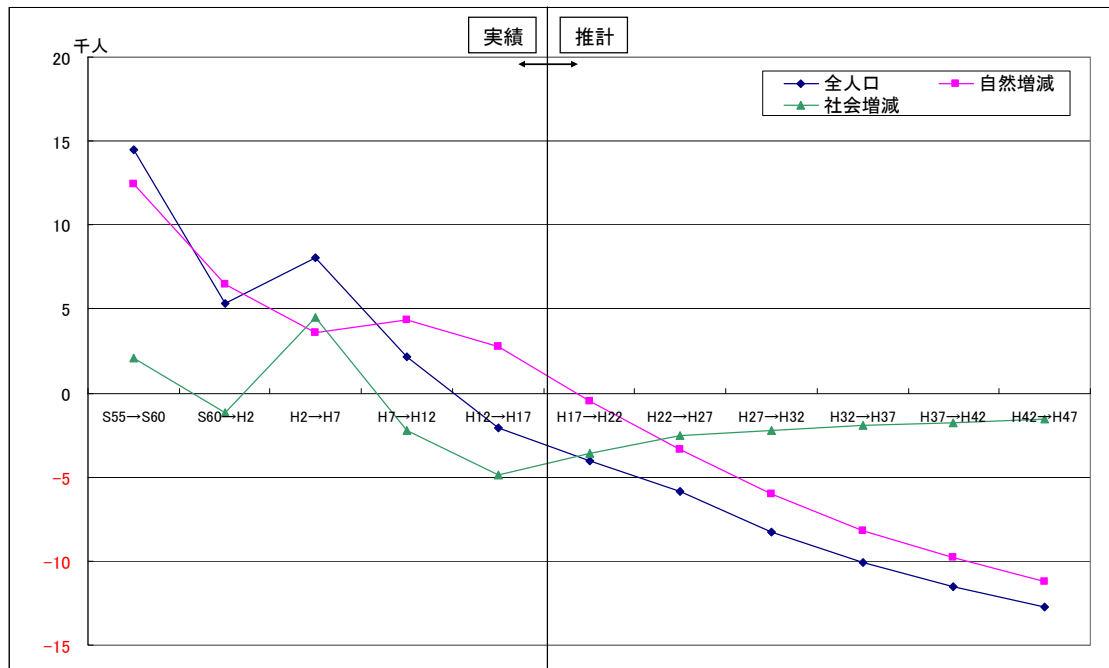
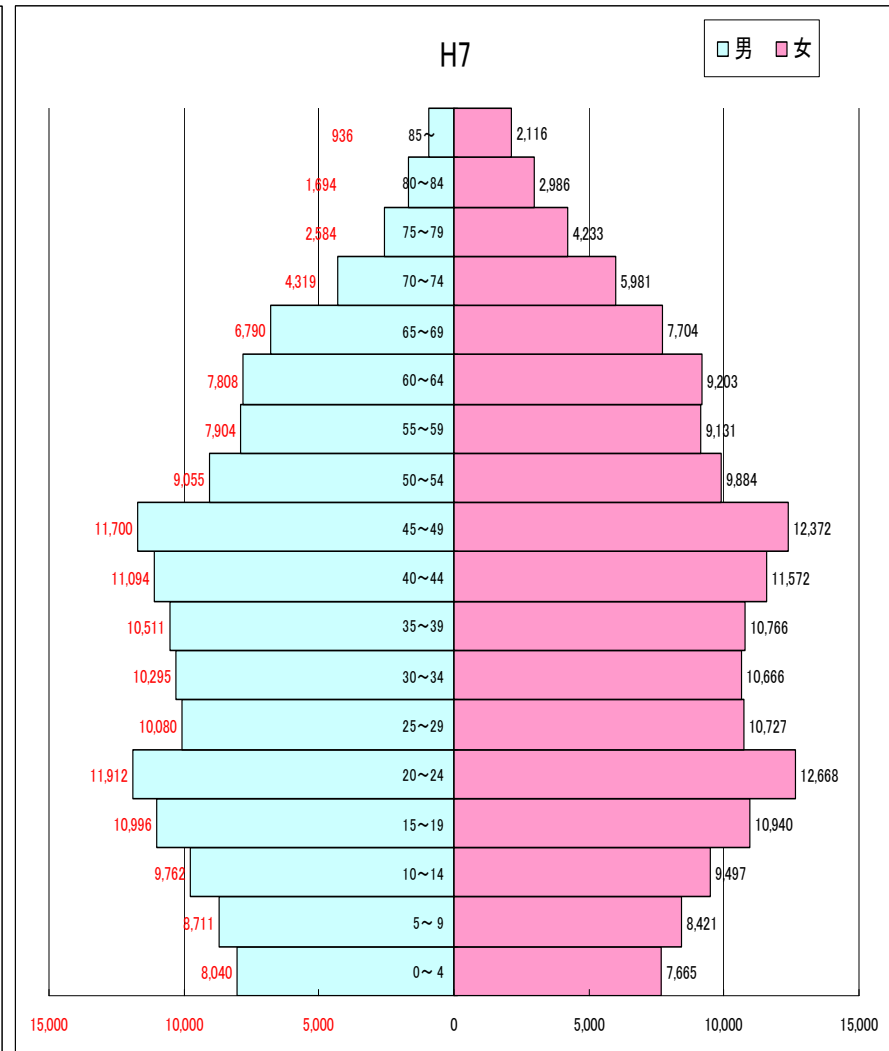
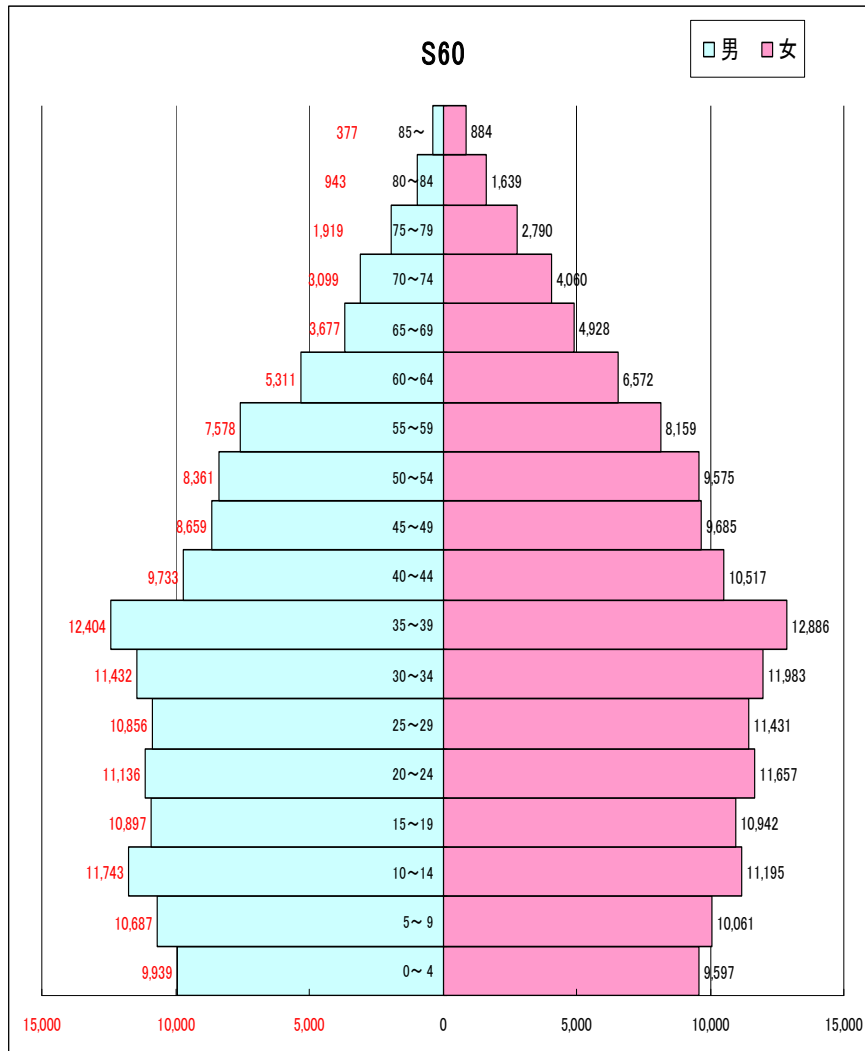
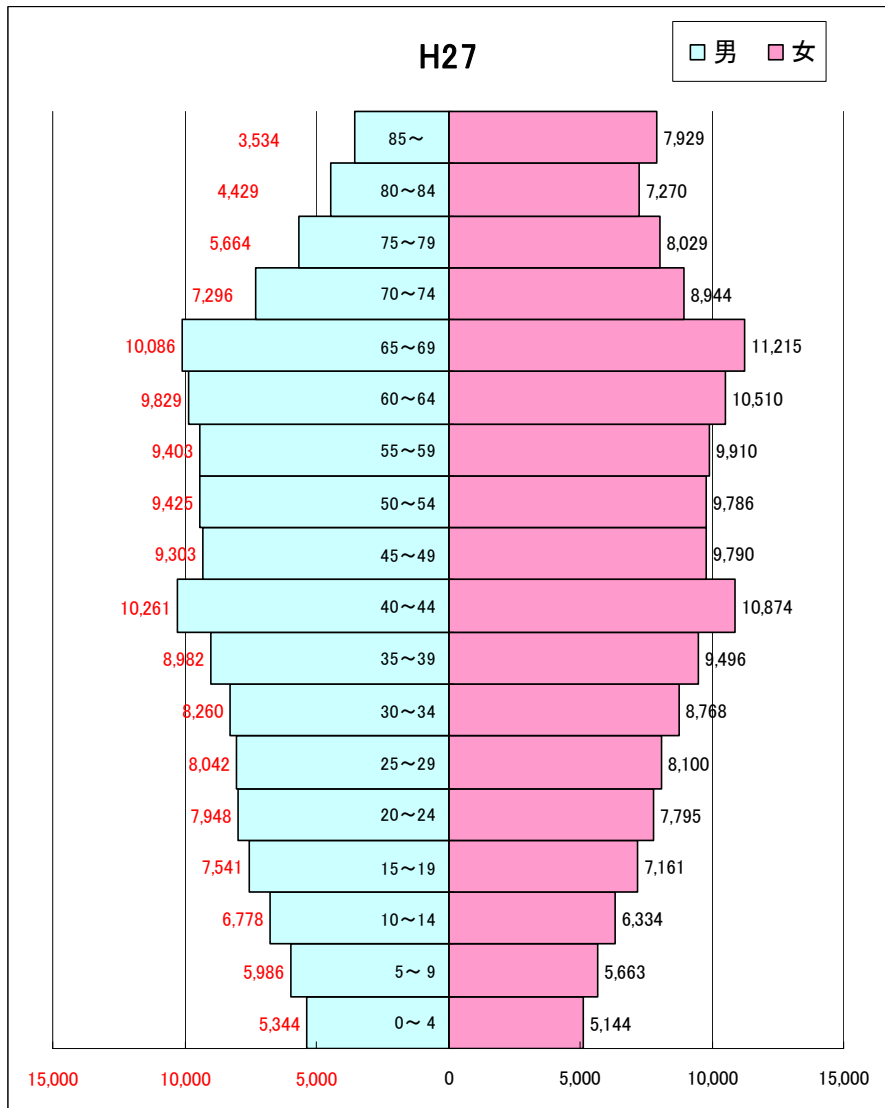
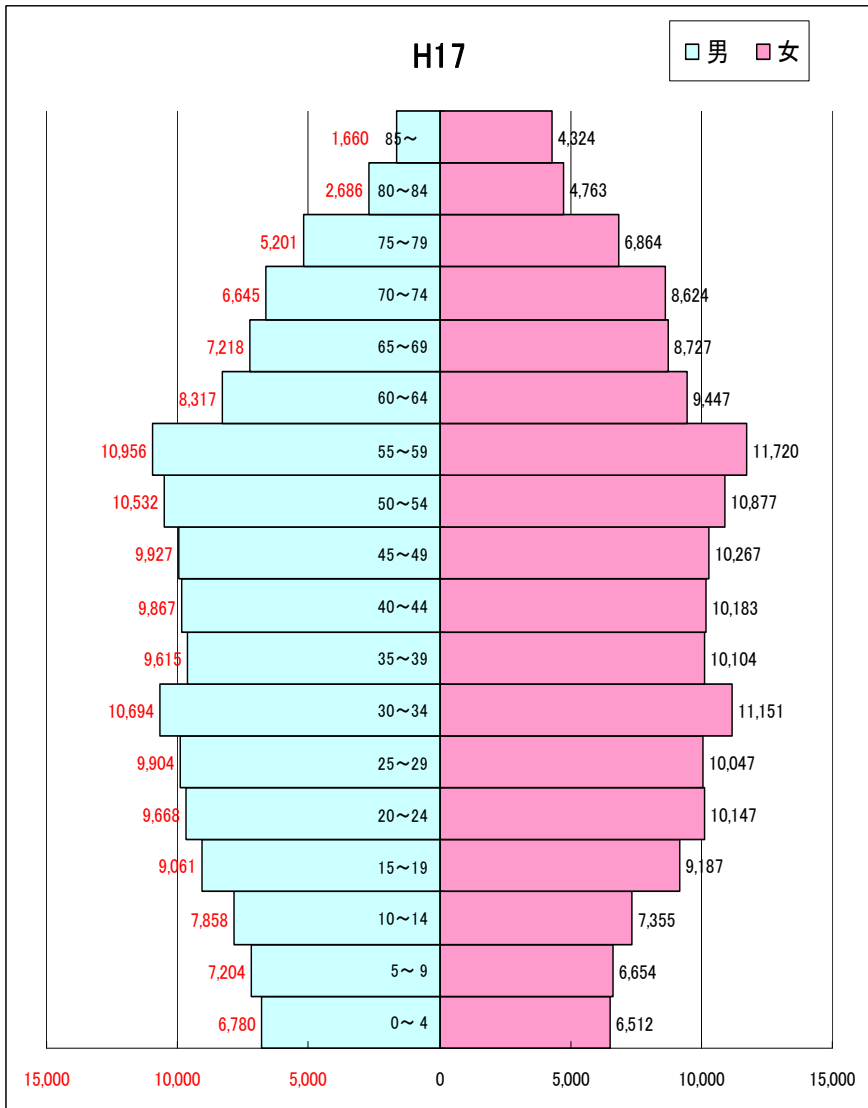
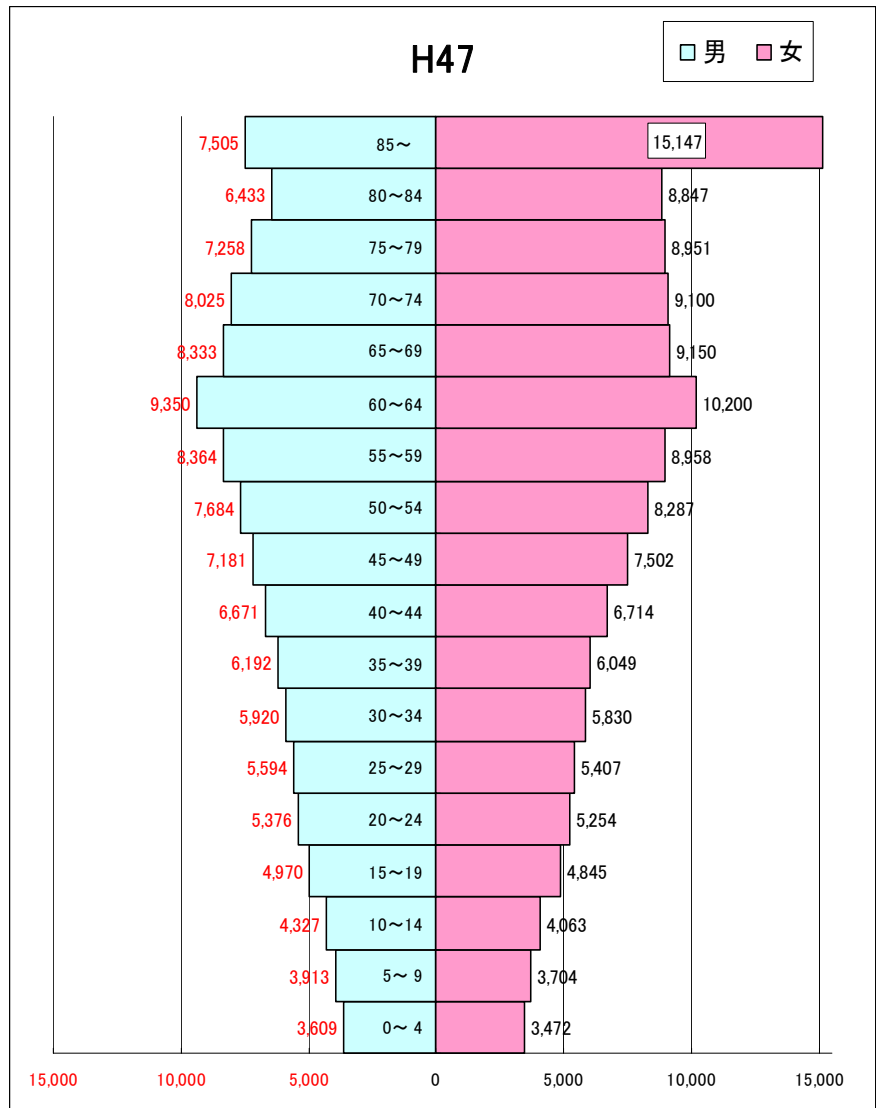
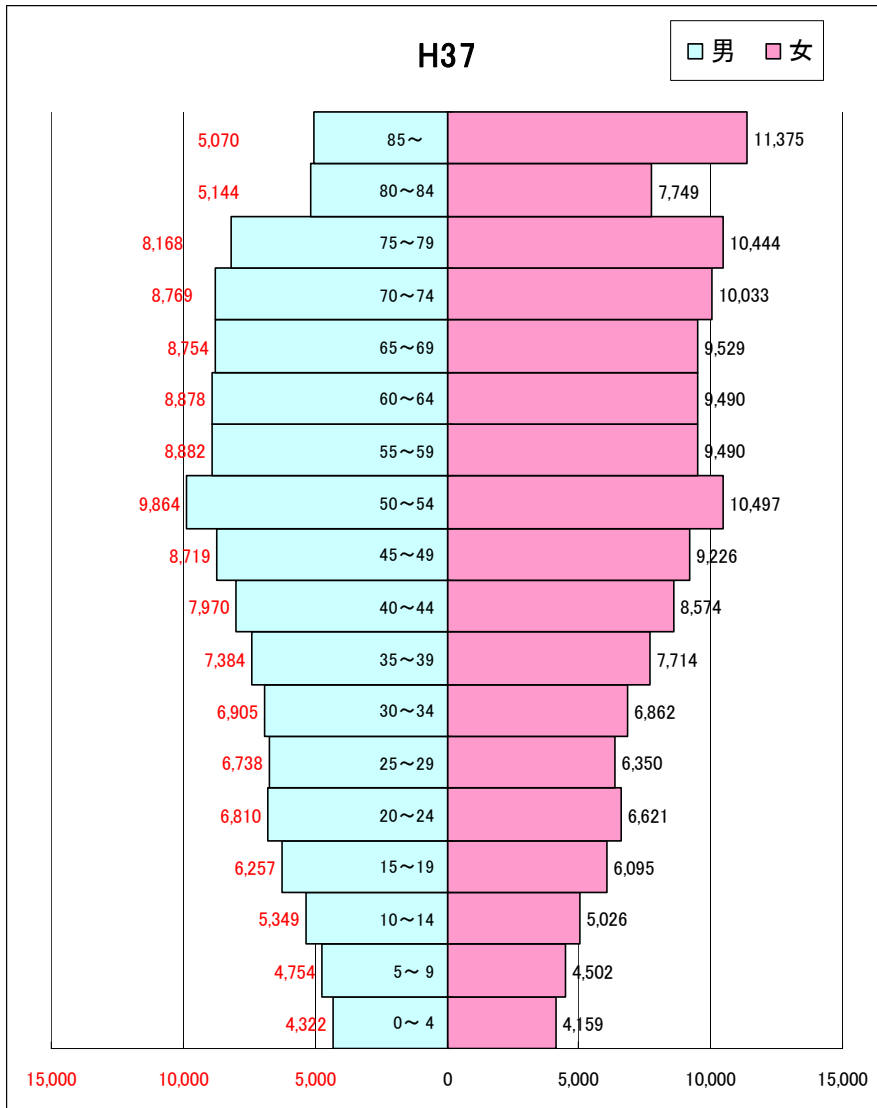


図 12 人口ピラミッドの推移（昭和 60 年から平成 47 年）

（単位：人）







(2) 高位仮定値による推計結果

ここでは、先に説明した移動率及び出生率の高位仮定値を利用した推計を行い、その結果を示したものが表 23 である。

出生率・移動率ともに高位の仮定値であったとしても、全市人口は平成 22 年には 297,858 人、27 年には 293,524 人、47 年には 257,625 人まで減少する。0～14 歳では平成 22 年には 39,137 人、47 年には 26,846 人まで減少し、17 年を 100 とした場合、47 年の指数は 63.4 となる。15～64 歳では平成 22 年には 194,458 人、47 年には 142,003 人まで減少し、17 年を 100 とした場合、47 年の指数は 70.4 となる。

自然動態・社会動態別の増減数について図 14 でみると、自然増減は、出生率が上昇することで自然増が増加するが、それ以上に自然減が減少すること、また、出産可能年齢人口が減少することで自然増自体が伸び悩むことで、減少に歯止めをかけるまではいかず、また、社会動態でみた場合、20～30 歳代の流出超過が縮小するものの増加に転じるまでには至らない。

表 23 仮定値別将来推計人口（平成 22 年から 47 年）

（単位：人）

年次 年齢区分	H22	H27	H32	H37	H42	H47
0～14	38,807	35,249	31,423	28,112	25,376	23,088
15～64	193,620	181,184	170,051	159,326	148,022	136,348
65～	64,263	74,396	81,117	85,035	87,541	88,749
全市人口	296,690	290,829	282,591	272,473	260,939	248,185
（出生率高位）						
0～14	38,998	36,137	33,162	30,566	28,099	26,018
15～64	193,620	181,184	170,051	159,526	148,947	138,134
65～	64,263	74,396	81,117	85,035	87,541	88,749
全市人口	296,881	291,717	284,330	275,127	264,587	252,901
（移動率高位）						
0～14	38,943	35,600	32,025	28,831	26,118	23,825
15～64	194,458	182,623	172,019	161,909	151,250	140,166
65～	64,263	74,396	81,117	85,035	87,541	88,776
全市人口	297,664	292,619	285,161	275,775	264,909	252,767
（出生率・移動率高位）						
0～14	39,137	36,505	33,802	31,347	28,919	26,846
15～64	194,458	182,623	172,019	162,113	152,195	142,003
65～	64,263	74,396	81,117	85,035	87,541	88,776
全市人口	297,858	293,524	286,938	278,495	268,655	257,625

図 13 仮定値別将来推計人口の推移（昭和 55 年から平成 47 年）

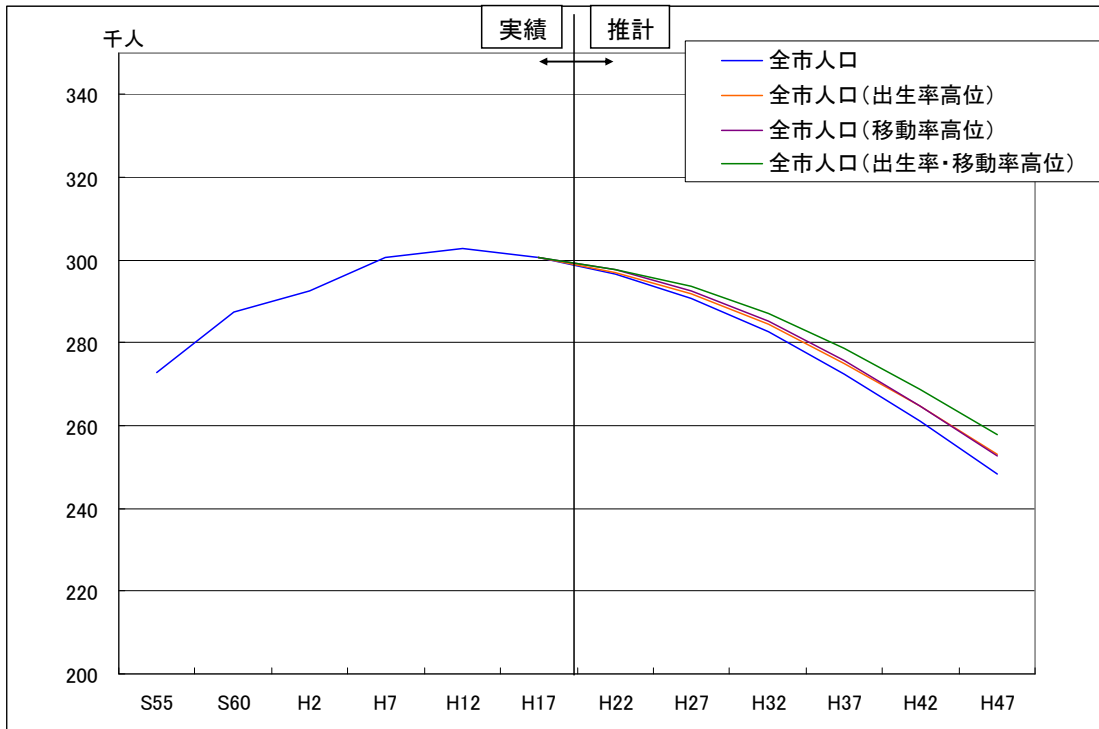
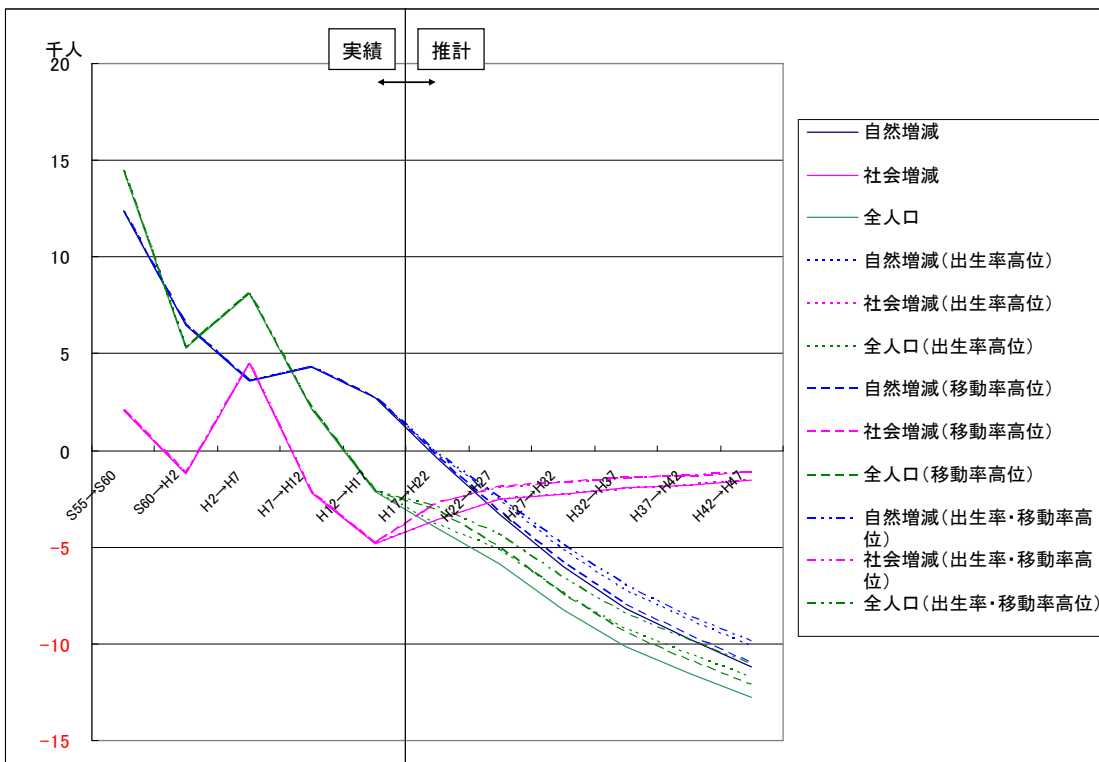


図 14 仮定値別自然動態・社会動態別対前期増減数の推移（昭和 55 年から平成 47 年）



3 コミュニティ地区別将来推計人口

(1) 推計方法と仮定値の設定

ア 推計方法

本推計では、全市人口の推計のほか、コミュニティ地区別（以下、地区別という。）の集計を実施した。推計方法は、全市推計と同様にコーホート要因法を採用した。なお、基準人口、死亡、出生性比は、全市と同様と仮定し、出生及び移動についてのみ地区ごとに設定した。

なお、全市人口の推計と地区ごとに推計した人口の合計の差異については、推計年ごとに差異分を推計年の地区ごとの人口に応じて按分した。ただし、単位未満を四捨五入しているため、それらの合計については全市の人口と必ずしも一致しない。また、平成12年及び17年の年齢不詳人口の振り分けについては、全市人口の振り分けと補正をしていないため、平成12年及び17年の年齢階級ごとの全市人口と地区ごとの人口の合計は必ずしも一致しない。

イ 出生

地区別の出生率は公表されていないため、ここでは、平成17年の15～49歳の年齢5歳階級別女性人口を年齢階級別の出生率の構成比で加重平均したものを婦人人口とし、また、平成12年から17年までの移動率を用いて算出した出生数を子ども人口とし、婦人人口に対する子ども人口の比率を地区ごとに算出した。地区ごとの推計では、この比率を将来にわたり一定の仮定値として設定した。ただし、土淵や本宮のように移動率が高い地区では、出生数が少なく設定される可能性があるため、この2つの地区については全市における比率を仮定値として設定した。

具体的に算出した比率を表24でみると、渋民、青山、みたけ、山岸等における比率が高い一方で、つなぎ、上田、杜陵等で比率が低くなっている。

表 24 地区別婦人人口に対する子ども人口の比率の仮定値

地区名	比率	地区名	比率	地区名	比率
仁王	1.02893	東厨川	1.14526	つなぎ	0.67323
桜城	1.00957	城南	1.10463	中野	1.45234
上田	0.86601	加賀野	1.29756	築川	1.29249
緑が丘	1.40369	山岸	1.50075	見前	1.44172
松園	1.47785	杜陵	0.91910	飯岡	1.45506
青山	1.59882	大慈寺	1.21190	乙部	1.37884
みたけ	1.50321	米内	0.98912	巻堀・姫神	1.11431
北厨川	1.38914	仙北	1.29159	好摩	1.49160
西厨川	1.25408	本宮 (実績値)	1.32909 (1.25657)	渋民	1.64035
土淵 (実績値)	1.32909 (1.24953)	太田	1.31980	玉山・藪川	1.35763

ウ 移動率

移動率については、全市人口の推計と同様の方法により設定するものであり、平成12年及び17年の国勢調査人口を利用して算出した移動率は図15～20のとおりである。特徴がある地区として桜城、上田、土淵、つなぎ、本宮が挙げられる。桜城、上田については、岩手大学、岩手医科大学等、学生が多く居住する地区であり、大学への入学、卒業期の年齢を含む年齢階級における移動が多い。

つなぎ地区については、特に10歳代後半から20歳代後半までの移動率の変化が大きい。これは、温泉等を主体としたホテル旅館街であり、住み込みで働く従業員の移動が反映された結果であると考えられる。

土淵、本宮については、10歳以下、20歳代後半から50歳代までにかけて大きく人口が増加している地区であり、これは区画整理事業等により大規模な宅地造成に起因していると考えられる。

以上のことを踏まえながら、第1章の社会動態の集計結果を利用し、平成12年集計から16年集計までと平成17年集計から19年集計までの移動状況の変化を反映した仮定値を設定するが、一時的な人口変化であると判断できるものについては、その移動について除外又は移動率の変化の上限を2割程度に設定する等して移動率を補正した。そのほか、過去の実績から傾向がつかめないものについては、そのままの移動率を適用するか、全市の移動率を利用して移動率を補正した。また、70歳以上の移動率については全市の移動率を設定した際と同様に必要に応じて補正した。

図 15 地区別移動率 その1 (男, 平成12年→17年)

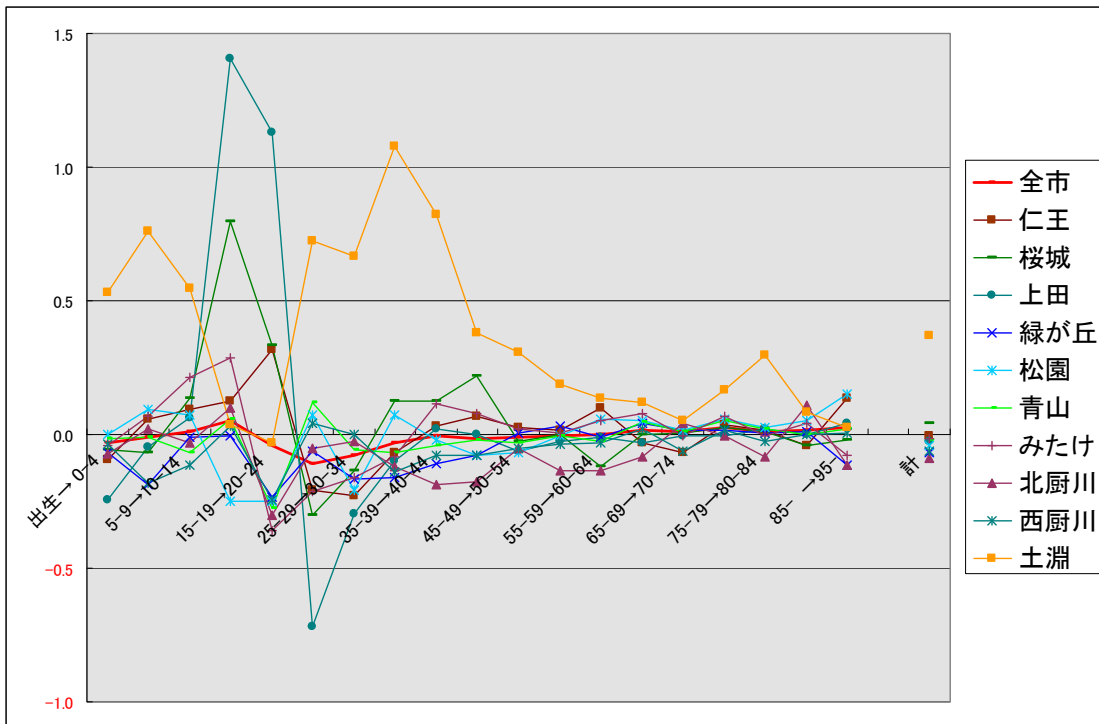


図 16 地区別移動率 その1 (女, 平成12年→17年)

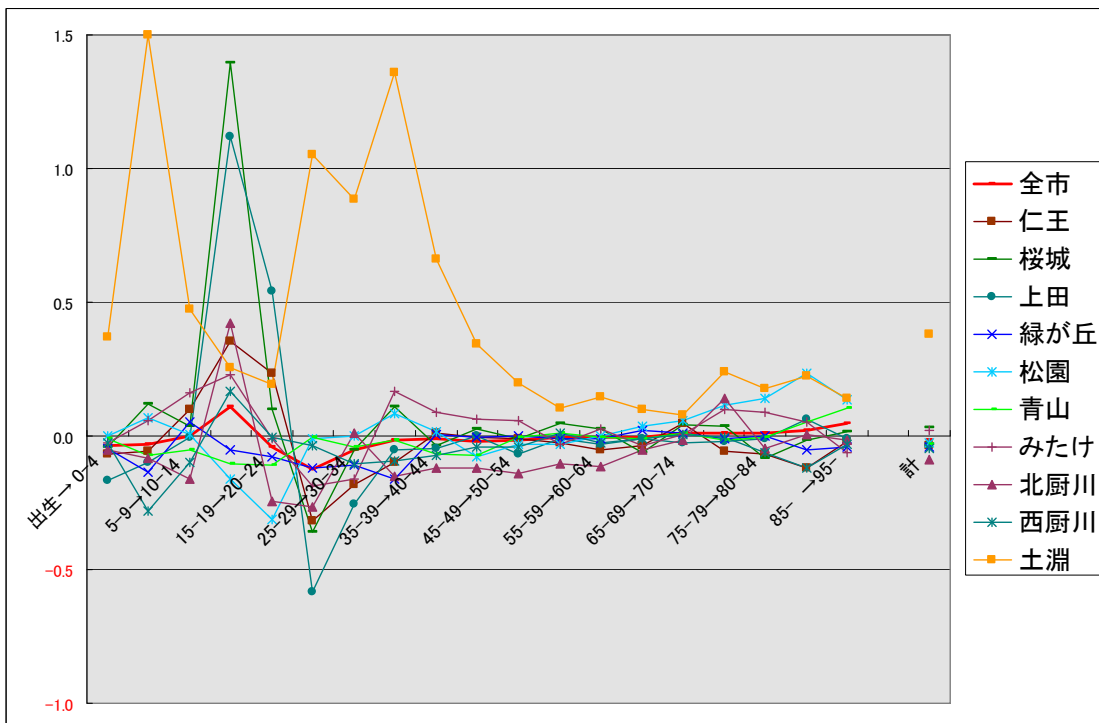


図 17 地区別移動率 その2 (男, 平成 12 年→17 年)

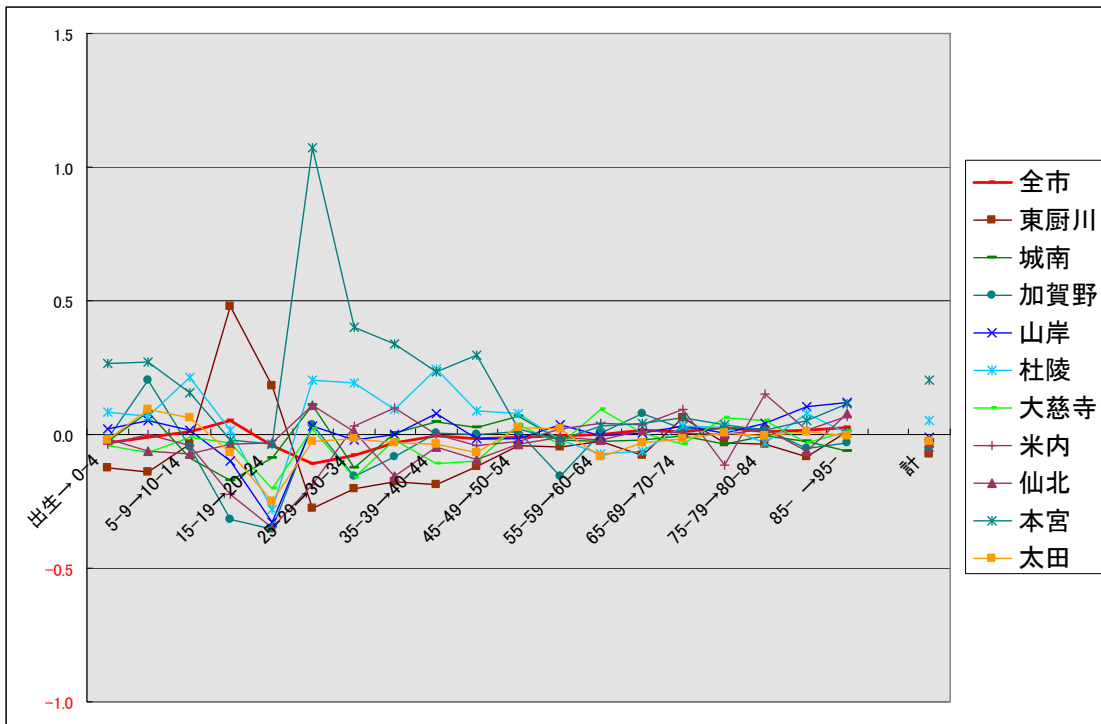


図 18 地区別移動率 その2 (女, 平成 12 年→17 年)

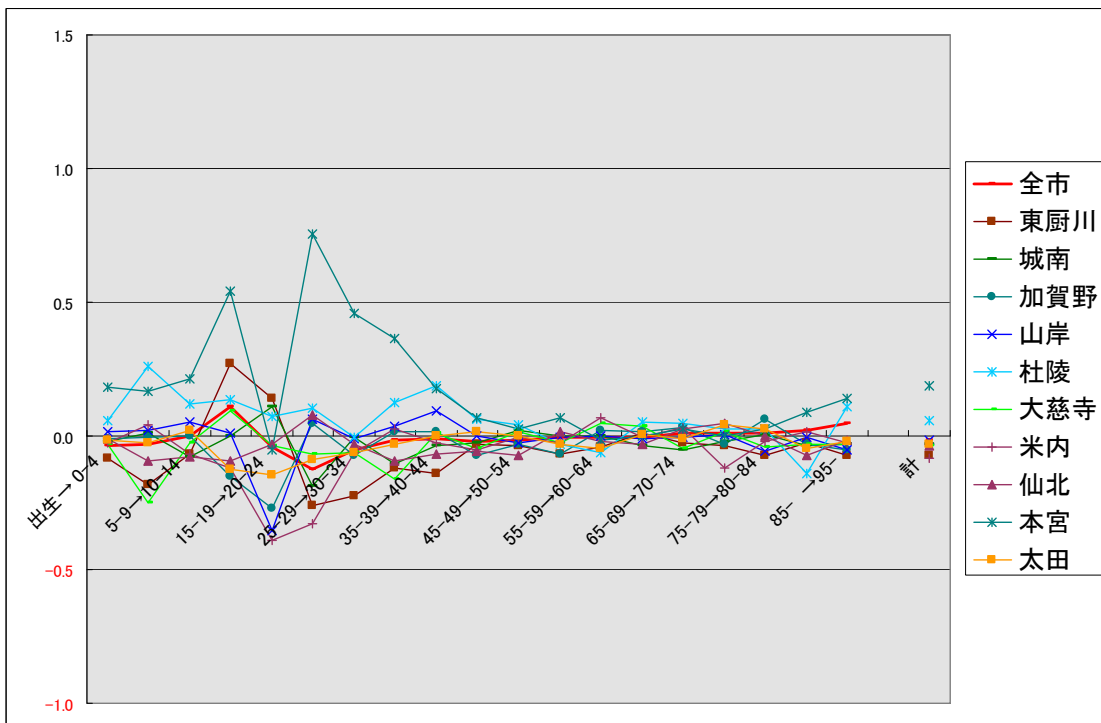


図 19 地区別移動率 その3 (男, 平成12年→17年)

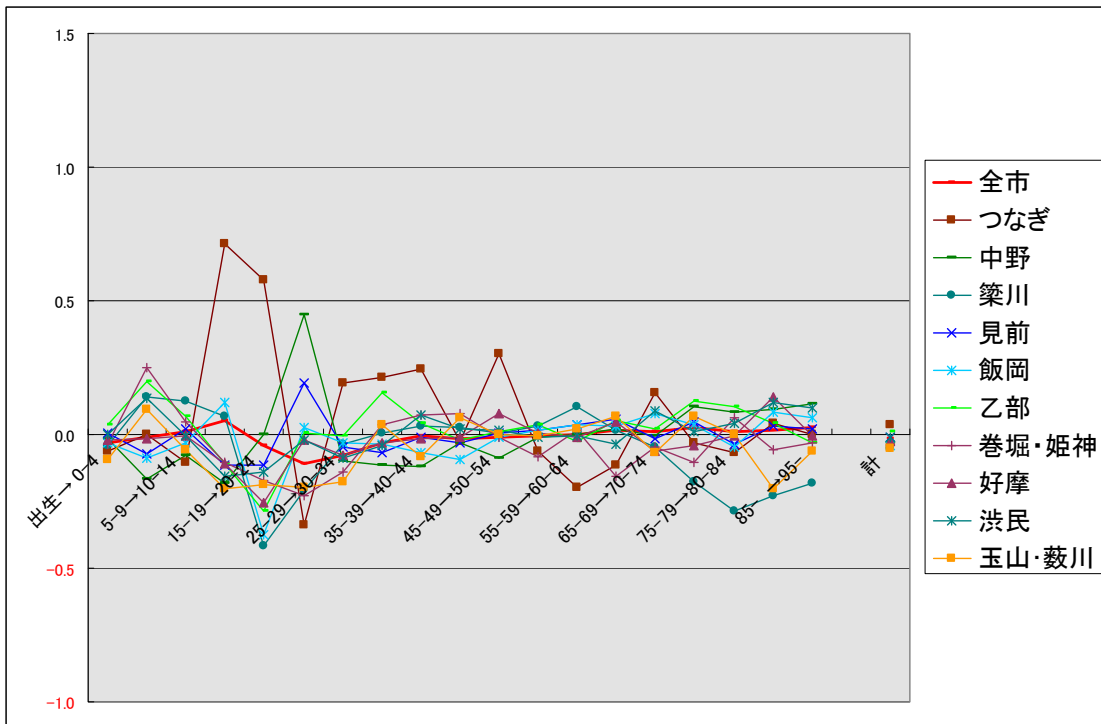
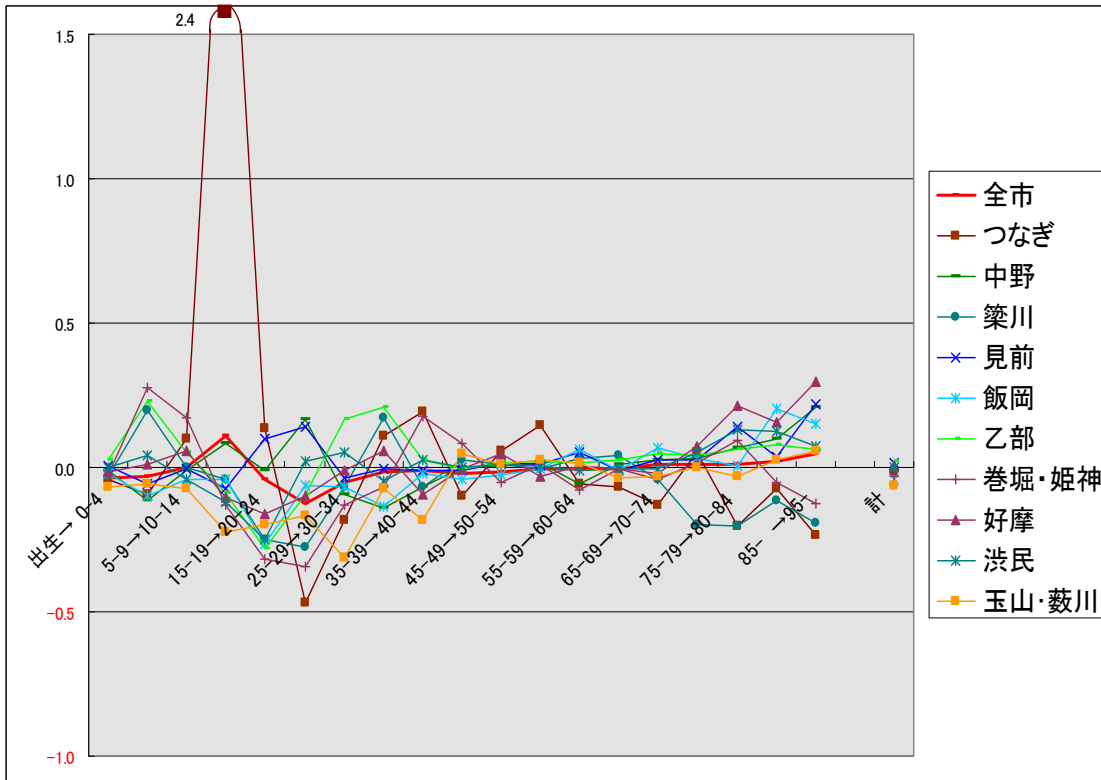


図 20 地区別移動率 その3 (女, 平成12年→17年)



(2) 推計結果

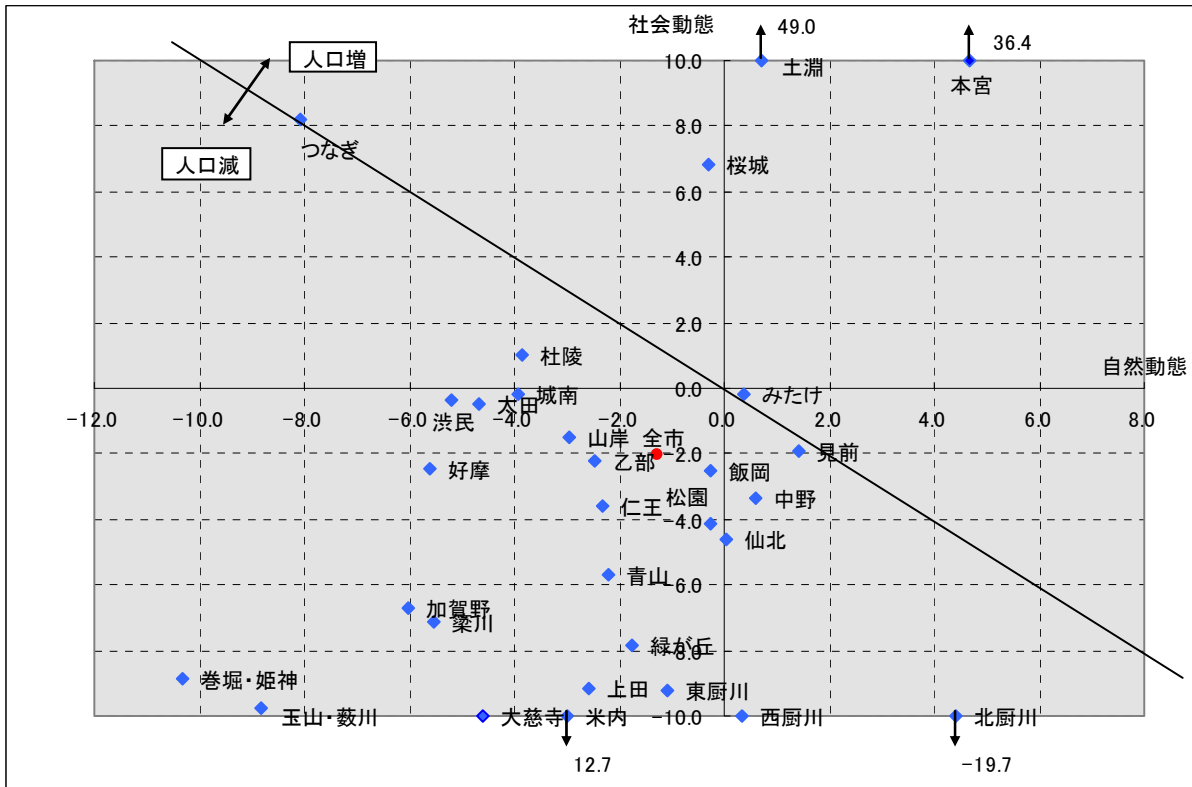
地区別についても平成22年から47年までの年齢5歳階級別男女別に推計を実施したが、地区数が多いためここでは個別の推計結果ではなく、平成17年と27年の人口を自然・社会動態別の増減率や指数等を用いて考察した。

平成17年から27年までの人口増減率について、横軸に自然動態、縦軸に社会動態で表したものが図21である。なお、図に示した直線より右上にある地区は人口が増加している地区で、左下にある地区は人口が減少している地区となる。

人口増加となる地区は土淵、みたけ、本宮、桜城、つなぎとなっている。土淵、本宮は自然動態、社会動態ともに増加している。桜城、つなぎは、自然動態は減少傾向にあるが、社会動態がそれを上回る増加傾向にあるため、結果として人口が増加する地区となっている。また、みたけはそれと逆の傾向により人口が増加する地区となっている。

それ以外の地区は地区全体としては人口が減少しているが、地区によって特徴があり、自然動態は減少傾向であるが社会動態が増加傾向にある地区として杜陵、逆に自然動態は増加傾向にあるが社会動態が減少傾向にある地区として、西厨川、北厨川、仙北、中野、見前が挙げられる。そのほかの地区は自然動態、社会動態ともに減少傾向にあり、特に米内、巻堀・姫神、玉山・藪川等でその傾向が強い。

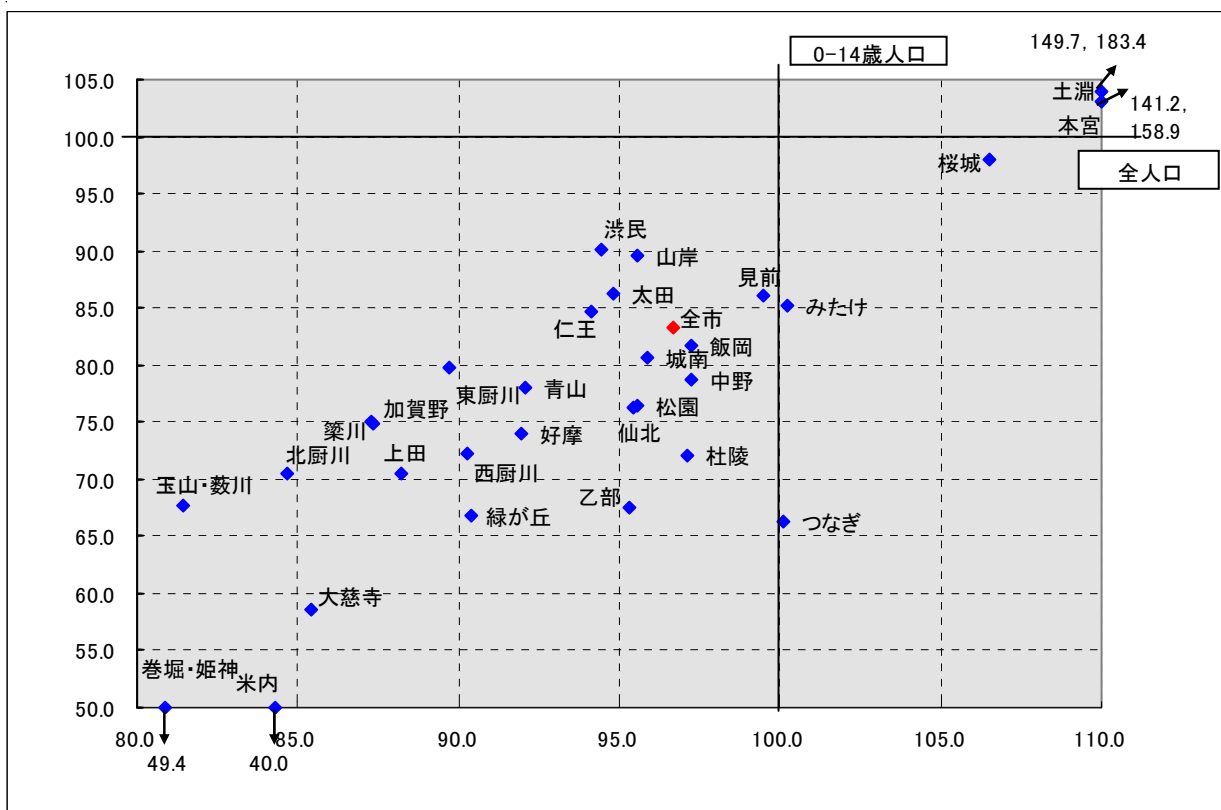
図 21 地区別自然動態（増減）・社会動態（増減）別人口増減率（平成17年→27年）



平成17年の人口を100とした時の27年の人口について、横軸に全人口、縦軸に0～14歳人口を表したものが図22である。これによると全人口が増加し、0～14歳人口も増加する地区は、土淵、本宮となっており、逆に全人口は増加するが0～14歳人口は減少する地区は桜城、みたけ、つなぎとなっている。特に土淵は、0～14歳人口の増加傾向が強く、また、つなぎは全人口が横ばいなのに対し、0～14歳人口の減少傾向が強くなっている。

そのほかの地区は全人口、0～14歳人口ともに減少する。そのうちほとんどの地区は全人口の減少以上に、0～14歳人口が減少しており、特に見前、杜陵、中野、乙部、飯岡等でその傾向が強い。

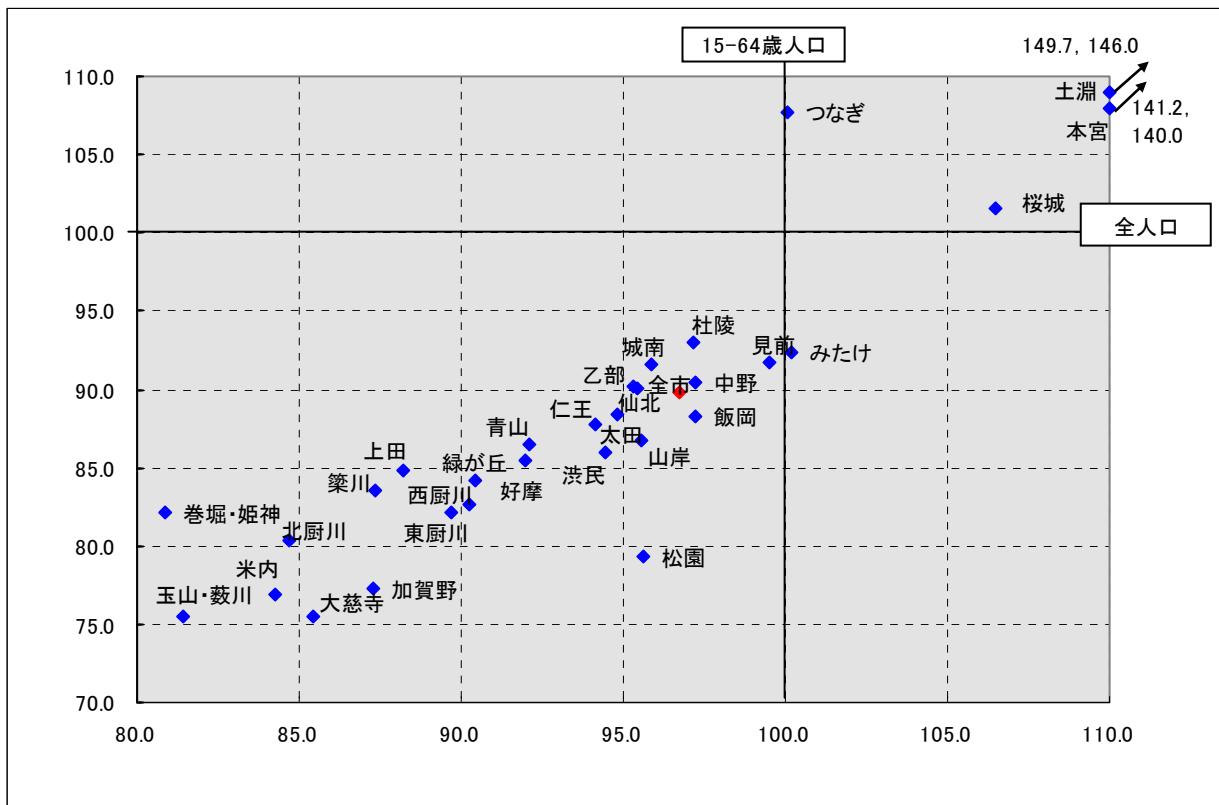
図 22 地区別平成27年人口指数（平成17年=100, 0～14歳）



平成17年の人口を100とした時の27年の人口について、横軸に全人口、縦軸に15～64歳人口を表したものが図23である。これによると全人口、15～64歳人口とも増加する地区は、桜城、土淵、本宮、つなぎの4地区で、土淵、本宮は両者の増加傾向が強い。桜城は全人口の増加傾向が強く、逆につなぎは15～64歳人口の増加傾向が強い。全人口が増加傾向で、15～64歳人口が減少傾向となっているのはみただけのみである。

そのほかの地区は全人口、15～64歳人口ともに減少する。そのうちほとんどの地区は全人口の減少以上に、15～64歳人口が減少しており、特に見前、松園、飯岡等でその傾向が強い。

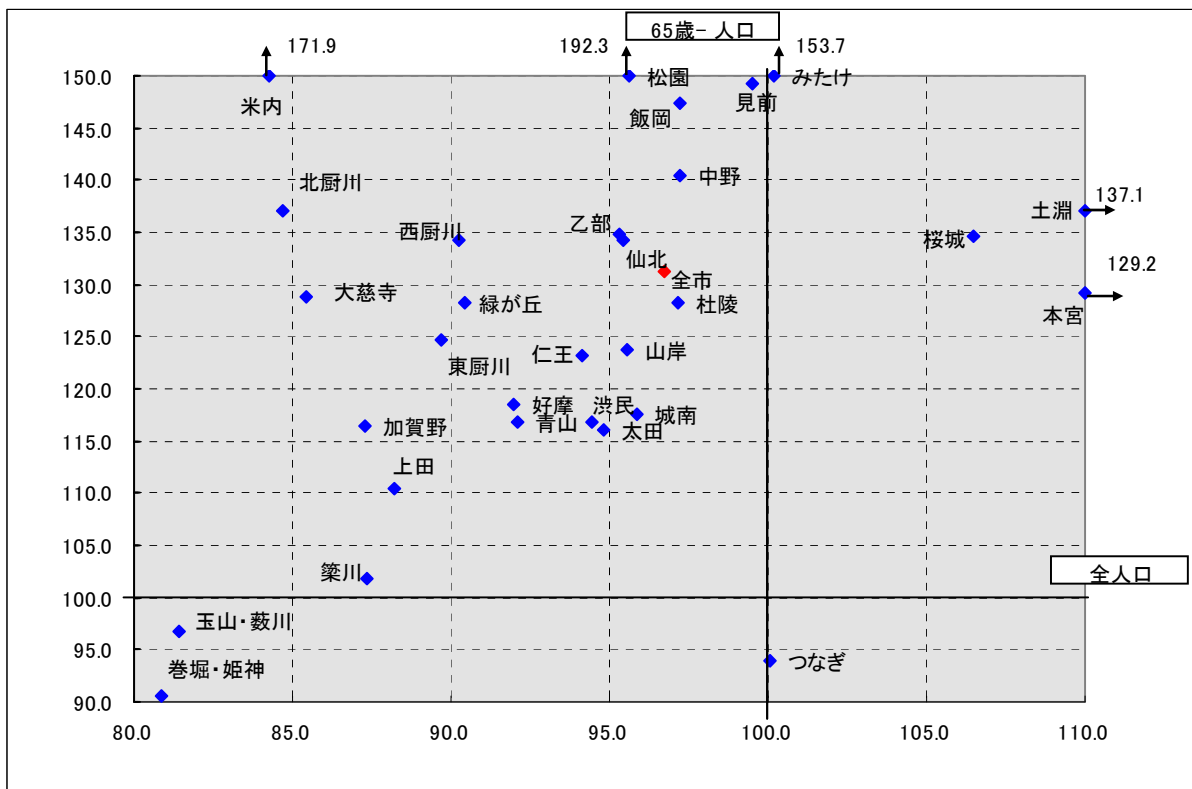
図 23 地区別平成27年人口指数（平成17年=100, 15～64歳）



平成17年の人口を100とした時の27年の人口について、横軸に全人口、縦軸に65歳以上人口を表したものが図24である。これよると全人口、65歳人口とも増加する地区は、桜城、みたけ、土淵、本宮、つなぎで、土淵、本宮はどちらの増加傾向も強いが、桜城、みたけは65歳以上のみの増加傾向が強い。また、全人口が増加し、65歳人口が減少する地区はつなぎのみである。全人口、65歳人口ともに減少傾向にある地区は、巻堀・姫神、玉山・薮川となっている。

そのほかの地区は全人口が減少傾向にある一方で、65歳以上人口は増加傾向となっており、全人口の減少以上に、65歳以上人口の増加傾向が強い地区は見前、松園、飯岡、中野、杜陵等となっている。

図 24 地区別平成27年人口指数（平成17年=100, 65歳～）



(参考) 社会保障・人口問題研究所による将来推計人口

(1) 社会保障・人口問題研究所の推計結果との差異について

社会保障・人口問題研究所では、平成20年12月に平成17年国勢調査人口を基準とした市区町村人口の将来推計を公表している。表25は社会保障・人口問題研究所が推計した盛岡市の将来推計人口であり、ここでは本推計との差異について考察する。表26は社会保障・人口問題研究所の推計結果から本推計を引いたものである。合計(全市人口)でみると社会保障・人口問題研究所の推計結果の方が平成22年で199人、27年で234人、37年で336人、47年で1,069人少なく、一番差異が大きかった47年でみるとおおよそ本推計の47年人口の0.4%となっている。年齢別に差異が大きいものをみると平成32年の30～34歳人口で社会保障・人口問題研究所の推計が1,261人多く、逆に平成47年の85歳以上で社会保障・人口問題研究所の推計が1,109人少ない推計結果となっている。本推計の推計結果と社会保障・人口問題研究所の推計結果の差異の特徴として、社会保障・人口問題研究所の推計結果の方が15～64歳の人口が多く、65歳以上の人口が少ない傾向にある。

表 25 社会保障・人口問題研究所推計(平成17年から47年)

(単位:人)

年次 年齢階級	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
0～4	13,283	11,590	10,258	9,407	8,634	7,923	7,065
5～9	13,856	12,942	11,368	10,061	9,226	8,467	7,767
10～14	15,214	13,908	12,976	11,395	10,084	9,247	8,485
15～19	18,223	16,099	14,468	13,444	11,787	10,426	9,558
20～24	19,759	17,959	15,988	14,343	13,265	11,626	10,321
25～29	19,916	18,272	17,101	15,244	13,657	12,639	11,102
30～34	21,809	18,958	17,767	16,643	14,838	13,282	12,290
35～39	19,692	21,283	18,618	17,452	16,353	14,580	13,043
40～44	20,032	19,341	20,932	18,319	17,173	16,097	14,356
45～49	20,191	19,513	18,890	20,440	17,897	16,786	15,743
50～54	21,426	19,660	19,038	18,427	19,942	17,474	16,396
55～59	22,684	20,799	19,127	18,531	17,936	19,415	17,028
60～64	17,777	21,818	20,072	18,481	17,915	17,342	18,776
65～69	15,981	17,030	20,975	19,332	17,823	17,291	16,746
70～74	15,312	15,025	16,052	19,863	18,339	16,954	16,480
75～79	12,107	13,840	13,663	14,654	18,244	16,880	15,662
80～84	7,476	10,094	11,729	11,706	12,630	15,893	14,753
85～	6,007	8,360	11,574	14,640	16,393	17,948	21,543
合計	300,746	296,491	290,595	282,381	272,137	260,269	247,116

表 26 社会保障・人口問題研究所との差異（社会保障・人口問題研究所一本推計）（単位：人）

年次 年齢階級	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
0～4	-9	-233	-230	14	153	196	-16
5～9	-2	-118	-281	-274	-30	110	150
10～14	1	-16	-136	-300	-291	-45	95
15～19	-25	-136	-234	-404	-565	-533	-257
20～24	-56	368	245	86	-166	-355	-309
25～29	-35	404	959	795	569	309	101
30～34	-36	126	739	1,261	1,071	812	540
35～39	-27	-81	140	739	1,255	1,066	802
40～44	-18	-134	-203	33	629	1,147	971
45～49	-3	-79	-203	-292	-48	544	1,060
50～54	17	-85	-173	-310	-419	-161	425
55～59	8	-90	-186	-283	-436	-568	-294
60～64	13	-211	-267	-352	-453	-616	-774
65～69	36	-111	-326	-377	-460	-567	-737
70～74	43	-37	-188	-392	-463	-537	-645
75～79	42	69	-30	-196	-368	-471	-547
80～84	27	40	30	-75	-263	-385	-527
85～	23	125	111	118	-52	-615	-1,109
合計	0	-199	-234	-210	-336	-670	-1,069

(2) 社会保障・人口問題研究所推計による盛岡広域人口の将来推計

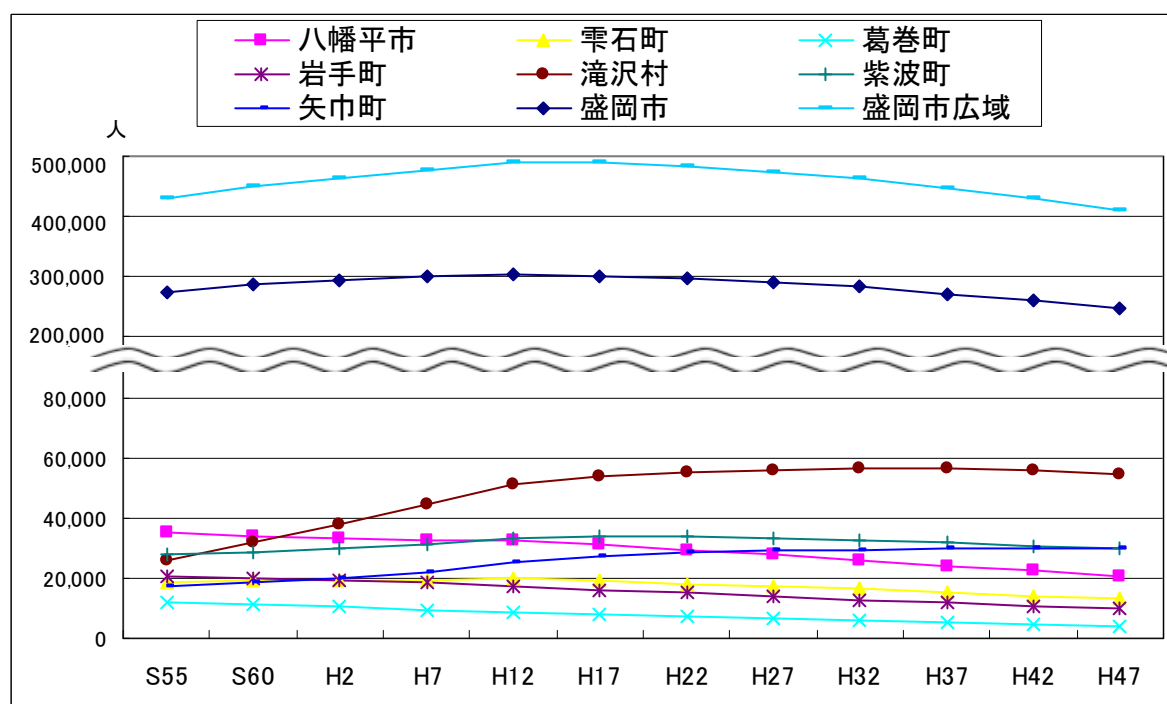
平成 20 年 12 月に公表された社会保障・人口問題研究所による人口の将来推計と過去の国勢調査結果を盛岡広域の市町村についてまとめたものが表 27 である。これによると盛岡広域の人口は平成 12 年の 490,736 人をピークに減少しており、22 年には 484,044 人、27 年には 475,051 人、37 年には 446,823 人、47 年には 409,351 人まで減少する。

市町村別にみると、平成 17 年国勢調査人口より 47 年の推計人口が増加しているのは、滝沢村と矢巾町のみとなっている。

表 27 盛岡広域市町村別人口の推移（国勢調査結果：昭和 55 年から平成 17 年，推計人口：平成 22 年から 47 年）（単位：人）

年次 市町村名	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
盛岡市	272,814	287,312	292,632	300,723	302,857	300,746	296,690	290,829	282,591	272,473	260,939	248,185
八幡平市	34,889	33,712	33,287	32,751	32,485	31,079	29,531	27,872	26,067	24,222	22,422	20,650
雫石町	18,675	19,091	19,013	19,373	19,750	19,055	18,213	17,323	16,326	15,261	14,183	13,091
葛巻町	11,960	11,220	10,364	9,536	8,725	8,021	7,309	6,613	5,920	5,253	4,629	4,067
岩手町	20,328	19,885	19,141	18,264	17,372	16,254	15,108	14,034	12,930	11,834	10,799	9,830
滝沢村	25,670	31,712	38,108	44,189	51,241	53,560	55,124	55,991	56,375	56,232	55,568	54,382
紫波町	27,769	28,848	29,856	31,311	33,038	33,692	33,748	33,351	32,687	31,801	30,779	29,593
矢巾町	17,459	18,694	19,920	21,919	25,268	27,085	28,321	29,038	29,510	29,747	29,766	29,553
盛岡広域	429,564	450,474	462,321	478,066	490,736	489,492	484,044	475,051	462,406	446,823	429,085	409,351

図 25 盛岡広域市町村別人口の推移（国勢調査結果：昭和 55 年から平成 17 年，推計人口：平成 22 年から 47 年）



第3 盛岡市の世帯の将来推計

ここでは、国勢調査結果を用いて、平成22年から5年ごとに37年までの盛岡市の世帯について推計する。

1 推計方法

本推計では、世帯主率法を用いて世帯の将来推計を実施した。これは、世帯主の年齢構造と人口の年齢構造を利用して世帯数を推計するもので、世帯主を単身世帯（男女別）、夫婦のみ世帯、夫婦と子世帯、ひとり親と子世帯（男女別）、その他世帯（夫婦と両親からなる世帯、夫婦と両親と子からなる世帯、非親族世帯等）に分けて推計を実施した。平成17年国勢調査結果において、男性が世帯主である世帯は、夫婦のみ世帯及び夫婦と子世帯では9割、その他の世帯では8割を占める。そのため、この2つの場合においては、男性が世帯主であると仮定した。

なお、世帯主の年齢が不詳の世帯については、世帯数に応じて按分した。また、これは一般世帯のみ推計であり、施設等の世帯は考慮していない。

具体的な手法としては、平成12年及び17年国勢調査からそれぞれの年齢5歳階級別男女別人口（20歳未満の場合は15～19歳人口）に対する世帯主の年齢5歳階級別世帯数の割合を算出し、これの単純平均を将来にわたり一定であると仮定し、先に算出した将来推計人口から世帯数を推計した。なお、仮定値を一定に固定するため、推計期間は平成22年から5年ごとに37年までの20年間とした。

2 仮定値の設定

仮定値となる平成12年及び17年の国勢調査結果による世帯数を示したものが表28である。平成17年の世帯数は121,638世帯と12年と比較して2,546世帯、2.1%の増加となっている。世帯類型別で増減率が大きいものみると、ひとり親と子の世帯の男性で147世帯、13.7%、女性で1,050世帯、12.9%、夫婦のみ世帯で1,642世帯、8.2%の増加となっている。

表28 世帯類型別世帯数（平成12年、17年）

（単位：世帯）

区分 年次等	合計	単独		夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子		その他 (その他親族, 非親族)
		男	女			男	女	
H12	119,092	20,545	20,638	20,027	33,624	1,073	8,162	15,023
H17	121,638	20,294	21,023	21,669	32,930	1,220	9,212	15,290
増減数 (H17-H12)	2,546	-251	385	1,642	-694	147	1,050	267
増減率 (%)	2.1	-1.2	1.9	8.2	-2.1	13.7	12.9	1.8

平成12年及び17年の年齢5歳階級別に世帯主率を表したものが図26～29であり、この平均値を将来の仮定値として設定した。

単独世帯について図26でみると、平成12年と比較して17年では、男性の場合、25～34歳の世帯主率が低下傾向にある一方、40歳以降の各年齢階級で上昇傾向にある。特に45～64歳の各年齢階級で高くなっている。女性の場合、20～24歳の世帯主率が低下している一方で、80～84歳で高くなっている。

図26 男女別単独世帯の世帯主率（平成12年，17年）

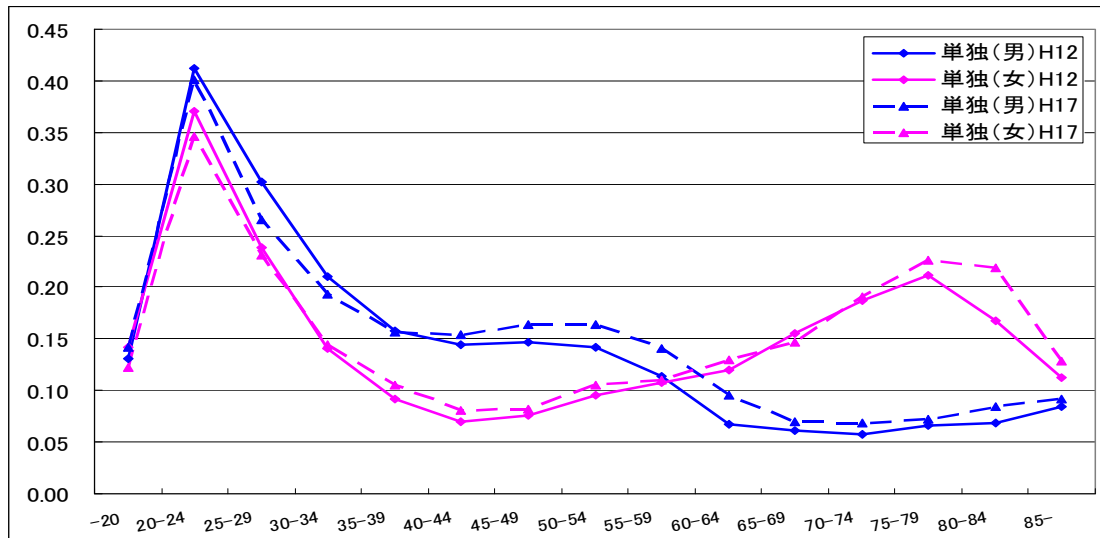


図27でみると夫婦のみ世帯では35～44歳，75歳以上の各年齢階級での世帯主率が高くなっている。また，夫婦と子の世帯では，35～64歳の各年齢階級で世帯主率が高くなる一方で，65歳以上の各年齢階級で低くなっている。

図27 夫婦のみ世帯及び夫婦と子世帯の世帯主率（平成12年，17年）

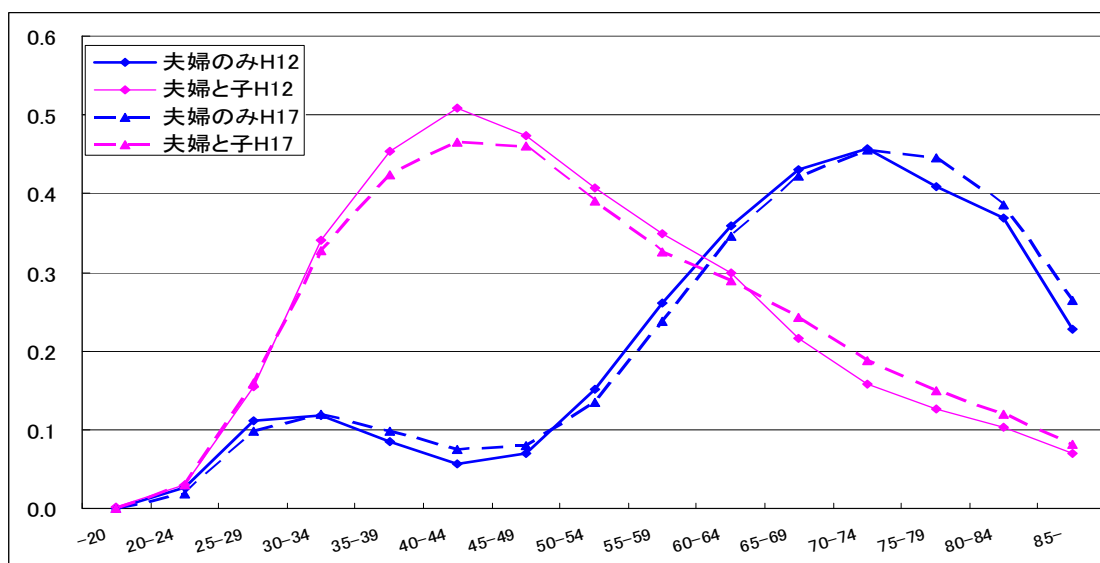


図28でひとり親と子の世帯をみると男性はほぼ横ばいであるが、女性は35～39歳、45～59歳、65歳以上の各年齢階級で世帯主率が高くなっている。

図 28 男女別ひとり親と子の世帯の世帯主率（平成 12 年, 17 年）

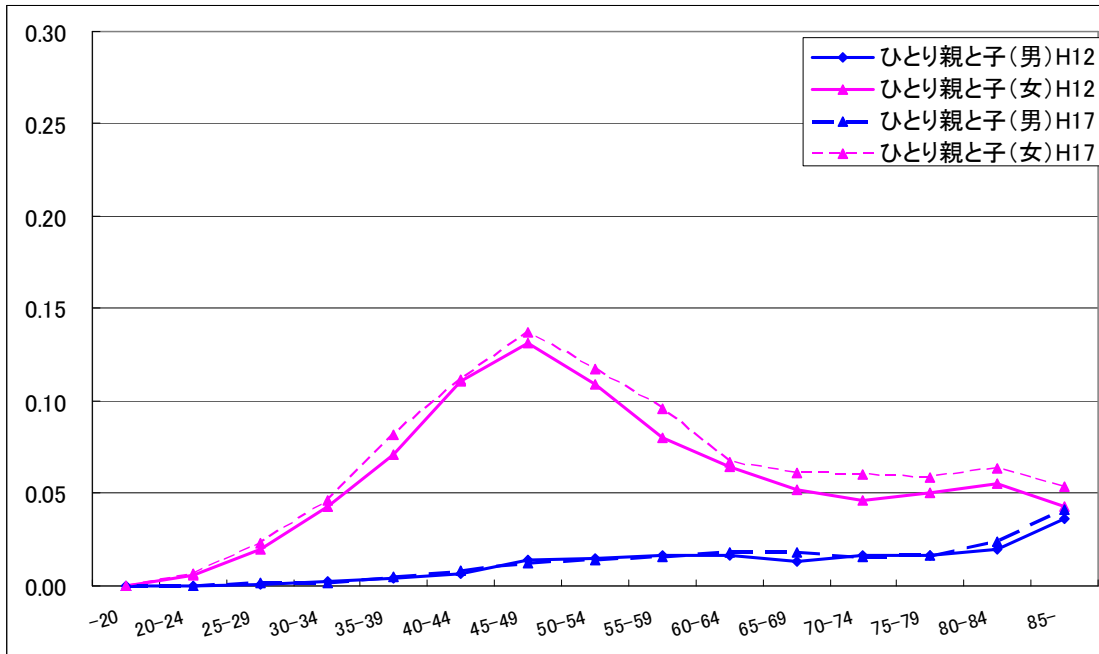
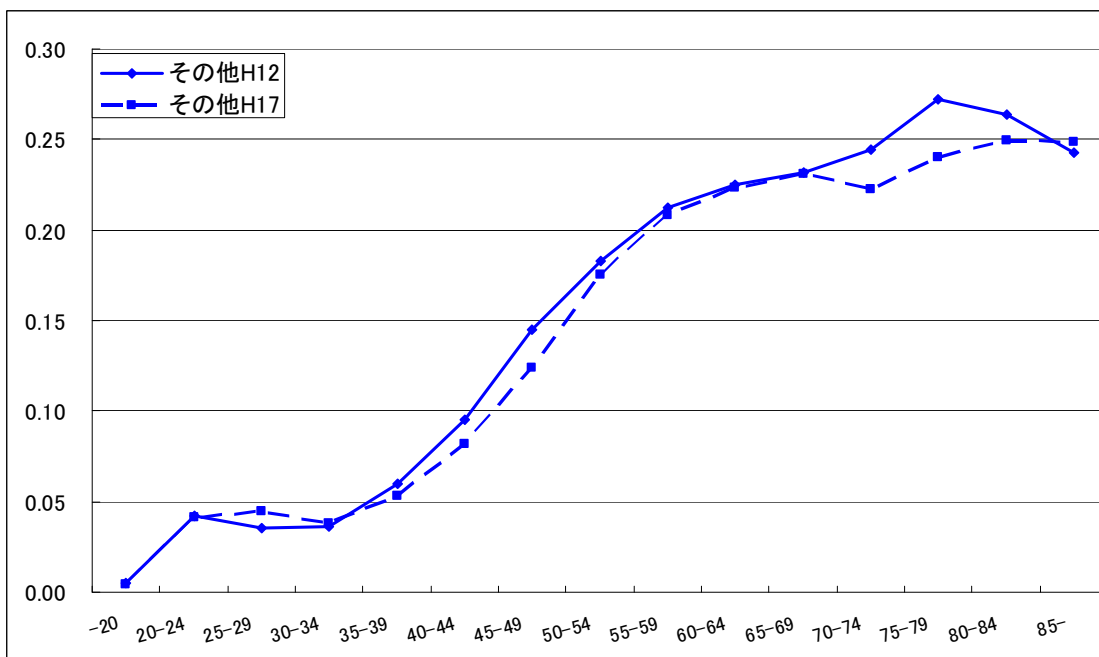


図29でその他の世帯をみると35～54歳、70～84歳の各年齢階級で世帯主率が低くなる傾向にある。

図 29 その他世帯の世帯主率（平成 12 年, 17 年）



3 推計結果

設定した仮定値に基づいて世帯について推計した結果が表 29 である。世帯全体で見ると増加を続けてきた世帯数も平成 22 年の 122,431 世帯をピークに減少し、27 年には 122,158 世帯、37 年には 118,109 世帯まで減少する。一方で、1 世帯当たりの世帯人員は減少傾向にあり、平成 22 年には 2.42 人、27 年には 2.38 人、37 年には 2.31 人まで減少する。

表 29 世帯類型別世帯数の推移（国勢調査結果：昭和 55 年から平成 17 年、推計結果：平成 22 年から 37 年）

（単位：世帯）

区分	年次					
	H12	H17	H22	H27	H32	H37
単独	41,183	41,317	39,654	38,483	37,273	36,057
夫婦のみ	20,027	21,669	23,014	23,934	24,485	24,690
夫婦と子	33,624	32,930	33,166	32,494	31,360	29,917
ひとり親と子	9,235	10,432	10,129	10,228	10,182	9,959
その他	15,023	15,290	16,468	17,019	17,344	17,486
合計	119,092	121,638	122,431	122,158	120,644	118,109
1 世帯当たりの 世帯人員（人/世帯）	2.54	2.47	2.42	2.38	2.34	2.31

特に年齢別にみた変化が特徴的な単独及び夫婦のみ世帯について図 30, 31 でみると、どちらも 70 歳以上が世帯主となる世帯数が大きく増加傾向にある。

また、世帯を世帯主の年齢 5 歳階級別に度数表で表したものが図 32 であるが、平成 17 年と比較した場合、37 年では 59 歳以下が世帯主となる世帯数が減少し、60 歳以上が世帯主となる世帯数が増加していることが分かる。

図 30 世帯主の年齢別単独世帯数の推移（平成 12 年から 37 年）

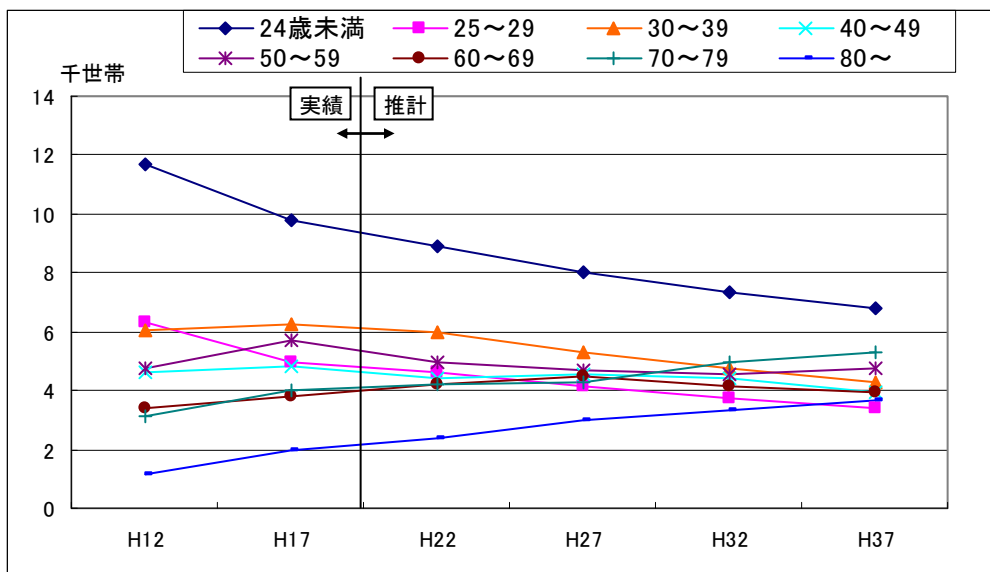


図 31 世帯主の年齢別夫婦のみ世帯数の推移（平成 12 年から 37 年）

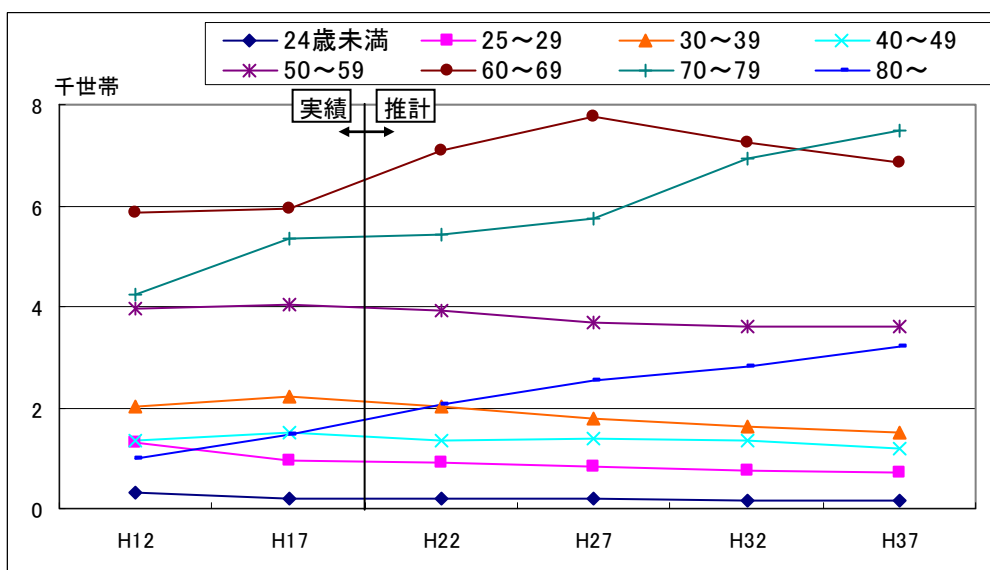
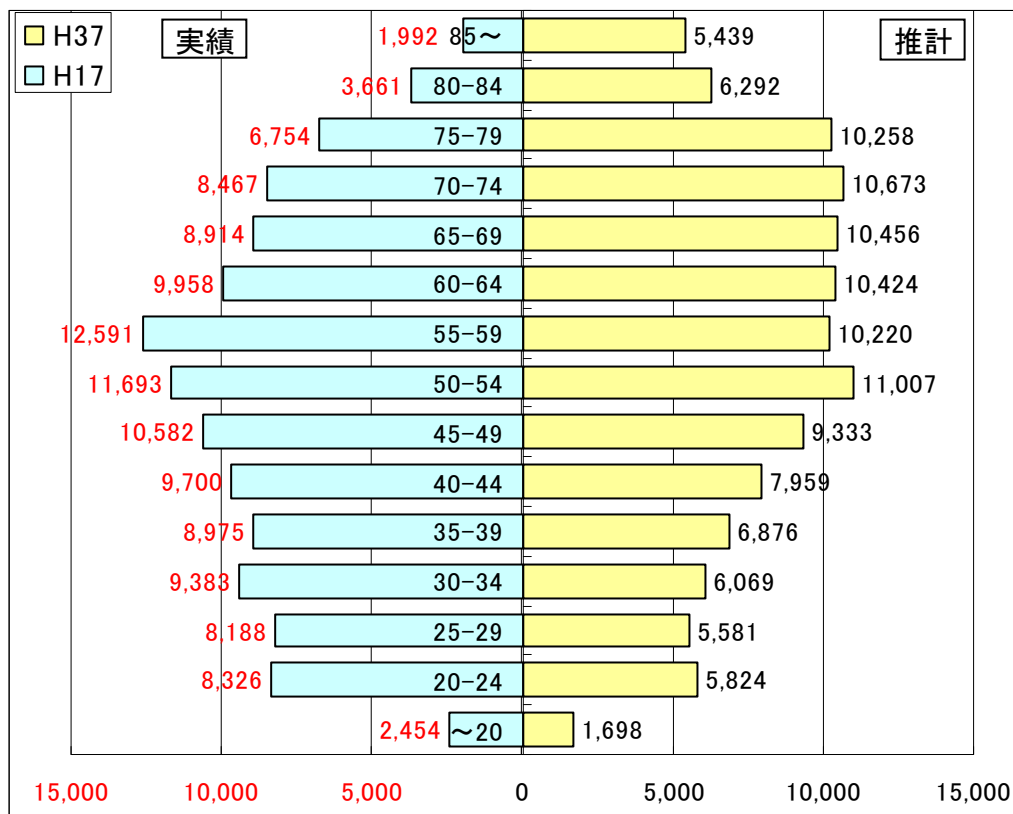


図 32 世帯主の年齢別世帯数（平成 17 年, 37 年）

(単位：世帯)



第4 「人口と世帯」のまとめ

本推計によれば、人口減少が進む大きな要因は社会動態による減少より自然動態による減少が大きいことが分かった。これは、高齢者が増加する人口構造において自然減が増えるためである。このような中においても、安定的な人口構造を構築するのであれば、将来に向けて緩やかに自然増を増加させる必要がある。ただし、出生率が減少し、実際に人口が減り始めるまで30年以上の時間差があるように、出生率が上昇しても、それが人口増加に転じるまでは同様の時間差が生じることが予想される。そのため、出生率の維持・上昇のための中長期的な政策と、特に生産年齢人口が減少する社会において、今後一層進むであろう高齢社会における諸問題を解決するための短中期的な政策を同時に展開していく必要がある。

また、これから長期間にわたり、人口減少社会、少子(化)社会⁹⁾、高齢社会¹⁰⁾が混在することが予想される中において、盛岡市においてはこのことに対応した新しい仕組みを早急に構築する必要がある。しかし、そのような仕組みは一朝一夕で構築することは難しいと考えられ、今まで築いてきた地域や社会資本等を当面の間維持するためには、一定規模の人口を維持するような政策に取り組むことが目下の課題であると考えられる。盛岡市の社会動態をみると県内転出入による流入超過が大きいですが、今後、岩手県内においても人口減少が進むことが想定されるため、県内からの転入者は減少していくことが予想される。また、県外転出入の流出超過が盛岡市における人口の社会減の大きな要因であり、特に宮城県、東京都を中心とした関東圏への流出をいかに防ぎ、そこからいかに流入超過となるような状況を作り出すかを政策として展開していく必要がある。

市内の人口について地区ごとにみた場合、松園地区のように大規模宅地開発により短期間に同年代の人口が流入すると、その世代が高齢者になる数十年後にはその地域において短期間で高齢化が進行する可能性が高い。土淵地区においては、地区内の商業施設や交通網の整備状況等松園地区とは環境に違いがあるものの、同様の可能性を秘めていると考えられる。開発の期間という意味では、本宮地区は開発が長期化したことで、人口の流入がある程度平準化されたため、急激な人口構造の変化は幾分か緩和されていると考えられる。いずれにしても急激な人口の変化は何らかのリスクを負う可能性が高いため、地区ごとの特性をとらえた上で、人生のライフサイクルにあわせた住み替えがしやすい環境を整備し、一部の地域に特定の人口が偏らないような政策が必要であると考えられる。

〇おわりに

「人口と世帯」については、過去の社会動態、将来の人口等について分析・考察を進めてきた。これらについてコミュニティ地区別に把握できたことは政策立案においても有益な資料となることを期待している。しかしながら、実際に政策を立案する段階においては、今回作成した統計表についてより詳細な資料(例えば、社会動態における年齢別の動向等)が必要となることが予想され、それについては必要に応じて集計・分析を実施したいと考えている。

今後の課題としては、今回の分析は数値によるものだけであったため、具体的なイメージが持ちづらいことが挙げられる。今後は地理的な情報を含めた小地域の統計結果を分析することで、より具体性のある資料を作成する必要性を感じた。

「雇用と所得」については、雇用される側を意識した分析・考察を進めてきた。人口等に関する統計と比較して、市レベルにおいては種類、時系列等からみても非常に統計情報が少なく、詳細について現状を分析する難しさを感じた。

また、雇用される側は、雇用する側の影響を大きく受けていると考えられる。この分野については都道府県レベルでは様々な分析が実施されているが、市レベルにおいては統計資料も乏しく、活発な分析が行われているとは言い難い。今後は、よりの確に盛岡市の産業構造、経済状況を把握するため、これらに関する統計資料の収集・分析を体系的に進める必要性を感じた。

平成21年度については、これらの課題等を踏まえつつ、市関係課等の意見を取り入れながら政策立案に資するための調査分析に取り組みたいと考えている。

脚注

1) 特定の地域のみでの推計ではなく、転出先別又は転入元別データにもとづき、全地域について推計する方法である。たとえば日本全体で考えると、A 県からほかの 46 県への転出率が与えられているとすると、A 県以外の 46 県は A 県からの転入率が求められる。それをすべての件について同様に行うことにより、各県の転入者及び転出者が求められ、それを基に人口を推計することができる。(石川晃(1993)『市町村人口推計マニュアル』p.45 から引用)

2) 人口移動は、世帯の変動とその移動によって生じる。そのため、世帯数(住宅戸数)の将来の見通しや住宅建設計画のある場合又は別の世帯数の推計がされている場合にそれを基に人口推計を行う方法である。たとえば、団地等の新設に伴い、他地域からどの程度の転入者が見込まれるか、また年齢構造等はどうなるか推計する方法である。(石川晃『市町村人口推計マニュアル』pp.45-46 から引用)

3) 盛岡市の場合、平成 20 年 9 月末時点の外国人登録者数は 1,265 人である。なお、同時点の住民基本台帳人口の 292,958 人であり、外国人登録者数の占める割合は 0.5%に満たない。

4) 本推計における生残率とは、ある年齢階級(例えば 0~4 歳人口)が 5 年後も生き残っている確率をいう。

5) 本推計における封鎖人口とはある年齢階級(例えば 0~4 歳人口)に平成 12 年から 5 年経過した平成 17 年時点における社会動態による人口増減がなかったと仮定した場合の人口(5~9 歳人口)をいう。

6) 合計特殊出生率の意味は、1 人の女子が 15 歳から 49 歳までの出産可能年齢を経過する間に、計算された年齢別出生率の生み方で出生していった場合の出生数であり、そのことは女子 1 人当たりの平均出生児数といえる。

(石川晃『市町村人口推計マニュアル』p.18 を引用)

7) 昭和 46 年から昭和 49 年の第 2 次ベビーブームに生まれた世代をいう。

(荒井良雄・川口太郎・井上孝編著『日本の人口移動』pp.62-63 を一部修正して引用)

8) 昭和 22 年から昭和 24 年の第 1 次ベビーブームに生まれた世代をいう。

(荒井良雄・川口太郎・井上孝編著『日本の人口移動』pp.62-63 を一部修正して引用)

9) 平成 16 年版少子化社会白書によれば、出生率の低下やそれに伴う家庭や社会における子供数の低下傾向を「少子化」、子供や若者が少ない社会を「少子社会」と表現している。人口学の世界では、一般的に、合計特殊出生率が、人口を維持するのに必要な水準(人口置き換え水準)を相当期間下回っている状況を「少子化」と定義している。なお、人口置き換え水準とは、合計特殊出生率がこの水準以下になると人口が減少することになるという水準のことをいい、日本では、2.08 前後の数値が該当する。

また、「少子化社会」の定義には、具体的な数値上の基準はなく、合計特殊出生率が人口置き換え水準をはるかに下まわり、かつ、子どもの数が高齢者人口(65 歳以上人口)よりも少なくなった社会を、「少子社会」と呼んでいる。これによれば、日本においては平成 9 年に子どもの数が高齢者人口よりも少なくなったので、この年以降、少子社会となったことになる。

10) 平成 18 年版高齢社会白書によれば、高齢化率(全人口に占める 65 歳以上人口の割合)が 7~14%未満の場合を「高齢化社会」、高齢化率が 14~20%未満の場合を「高齢社会」と定義している。また、特に定義はないが、今後、到来が予想される高齢者率の一段と高い社会を「超高齢社会」と呼ぶことがある。

11) 岩手県総合政策室調査統計課『平成 17 年度岩手県県民経済計算・市町村民所得年報』p.194 から引用

12) 名目値の対称となるものとして実質値がある。市内純生産等を実質化するためには、物価を指数化したデフレーターを用いるが、市町村における精度の高いデフレーターの作成は困難であるため、市内純生産等を実質化する推計は実施していない。

13) 「帰属利子とは、金融業の生産額を定義するための特殊な帰属計算項目であり、金融業の受取利子及び配当と預金者への支払利子の差額をさす。利子は主として他産業の付加価値から支払われたものであるから、それを再び金融業の生産としてとりあげるとは二重計上となる。しかし、当初から金融業の生産額を為替業務等の手数料のみとする。営業余剰あるいは付加価値までも負となり、経済の実態に合わないものになってしまう。

そのため、生産額の推計に当たって、帰属利子をすべての産業の中間投入するものとして扱うが、その場合、帰属利子を各生産部門に分割することが困難であるため、帰属利子というダミー産業を設けて、この産業がすべての帰属利子を中間投入するものとして欄外で一括控除するものである。」

岩手県総合政策室調査統計課『平成 17 年度岩手県県民経済計算・市町村民所得年報』p. 104 を一部修正。

14) 岩手県総合政策室調査統計課『平成 17 年度岩手県県民経済計算・市町村民所得年報』（平成 19 年）p. 104 を一部修正して引用した。

15) 平成 11 年度の改定前の市内生産額をみると、平成 10 年度から 11 年度にかけて、一時的に市内純生産が増加する。詳細は次のとおり。

	市内純生産	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
平成 11 年度 (改定前)	1, 050, 609, 969	8, 837, 420	163, 357, 300	878, 415, 248

16) 特定の項目の増減が全体をどれだけ増減させたかを合わす指標であり、次のより求められる。

寄与度 (%) = 任意の項目の増減額 ÷ 前期の全体額

17) 平成 11 年度の改定前の市民所得の分配は次のとおり。

	市民所得の分配	雇用者報酬	財産所得	企業所得
平成 11 年度 (改定前)	993, 940, 838	751, 615, 043	41, 394, 226	200, 931, 569

18) 概ね昭和 61 年末から平成 3 年初頭までをいう。

19) 1 人当たりの基準となる就業者数及び人口は国勢調査が実施された年（昭和 60 年から 5 年ごとに平成 17 年まで）は国勢調査結果を、それ以外の年については、国勢調査結果を基に推計したものである。

20) 事業所・企業統計調査とは、事業所及び企業の産業、従業者規模等の基本的構造を全国及び地域別に明らかにするとともに、各種標本調査実施のための母集団情報となる事業所及び企業の名簿を整備することを目的として行われる事業所及び企業についての国の最も基本的な統計調査である。

21) ジニ係数が 0 の場合、ローレンツ曲線は 45 度線と等しくなる。これは、まったく格差がない状態であり、ローレンツ曲線における 45 度線は「完全平等線」と呼ぶ。ジニ係数は完全平等線からの乖離部分、つまり、完全平等線より下の面積に対する完全平等曲線とローレンツ曲線の間面積の比率を示したものである。

参考文献・参考資料

【参考文献】

- 1 Tee Kian Heng 「第8回授業レジュメ」『岩手県立大学平成20年度講義 統計学Ⅰ』（平成20年）
- 2 荒井良雄・川口太郎・井上孝『日本の人口移動—ライフコースと地域性—』（古今書院 平成14年）
- 3 石川晃『市町村人口推計マニュアル』（古今書院 平成5年）
- 4 石川義孝編著『人口減少と地域—地理学的アプローチ—』（京都大学学術出版会 平成17年）
- 5 岩崎学・中西寛子・時岡規夫共著『実用統計用語事典』（オーム社 平成16年）
- 6 大江守之「小地域の人口推計」『厚生指標』第39巻第15号（厚生統計協会 平成4年） pp.7-13
- 7 岡崎陽一『人口分析ハンドブック』（古今書院 平成5年）
- 8 独立行政法人労働政策研究・研修機構編著『地域雇用創出の新潮流』（平成19年）
- 9 濱英彦・山口喜一編著『地域人口分析の基礎』（古今書院 平成9年）
- 10 藻谷浩介『実測！ニッポンの地域力』（平成19年 日本経済新聞社）
- 11 山口一男・樋口美雄編著『論争日本のワーク・ライフ・バランス』（日本経済新聞社 平成20年）
- 12 山口喜一編著『人口分析入門』（古今書院 平成元年）
- 13 和田光平『Excelで学ぶ人口統計学』（オーム社 平成18年）

【参考文献】

- 1 岩手県総合政策室調査統計課『岩手県人口移動報告書』[平成12年度～19年度]（平成14年～21年）
- 2 岩手県総合政策室調査統計課『市町村民所得年報』[昭和60年度～平成15年度]（昭和62年～平成17年）
- 3 岩手県総合政策室調査統計課『岩手県県民経済計算・市町村民所得年報』[平成16年度，17年度]（平成18年，平成19年）
- 4 岩手県保健福祉部『保健福祉年報（人口動態編）』[昭和57年～平成18年]（昭和59年～平成20年）
- 5 厚生労働省『市区町村生命表』[平成12年，平成17年]（平成15年，平成20年）
- 6 厚生労働省『都道府県生命表』[平成12年，平成17年]（平成14年，平成19年）
- 7 国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』（平成12年，平成17年）
- 8 国立社会保障・人口問題研究所『都道府県の将来推計人口』（平成13年，平成18年）
- 9 国立社会保障・人口問題研究所『市区町村の将来推計人口』（平成15年，平成20年）
- 10 国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯の将来推計』（平成20年）
- 11 総務省統計局『平成17年基準消費者物価指数時系列リスト』（平成19年）
- 12 総務省統計局『事業所・企業統計調査報告書』[平成13年，18年]（平成15年，19年）
- 13 総務省統計局『就業構造基本調査結果統計表』[平成14年，19年]（平成15年，平成20年）
- 14 総務省統計局『国勢調査報告書』[昭和50年～17年]（昭和51年～18年）
- 15 内閣府編著『平成16年版少子化社会白書』（ぎょうせい 平成16年）
- 16 内閣府編著『平成18年版高齢社会白書』（ぎょうせい 平成18年）
- 17 盛岡公共職業安定所『ハローワーク盛岡雇用情報』[平成18年～20年]（平成18年～平成20年）

【注意事項】

- 参考文献及び参考資料は，次の順で記載した。
著者（団体）等名，「論文等名」『著書（雑誌）等名』，[集計等年]，（発行者 発行年），
掲載ページ
- 定期的に発行されている文献等については1つにまとめて表記した。なお，著書名に集計年度等があるものについては，著書等名では省略し[]内にまとめた。
- 発行期間が複数年にわたるものの著者（団体）等名については，平成20年4月1日時点の名称を用いた。